

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
112	国際教育推進事業	<p>・広く国際的な視野に立って物事を考え、行動できる児童生徒の育成</p> <p>・外国語教育・外国語活動の指導の充実</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委託により外国語指導講師(FLT)を派遣し、小学校外国語活動(5・6年)及び中学校外国語(英語)(英語)の授業を支援する。(小・中) ・国際理解を深めるために国際理解協力員を派遣し、外国語や異文化に触れる体験の充実を図る。(小1～4・特) ・小学校外国語活動支援員を派遣し、小学校外国語活動の授業を支援する。(小学校からの要請) ・日本語指導員を派遣し、日本語指導の必要な外国国につながる児童生徒に対して、日本語学習及び学校生活への適応を支援する。(小・中・特・学校からの要請) ・国際教育担当者会を実施し、情報交換・調整・研修等を行う。 					
	事業内容						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)						
	予算額(千円)		79,423	79,145	76,026	69,122	
	決算額(千円)		78,893	78,566	75,333		
	執行率(%)		99.3	99.3	99.1		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)						
	年度末の成果						
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)						
	・人的配置を適切に行い、担任への授業の補助や、児童生徒への学校生活における支援ができた。						
	・FLTの契約を派遣契約に変更した。活用方法について、業者と再確認し、外国語教育担当者会で周知を行った。						
	・外国語活動支援員による「Hi, friends!」の授業をまとめ、次年度の外国語教育担当者会で各小中学校に配付できた。						
	・日本語指導員においては、単に日本語を教えるだけでなく、外国につながる子どもたちの学校生活や日本の生活での困りごとなどを解決する一助となった。						
	・国際教育担当者会を実施し、情報交換・調整・研修等を行う。						
	・国際教育担当者会の実施						
	・FLTの派遣(小・中学校)						
	・国際理解協力員の派遣(小・特別支援学校)						
	・小学校外国語活動支援員の派遣(小学校)						
	・小学校外国語(英語)教科書に向けた指導法等の研修(小学校)						
	評価						
	総合評価						
	年度末の成果						
	H29年度の総合評価						
	継続						
	評価の理由						
	・事業のそれぞれにおいて、問題点を明確にし、改善策を練り上げた上で具体的に形にすることができているため。						
	今後の方向						
	・人的支援の活用方法に関しては、今年度同様とするが、近隣の市町とも密に連絡を取り、得られた情報からより効果的な方法を探る。						
	・国際教育に関しては、小・中・特別支援学校で情報共有したり、方法を考えたりする場が必要であるため、担当者会を小・中合同で行う。						
	・小学校の外国語(英語)指導に関しては、3年計画で全市小中学校への訪問研修を行い、指導技術を磨く。(事業コード114)						
	H30年度 事業計画						
	・FLTの派遣(小・中学校)						
	・国際理解協力員の派遣(小・中・特別支援学校)						
	・日本語指導員の派遣(小・中・特別支援学校)						
	・国際教育担当者会の実施(H29より小・中学校合同で実施)						
	・外国語教育担当者会の実施(H29より小・中学校合同で実施)						
	・外国語講座の実施(小・中・特別支援学校希望者)						
	・平成32年度小学校外国語(英語)教科書に向け、小学校25校で指導方法等の研修を行う。(事業コード114)						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
111	教育課程推進事業	<p>・学習指導要領に前記、各学校において、学校や地域の実態を踏まえた創意工夫ある教育課程の実施のため、特色ある教育課程を編成することとした。(H28)</p> <p>・学校教育ふじさわビジョンの理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、実りある教育の実現を行うことができる。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科等における実りある教育の実践への支援を行う。 ・学校教育ふじさわビジョンの理念に沿った学校教育目標の具現化への支援を行う。 					
	事業内容						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)						
	予算額(千円)		11,998	11,832	11,395	9,021	
	決算額(千円)		11,773	11,638	11,260		
	執行率(%)		98.1	98.4	98.8		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)						
	年度末の成果						
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)						
	・市立55校(全校)で実施						
	・指導主事による授業研究や教育課程推進のために必要な教材教具の整備を行った。						
	・学校の特色や課題を捉えた先進的な研究実践を小学校8校、中学校6校で実施した他に、複数校での共同研究として、小・中2校共同で動物観察及び飼育指導を小学校7校で実施した。						
	・社会科資料集「ふじさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。						
	・小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。						
	・各小学校の一つの学年の児童(計3,002人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。						
	・予算の執行が計画通り行われた。						
	・次期学習指導要領の趣旨を理解し、今後においても「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った教育活動を推進するために事業の継続を行う。						
	・学校運営推進業務委託事業では、事業開始より6年が経過したため、事業終了とした。						
	今後の方向						
	・教育課程推進要領						
	・新学習指導要領の小・中・特別支援学校への配付						
	・獣医師往診の実施						
	・社会科資料集「ふじさわ」の作成						
	・プラネタリウム学習投影の実施						
	H30年度 事業計画						
	・教育課程推進要領						
	・新学習指導要領の小・中・特別支援学校への配付						
	・獣医師往診の実施						
	・社会科資料集「ふじさわ」の作成						
	・プラネタリウム学習投影の実施						
	課題・問題点						
	・プラネタリウムは中学生の利用希望者が少ない。						
	・道徳や小学校外国語についての教科書化に向けた、学校における授業研究の推進が必要である。						
	・新学習指導要領の移行期間における、総則及び各教科等の指導内容の周知・徹底。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 113(314)	事業名 学校ICT機器整備事業(情報教育)	担当部 教育部	担当課 教育部総務課
事業目的 教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン技術)の推進		変更(ある場合)	
事業内容 学校における情報モラル教育やパソコン技術の習得が求められていることに伴い、藤沢市教育情報化推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童生徒の学習の多くの場面に於いて教育情報機器を活用した学習の充実を図る。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	376,811	348,170	297,710
決算額(千円)	383,076	370,937	
執行率(%)	99.0	99.4	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	各会議を予定どおり開催した。 研修については、年間5回 参加者80名。 情報モラルについては、年間20日のべ55回。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> 各種会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。 新学習指導要領への対応として、小学校プログラミング教育に関する研修を開催した。 情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取り組んだ。 			
<p>予定通り会議・研修を開催できた。</p> <p>研修の参加者が、各校1名以上確保できた。</p> <p>情報モラル教育に取り組むことができた。</p>			
<p>平成32年度完全実施の新学習指導要領への対応として、機器の更新時期をとらえて新しい構成でICT環境の整備を進める。</p> <p>授業等でICT機器を活用することが一層推進されるように、研修会の実施や情報の提供に努めていく。</p>			
<p>H30年度事業計画</p> <p>各種会議を計画通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図っていく。</p> <p>普通教室での活用に重点を置き、より授業で活用しやすい内容に重点を置く。</p> <p>平成31年度に更新時期を迎える機器の更新に合わせ、新学習指導要領に対応した機器構成で整備できるように準備を進める。</p> <p>情報モラル教育が、全ての市立学校で積極的に取り組めるように、情報提供ならびに授業支援等の取組を推進する。</p>			
<p>課題・問題点</p> <p>教育情報機器の活用調査から、パソコン室で活用している時数より教室等で活用している時数の方が多く、昨年度に引き続きH29年度においても同じ傾向であることが分かった。このことから、普通教室でのICT活用について、研修を一層推進するべきであると確認できた。</p> <p>教育用PC台数が不足しており、国や県の平均と比較しても整備が遅れている。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 114	事業名 中学校英語科教員派遣事業	担当部 教育部	担当課 教育部指導課
事業目的 新学習指導要領(平成29年3月公示)により、平成30年度小学校で全面実施される「外国語活動(3,4年)」及び「外国語(5,6年)」の授業の充実に向け、小学校教員の外国語指導技術の向上を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 市立小学校に中学校英語科教員を派遣し、全ての小学校教員を対象に外国語指導に関する指導方法等の研修を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	27年度 未実施	28年度 →	29年度 →
予算額(千円)		288	200
決算額(千円)		74	
執行率(%)		27.6	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	10校の小学校において、年間9回、放課後の時間を活用(75分、長期休業中のみ90分)授業で使用する英語や指導方法について、研修を実施し、教員の意識向上・意欲喚起、また技術向上を図ることができた。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> 担任が自分の学級において研修内容を応用し、授業を実施し、子どもたちへの意欲の喚起へとつなげている。 学校で教員が一言ふることにより、一鍵に授業を作るという意識が高まり、相乗効果が生まれている。 			
<p>受講者の毎回の振り返りや、年2回のアンケートより、満足度が大変高い(99%超)ことから、この事業は大変有効であると考える。</p>			
<p>今後の方向</p> <p>30年度は29年度をほぼ踏襲した形で実施。</p> <p>31年度は市立全35小学校において、内容を精選して実施する。</p>			
<p>H30年度事業計画</p> <p>29年度の内容に加え、新学習指導要領や30年度4月から使用する新教材を使って指導ができるように、研修を行う。30年度は25校で実施(年間9回75分、放課後の時間を利用、長期休業中のみ90分)。</p> <p>授業で使用する英語や指導方法について、研修を実施する。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
122(812)	教育文化センター研究研修事業	教育指導課 担当課 変更(ある場合) *各学校の教育研究会に委託していた「教科等教育課程推進業務委託」については、平成30年度から「教育課程推進事業」教育研究推進事業への補助金を交付する形に変更した。(H30)					
	事業目的	教職員の資質能力や指導力の向上を目指し、今後の指導及び教育活動の充実を図る。					
	事業内容	本市の教育及びこれに係る文化の振興に関する専門的、技術的事項の調査を行う。 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、教育関係職員に対して研修講座及び授業研究会セミナー等を企画・実施する。 (研究部会の開催・研究紀要の発行・研修講座の開催・教育情報の提供)					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ● 教育研究委託 ● 教育研究推進校委託(小6校・中3校) ● 経験者研修 実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →	
	参加者数	約2,300人	→	→	→	2,300人以上	
	満足度	平均4以上	→	→	→	平均4以上	
	予算額(千円)	39,259	37,757	37,991	34,143		
	決算額(千円)	38,706	36,576	33,954			
	執行率(%)	98.6	96.9	89.4			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	● 参加者総数3,324人 ● 研究部会109回実施 ● 研修講座76本開催 ● 研究紀要・教育情報誌発刊の成果					
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	● 研究部会(全109回) 教育課題研究部会 11回 国語科研究部会 12回 社会科研究部会 11回 理科研究部会 11回 外国語活動・英語科研究部会 13回 道徳研究部会 13回 情報教育研究部会 13回 教育実践臨床研究部会 13回 ● 研修講座(全76回) 一般研修 5講座 土曜研修講座 11回 授業力向上研修講座 29回 ● 第11回学習意識調査の周知・活用 ● 教育情報の提供 「ふじさわ教育」編集委員会 3回 「ふじさわ教育」第174号、175号、176号発行 ● 教育文化講演会 「子どもが一人前に育つ生活習慣の法則」 運営委員会 3回 連帯委員会 3回 ● 藤沢市総合かがく展 児童・生徒研究集録(第35集)発行 ● 研究報告会 開催 3/27					
	評価	H29年度の総合評価	B				
	評価理由	● 本年度の事業内容は概ね滞りなく進んだ。 ● 教育の今日的な課題に対応した研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、視野を広げることができた。 ● 各研究部会の研究を通じ、研究員の指導力向上につながった。 ● 教育の今日的な課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。					
	H30年度 事業計画	● 日々の教育実践に必要な教職専門者としての研修を行い、教師の力量を高め、教育の質的向上を図る。 ● 研修講座(全76回) ● 土曜研修講座、授業力向上研修講座を含む ● 教育文化講演会、総合かがく展開催 ● 「ふじさわ教育」の編集・発行 ● 研究報告会の開催					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
121	各教科研究研修関係事業	教育指導課 担当課 変更(ある場合) *各学校の教育研究会に委託していた「教科等教育課程推進業務委託」については、平成30年度から「教育課程推進事業」教育研究推進事業への補助金を交付する形に変更した。(H30)					
	事業目的	教員の資質と教育の質の向上					
	事業内容	● 各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市小中教育研究会における教育研究の充実を図るための支援を行う。 ● 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、新規採用教員及び教職1、2、3、4、12年経験者の研修会を開催する。					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ● 教育研究委託 ● 教育研究推進校委託(小6校・中3校) ● 経験者研修 実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →	
	予算額(千円)	17,993	19,129	19,413	19,373		
	決算額(千円)	17,987	19,111	19,401			
	執行率(%)	99.9	99.9	99.9			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	藤沢市教職員人材育成基本方針に則り、教職経験年数に応じた研修を実施した。					
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	● 各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。 ● 研究推進校へ指導者が訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。 ● 初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。 ● ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。学年経営・学校運営についての内容を充実させた。 ● 小・国際教育担当者会、校内研究推進担当者会、小学校児童指導担当者会、学校安全担当者会、校内支援担当者会、人権・環境・平和教育担当者会、食育担当者会、幼保小中特連携担当者会、いじめ防止担当者会、学校事故防止担当者会など各種担当者会において研修を行った。					
	評価	H29年度の総合評価	B				
	評価理由	● 各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。 ● 研究推進校へ指導者が訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。 ● 初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。 ● ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。学年経営・学校運営についての内容を充実させた。 ● 小・国際教育担当者会、校内研究推進担当者会、小学校児童指導担当者会、学校安全担当者会、校内支援担当者会、人権・環境・平和教育担当者会、食育担当者会、幼保小中特連携担当者会、いじめ防止担当者会、学校事故防止担当者会など各種担当者会において研修を行った。					
	H30年度 事業計画	● 各中学校内研究会、教育研究推進校教育研究会、市立小中学校教育研究会等において教育研究事業の研究を行う。 ● 教育研究推進校のうち、小学校2校、中学校1校で発表を行う。 ● 初任者研修及び教職1,2,3,4,12年経験者の研修会を開催する。 ● 各担当者会等で研修を行い意識の向上に努める。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 141	事業名 人権・環境・平和と教育関係事業	担当課 教育指導課	教育部署 教育指導課
事業目的 人権・環境・平和についての知識や理念を身につけた児童生徒の育成を図る。			
事業内容 児童生徒及び教職員を対象にして、人権教育・環境教育・平和教育の啓発と研修を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●人権・環境・平和と教育担当者会(55校) ●スクールセクハラ等防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校) ●環境教育の推進	H28年度 ●人権・環境・平和と教育担当者会(55校) ●スクールセクハラ等防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校) ●環境教育の推進	H29年度 ●人権・環境・平和と教育担当者会(55校) ●スクールセクハラ等防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校) ●環境教育の推進
予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)	606 567 93.8	606 605 99.8	606 594 98.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	全児童生徒に実施し、人権・環境・平和についての意識の啓発を行った。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・人権・環境・平和と教育担当者会を2回実施し、その中で、環境教育については、出前授業、モビリティ・マネジメント教育の紹介等を行った。また、人権教育については、体験型アクティビティを通して、担当者がファシリテーターとなるよう支援した。 ・「持続可能な社会の担い手を育てるために」と題した講演会を開催し、担当者に意識啓発をおこなった。 ・セクハラ等防止リーフレットの配付(55校) ・中学生用リーフレットにデートDV防止の内容を加えた。 ・子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校) ・チャレンジかわせみ実践状況の報告(55校) ・人権教育移動教室を実施した(4校) 上記のように、担当者会、各リーフレットの配付、人権教育移動教室を通して、人権教育・環境教育等の推進を図った。			
評価の理由 計画通りの事業を行うことができた。人権・環境・平和と教育担当者会を通して人権意識を高めることができた。			
今後の方向 ・人権・環境・平和と教育担当者会においては、計画通り実施できた。今後さらに内容の検討を行い、次年度も引き続き企画していく。 ・実践・活動の記録集においては、一層の活用がなされるよう書式等の検討を引き続き行う。 ・モビリティ・マネジメント教育を小学校で実践していく。			
H30年度事業計画 ・人権・環境・平和と教育担当者会の実施(2回) ・セクハラ等防止のリーフレットの配付(55校) ・子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校) ・チャレンジかわせみ実践状況の報告(55校) ・人権教育移動教室の実施(4校) ・モビリティ・マネジメント教育の実施(小学校)			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 131	事業名 教育指導事務事業 (計画訪問・要請訪問)	担当課 教育指導課	教育部署 教育指導課
事業目的 ●指導主事の学校訪問により、学校の教育力や教員の指導技術・指導力の向上を図る。 ●学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。			
事業内容 ●学校教育の円滑な運営のための学校教育指導計画を作成し、指導主事による教育指導と学校問題解決支援員による学校支援を行う。 ●指導主事による計画訪問と要請訪問を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●計画訪問 小学校 12校 中学校 7校 ●学校問題解決支援員、いじめ防止対策SCCの学校訪問(適宜)	H28年度 小学校 12校 中学校 7校 ●学校問題解決支援員、いじめ防止対策SCCの学校訪問(適宜)	H29年度 小学校 13校 中学校 6校 中・特別支援学校7校 中学校 7校
予算額(千円) 決算額(千円) 執行率(%)	13,613 13,040 95.8	13,581 12,777 93.8	13,488 13,212 97.3
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	●学校の教育力・教員の指導力の向上を図ら れた。 ●学校が抱える諸課題について、学校とともに効果的な解決が図られた。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・指導主事による計画訪問の実施(小学校12校、中学校7校)。研究授業では、支援教育の視点を入れるよう指導した。 ・学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)。特に、平成30年度から小学校において教科化される「特別の教科 道徳」についての研修や、小学校3・4年生から導入される外国語活動についての研修を多く実施した。 ・指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校) ・保護者相談や学校が抱える諸課題に対し、学校問題解決支援員が学校とともに対応し、効果的な解決を図った。			
評価の理由 ●指導主事の訪問により、教員の指導力向上が図られており、学校が抱える課題が複雑化し、対応が難しいケースも増えている。			
今後の方向 ●計画訪問を通して、支援の必要な児童生徒への対応について、教職員の意識を高めていく。 ●各学校においては、諸課題の未然防止に努めるとともに、初期対応を丁寧に行う必要があることから、指導主事が学校を訪問し、支援を行っていく。			
H30年度事業計画 ●計画訪問 小学校13校、中学校6校 ●要請訪問 適宜 ●学校問題解決支援員と指導主事の訪問 20校程度			
課題・問題点 ●学校が抱える諸課題や、対応ケースの複雑化。 ●問題発生時における学校の初期対応を含めた管理職のマネジメント力の向上。 ●計画訪問については、平成30年度は3年計画の最終年度であることから、平成31年度以降、どのような目的や方法で実施していくか、検討が必要。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
142	児童生徒指導関係事業	教育指導課				
	事業目的	変更(ある場合)				
	市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。					
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校、保護者、警察、各種関係団体の連携協力をすすめる、児童生徒指導上の情報交換や対応についての検討協議を行う。 いじめ、不登校等の児童生徒指導上の諸問題については、上記関係機関との連携を深め、研修等を通じ相談機能の充実を図ることに依り、未然防止・早期発見・早期指導に努める。 小学校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●担当者会議	→	→	→	→
		●サポート会議(必要に応じて実施)	→	→	→	→
		●児童支援担当教諭の配置	→	→	→	→
		11校で試行(県加配校含む)	11校に配置(県加配校含む)	23校に配置(県加配校含む)	35校に配置(県加配校含む)	
	予算額(千円)	233	233	178	81	
	決算額(千円)	109	86	7		
	執行率(%)	46.8	36.9	3.9		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	児童支援担当教諭は、H29年度は、28校(県加配校を含めて)で実施することができた。				
	H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	評価理由 ●児童生徒指導対策委員会を開催した。(1回) ●児童生徒指導の手引き(改訂版)を新規採用及び市外からの転任採用教諭に配付した。 ●児童支援担当教諭を28校に配置。協議会を7回・研修会を4回開催し情報交換や危機管理などの研修を行った。 ●中学校や配置校同士の情報交換を行うことで、それぞれの先進的な取り組みについて共有を図ることができた。				
	今後の方向	●児童生徒の健全育成を図り、いじめ・暴力行為、不登校の件数の減少に努める。 ●児童支援担当教諭の全校配置を目指し、さらに配置を進めることにより、小学校でのチームとしての対応力を強化し、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を推進する。				
	H30年度事業計画	●児童生徒指導に課題を抱える学校に対して、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を積極的に進めるために児童生徒指導対策支援会議、支援サポート会議を開催していく。 ●児童生徒指導担当者のスキルアップに向けた研修会等を実施する。 ●小学校35校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
143	ハケ岳野外体験教室の充実事業	教育総務課				
	事業目的	変更(ある場合)				
	ハケ岳周辺の大自然の中で各学校が行う教育活動の充実を図ること、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばし、心豊かに育てる。					
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民等の野外体験施設としての利用に供することで自然環境に触れられる場を提供する。 学校教育施設として、ハケ岳周辺の大自然の中で各学校が行う自主的・創造的な教育活動を展開し、また、市民団体等の野外体験施設として活用する。 保全計画に基づいて施設の老朽化に対応していく。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		実施	→	→	→	→
	予算額(千円)	227,260	226,871	232,267	231,935	
	決算額(千円)	225,314	220,212	217,895		
	執行率(%)	99.1	97.1	93.8		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	●体験活動を行うことにより心豊かな児童生徒の育成が図れた。 ●市民等に自然環境に触れられる場を提供できた。				
	H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	評価理由 ●指定管理者と連携しながら、学校利用や市民等の利用を進めることができた。 ●藤沢市立学校55校の学校利用があり、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばすことができた。また、中学校7校は冬季利用で冬の大自然を体験し、厳しい自然の中で藤沢では得られない体験をした。 ●指定管理者の自主事業「子どもだけのわいわいキャンプ」では藤沢市の子どもたちだけでなく、茅ヶ崎市・寒川町に在住・在学の小・中学生も一緒に自然体験や仲間とのふれあいをすることができた。 ●施設管理の面では、トイレの修繕と、冬季利用の受け入れ拡大に向けて水道管凍結工事を実施した。				
	今後の方向	●児童生徒の体験活動が充実していくように、本番に近い形で教員が下見をできるように支援していく。 ●藤沢市内の学校利用日以外について、市民等の利用拡大に向け、積極的に情報提供していく。				
	H30年度事業計画	●指定管理者と連携しながら、学校利用の充実をはかるとともに市民等の利用の促進に努める。 ●指定管理者と連携し一般利用者の拡大へ向けた具体的な取組を行う。 ●施設の修繕計画をもとに、施設の長寿命化、安全確保のための修繕を行っていく。				
	課題・問題点	●一般市民利用者の拡大へ向けた取組が必要である。 ●体験施設も開設から20年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。 ●各学校がよりよい教育活動を展開できるように下見の充実を図る。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																																																																								
144	学校給食とおおしの食育推進事業	教育部	学校給食課	変更(ある場合)																																																																																																																												
事業目的																																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における食事について正しい理解を深める。 望ましい食習慣を養う。 																																																																																																																																
事業内容																																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食や食に関する年間指導計画に基づいた授業をおおしの食育により、児童に正しい食習慣を身に付けさせる。 食物除去の指示書に基づき、適正なアレルギー給食対応を行うとともに、本人だけでなく周囲もアレルギーに対する理解を深める。 																																																																																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施</td> <td>36校</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>●「食物除去の指示書」に基づく対応実施</td> <td>36校</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果</td> <td colspan="5"> 年次ごとの取組計画「食に関する年間指導計画」に基づいた指導 36校 ・「食に関する年間指導計画」に基づいた食に関する年間指導計画 ・藤沢市学校給食におけるアレルギー対応の対応 について「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施36校 </td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>81</td> <td>→</td> <td>81</td> <td>73</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>→</td> <td>81</td> <td>73</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0</td> <td>→</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果</td> <td colspan="5"> 小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の学校給食や食育通信と、各校で作成した「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 中学校給食の献立表を利用し、食に関する情報を発信した。 藤沢市学校給食におけるアレルギーの対応について「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 養護教諭と連携し、教室におけるアレルギー対応の方法等の検討を開始した。 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> H30年度事業計画 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> 食に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 栄養教諭と連携し、全小学校においてほぼ統一された指導案で実施できる基本の食育チームティーチング授業を公開し、内容の充実を図る。 引き続き研究グループにおいて、食物アレルギー児への対応における学校差の是正に向けて検討する。 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 課題・問題点 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> 除去食の対応については、学校の状況(対応数、食数、人員、設備等)により違いがあり、統一が容易でない。 食に関する年間指導計画は、各学年で指導する内容の基本を統一する必要があると考える。 </td> </tr> </tbody> </table>									年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施	36校	→	→	→	→	●「食物除去の指示書」に基づく対応実施	36校	→	→	→	→	予算額(千円)	0	0	0	0	→	決算額(千円)	0	0	0	0	→	執行率(%)	0	0	0	0	→	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	年次ごとの取組計画「食に関する年間指導計画」に基づいた指導 36校 ・「食に関する年間指導計画」に基づいた食に関する年間指導計画 ・藤沢市学校給食におけるアレルギー対応の対応 について「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施36校					予算額(千円)	81	→	81	73	73	決算額(千円)	0	→	81	73	73	執行率(%)	0.0	→	100	100	100	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人					H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)									<ul style="list-style-type: none"> 毎日の学校給食や食育通信と、各校で作成した「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 中学校給食の献立表を利用し、食に関する情報を発信した。 藤沢市学校給食におけるアレルギーの対応について「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 養護教諭と連携し、教室におけるアレルギー対応の方法等の検討を開始した。 									H30年度事業計画									<ul style="list-style-type: none"> 食に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 栄養教諭と連携し、全小学校においてほぼ統一された指導案で実施できる基本の食育チームティーチング授業を公開し、内容の充実を図る。 引き続き研究グループにおいて、食物アレルギー児への対応における学校差の是正に向けて検討する。 									課題・問題点									<ul style="list-style-type: none"> 除去食の対応については、学校の状況(対応数、食数、人員、設備等)により違いがあり、統一が容易でない。 食に関する年間指導計画は、各学年で指導する内容の基本を統一する必要があると考える。 								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																																																																											
●「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施	36校	→	→	→	→																																																																																																																											
●「食物除去の指示書」に基づく対応実施	36校	→	→	→	→																																																																																																																											
予算額(千円)	0	0	0	0	→																																																																																																																											
決算額(千円)	0	0	0	0	→																																																																																																																											
執行率(%)	0	0	0	0	→																																																																																																																											
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	年次ごとの取組計画「食に関する年間指導計画」に基づいた指導 36校 ・「食に関する年間指導計画」に基づいた食に関する年間指導計画 ・藤沢市学校給食におけるアレルギー対応の対応 について「食に関する年間指導計画」に基づいた授業実施36校																																																																																																																															
予算額(千円)	81	→	81	73	73																																																																																																																											
決算額(千円)	0	→	81	73	73																																																																																																																											
執行率(%)	0.0	→	100	100	100																																																																																																																											
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人																																																																																																																															
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)																																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の学校給食や食育通信と、各校で作成した「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 中学校給食の献立表を利用し、食に関する情報を発信した。 藤沢市学校給食におけるアレルギーの対応について「食に関する年間指導計画」に基づいた食育授業等を実施した。 養護教諭と連携し、教室におけるアレルギー対応の方法等の検討を開始した。 																																																																																																																																
H30年度事業計画																																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 食に関する年間指導計画に基づいた食育の実施 栄養教諭と連携し、全小学校においてほぼ統一された指導案で実施できる基本の食育チームティーチング授業を公開し、内容の充実を図る。 引き続き研究グループにおいて、食物アレルギー児への対応における学校差の是正に向けて検討する。 																																																																																																																																
課題・問題点																																																																																																																																
<ul style="list-style-type: none"> 除去食の対応については、学校の状況(対応数、食数、人員、設備等)により違いがあり、統一が容易でない。 食に関する年間指導計画は、各学年で指導する内容の基本を統一する必要があると考える。 																																																																																																																																

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																																																
145	環境教育推進事業	環境部	環境事業センター	変更(ある場合)																																																																																																				
事業目的																																																																																																								
保育園・幼稚園の幼児期や小学校4年生の学習期から環境教育を実施することにより、循環型社会に対する意識の向上を図る。																																																																																																								
事業内容																																																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ごみの排出抑制や減量、再利用、再生利用の推進を図るため、小学校4年生や保育園・幼稚園児を対象としたごみの減量・資源化のため、実際に塵芥収集車を持ち込み啓発教育事業を行う。 小学校36校(私立小学校1校を含む)、保育園・幼稚園 																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●小学校、保育園・幼稚園啓発教育事業</td> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>小学校(36校)の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>81</td> <td>→</td> <td>81</td> <td>73</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>→</td> <td>81</td> <td>73</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0</td> <td>→</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果</td> <td colspan="5"> 小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することと、ごみの分別等の意識の向上を図られた。 保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施。 着ぐるみを使用した寸劇での先生との意見交換を実施し、学校や保育園・幼稚園で実施。 効果的な啓発事業を実施。 小学校 36校 3,996人 保育園・幼稚園 21園 1,545人 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> H30年度事業計画 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ごみのなぜの予キスト化を実施する。 市内大学との連携による学生との循環型社会形成に向けたディスプレイカンパソンを実施する。 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 課題・問題点 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。 </td> </tr> </tbody> </table>									年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●小学校、保育園・幼稚園啓発教育事業	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	→	→	→	→	小学校(36校)の実施	→	→	→	→	→	予算額(千円)	81	→	81	73	73	決算額(千円)	0	→	81	73	73	執行率(%)	0.0	→	100	100	100	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人					H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)									<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することと、ごみの分別等の意識の向上を図られた。 保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施。 着ぐるみを使用した寸劇での先生との意見交換を実施し、学校や保育園・幼稚園で実施。 効果的な啓発事業を実施。 小学校 36校 3,996人 保育園・幼稚園 21園 1,545人 									H30年度事業計画									<ul style="list-style-type: none"> ごみのなぜの予キスト化を実施する。 市内大学との連携による学生との循環型社会形成に向けたディスプレイカンパソンを実施する。 									課題・問題点									<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。 								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																																																			
●小学校、保育園・幼稚園啓発教育事業	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	→	→	→	→																																																																																																			
小学校(36校)の実施	→	→	→	→	→																																																																																																			
予算額(千円)	81	→	81	73	73																																																																																																			
決算額(千円)	0	→	81	73	73																																																																																																			
執行率(%)	0.0	→	100	100	100																																																																																																			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校 36校 3,891人 保育園・幼稚園 22園 1,546人																																																																																																							
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)																																																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化の啓発活動を幼少期から実施することと、ごみの分別等の意識の向上を図られた。 保育園・幼稚園の啓発事業として、わかりやすく・楽しい事業を実施。 着ぐるみを使用した寸劇での先生との意見交換を実施し、学校や保育園・幼稚園で実施。 効果的な啓発事業を実施。 小学校 36校 3,996人 保育園・幼稚園 21園 1,545人 																																																																																																								
H30年度事業計画																																																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ごみのなぜの予キスト化を実施する。 市内大学との連携による学生との循環型社会形成に向けたディスプレイカンパソンを実施する。 																																																																																																								
課題・問題点																																																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量・資源化は、資源品目の拡大など毎年変化があるため、事業内容の精査が必要。 																																																																																																								

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	担当課	担当部	教育指導課																																																		
146	いじめ暴力防止対策事業	いじめや体罰に対する未然防止や早期発見・対応を図り、児童生徒が安心して安全な学校生活を送ることを目指す。	変更(ある場合)	教育指導課																																																			
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月施行の「藤沢市子どもをいじめから守る条例」に基づき、いじめ防止対策を推進する。 いじめ防止プログラム「いじめ防止教室」を実施し、いじめの未然防止を図る。 「いじめ相談ホットライン」「いじめ相談メール」を通して、児童生徒、保護者からの相談に対応する。 いじめ防止対策担当スクールカウンセラーを配置し、学校からの要請に対応する。 いじめ防止啓発リーフレットを作成し、新入学児童の家庭に配付する。 																																																							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ防止プログラム「いじめ防止教室」</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの学校訪問</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>新入学児童の家庭に「いじめ防止啓発リーフレット」(条例解説リーフレット)配付</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>● 条例解説リーフレットを市立小・中・特別支援学校の全児童生徒に配付</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>15,184</td> <td>14,296</td> <td>13,889</td> <td>5,720</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>13,475</td> <td>12,397</td> <td>12,219</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>88.7</td> <td>86.7</td> <td>88.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	いじめ防止プログラム「いじめ防止教室」	→	→	→	→	いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの学校訪問	→	→	→	→	新入学児童の家庭に「いじめ防止啓発リーフレット」(条例解説リーフレット)配付	→	→	→	→	実施	→	→	→	→	● 条例解説リーフレットを市立小・中・特別支援学校の全児童生徒に配付	→	→	→	→	実施	→	→	→	→	予算額(千円)	15,184	14,296	13,889	5,720	決算額(千円)	13,475	12,397	12,219		執行率(%)	88.7	86.7	88.0	
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																			
いじめ防止プログラム「いじめ防止教室」	→	→	→	→																																																			
いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの学校訪問	→	→	→	→																																																			
新入学児童の家庭に「いじめ防止啓発リーフレット」(条例解説リーフレット)配付	→	→	→	→																																																			
実施	→	→	→	→																																																			
● 条例解説リーフレットを市立小・中・特別支援学校の全児童生徒に配付	→	→	→	→																																																			
実施	→	→	→	→																																																			
予算額(千円)	15,184	14,296	13,889	5,720																																																			
決算額(千円)	13,475	12,397	12,219																																																				
執行率(%)	88.7	86.7	88.0																																																				
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いじめ防止プログラム実施校において、児童生徒による自治的活動として定着しており、創意工夫ある取組が展開されている。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>年々体罰の報告件数は減少している。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>いじめ防止プログラムを履正し、いじめ防止教室にこれまで行ってきたいじめ防止プログラムの内容を加えて実施する。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>						H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	いじめ防止プログラム実施校において、児童生徒による自治的活動として定着しており、創意工夫ある取組が展開されている。	→	→	→	→	年々体罰の報告件数は減少している。	→	→	→	→	いじめ防止プログラムを履正し、いじめ防止教室にこれまで行ってきたいじめ防止プログラムの内容を加えて実施する。	→	→	→	→																														
H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度																																																			
いじめ防止プログラム実施校において、児童生徒による自治的活動として定着しており、創意工夫ある取組が展開されている。	→	→	→	→																																																			
年々体罰の報告件数は減少している。	→	→	→	→																																																			
いじめ防止プログラムを履正し、いじめ防止教室にこれまで行ってきたいじめ防止プログラムの内容を加えて実施する。	→	→	→	→																																																			
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 条例リーフレットを小学校1年、4年、中学校1年に配付した。 いじめ防止対策担当スクールカウンセラーは学校訪問6校、いじめ関係学校相談25回、いじめ関係以外学校相談17回、研修会 25回、生徒会訪問2校、等の活動をした。 いじめ相談ホットラインは24時間体制でいじめの相談を受け付け、いじめ相談メールと併せて開設している。 いじめ防止プログラムを小学校3校、中学校8校、いじめ防止教室を小学校9校、中学校2校で実施した。 平成30年1月20日に「stopいじめ!」中学生の集いinふじさわを開催した。生徒が司会を担当するなど内容がさらに充実した。 小学校1年生保護者向け、小学校4年生向け、中学校1年生向けにいじめ防止の啓発リーフレットを作成配付した。 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会を4回開催し、本市のいじめ防止の方向性を検討した。 体罰の実態を把握するとともに、未然防止の目的で体罰調査を実施した。 																																																							
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ相談ホットライン受付時間を変更したこと告知。 いじめ問題調査委員会を立ち上げ実施することになったが、初めての試みということもあり、今後のより良い委員会の進行・運営についての検討が必要である。 																																																							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	担当課	担当部	企画政策部																																																																																					
147(722)	人権施策推進事業	藤沢市人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、人権文化を育むまわすくりに向けて、人権尊重の精神が社会や生活の中に定着し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現を目指す。	変更(ある場合)	人権男女共同平和課																																																																																						
<p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が、多岐にわたる人権課題について理解を深めることができるよう、様々な機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、人権啓発リーフレットを作成し、公共施設及び人権相談機関や啓発事業等を通して配布するなど、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る機会を提供する。 また、子どものいじめ防止について、社会全体への意識啓発に努めたことと、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の市長部局による再調査を目的に、附属機関として藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置し運営を図る。 																																																																																										
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>●子どものいじめ防止に関する意識啓発、及びいじめ問題再調査委員会の運営</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>6,883</td> <td>7,468</td> <td>6,519</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>6,177</td> <td>6,308</td> <td>5,841</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>89.7</td> <td>84.5</td> <td>87.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施	→	→	→	→	●子どものいじめ防止に関する意識啓発、及びいじめ問題再調査委員会の運営	→	→	→	→	実施	→	→	→	→	予算額(千円)	6,883	7,468	6,519		決算額(千円)	6,177	6,308	5,841		執行率(%)	89.7	84.5	87.7																																																			
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																																																																						
市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施	→	→	→	→																																																																																						
●子どものいじめ防止に関する意識啓発、及びいじめ問題再調査委員会の運営	→	→	→	→																																																																																						
実施	→	→	→	→																																																																																						
予算額(千円)	6,883	7,468	6,519																																																																																							
決算額(千円)	6,177	6,308	5,841																																																																																							
執行率(%)	89.7	84.5	87.7																																																																																							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市人権啓発講演会ほか、他課等と連携した啓発事業を実施した。 「藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会」のほか、リーフレット等を作成・配布した。 いじめ問題再調査委員会を実施した。 																																																																																										
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権の花運動 <ul style="list-style-type: none"> *8小(市立7校、私立1校)と連携して実施 *中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施) (6月7日校長会にて協力依頼) *参加校 計20校 応募数2,008編 *6月1日(日)の人権協議委員の日「月18日、午後小 10月27日、秋葉台小 1月19日、湘南学園小 3月6日 *高齢者施設における人権啓発事業・特設相談 *スポンサー少年団指導者講習会 12月2日 人権週間事業 <ul style="list-style-type: none"> *第32回藤沢市人権啓発講演会 12月9日 *テーマ「いま、人権から... ひとりひとり『主役』の社会を」講師 落念恵子氏 *講演会のほかで中学生人権作文コンテスト入賞者の朗読を行った。 *地域人権啓発講演会 2月4日 総合市民図書館 *藤沢市子どもをいじめから守る啓発事業 *子どもをいじめから守る啓発講演会 9月30日 テーマ「振り返り先生、いじめを断つ～優しさで勇気の育てかた～」講師 水谷修氏 *市P連学習会 11月26日 テーマ「ネットいじめの現状と対応の関わり方」講師 西谷雅史氏 いじめ防止啓発リーフレット・ポスターの作成、配布 *高等学校1年生及び啓発事業で市民に配布した。 いじめ問題再調査委員会 3月8日 *重大事態が起きた場合に備え、事務フローの確認や意見交換等を行った。 *その他、他課等と連携した啓発講演会等 																																																																																										
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> <th>H29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権協議委員との連携事業である「人権の花運動」「中学生人権作文コンテスト」「人権教室出前授業」等を通して、多くの子どもたちに、自分の身近なところから人権について考える機会を提供することできた。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>「人権教室出前授業」については、学校のニーズを聞きながら、人権協議委員と連携し、実施することができた。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>教育委員会との共催事業である「平成29年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会」は多くの参加者が得られ、幅広い啓発の機会となった。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>今後の方向</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>「藤沢市人権協議委員推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権協議委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>H30年度事業計画</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>「藤沢市子どもをいじめから守る条例」リーフレットの作成及び配布</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*第33回藤沢市人権啓発講演会</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*地域人権啓発講演会</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*個別課題をテーマとした講座等</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*人権の花運動 (市立7小学校、私立1小学校と連携して実施)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*人権協議委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>*人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>						H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	人権協議委員との連携事業である「人権の花運動」「中学生人権作文コンテスト」「人権教室出前授業」等を通して、多くの子どもたちに、自分の身近なところから人権について考える機会を提供することできた。	→	→	→	→	「人権教室出前授業」については、学校のニーズを聞きながら、人権協議委員と連携し、実施することができた。	→	→	→	→	教育委員会との共催事業である「平成29年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会」は多くの参加者が得られ、幅広い啓発の機会となった。	→	→	→	→	今後の方向	→	→	→	→	「藤沢市人権協議委員推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権協議委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。	→	→	→	→	H30年度事業計画	→	→	→	→	「藤沢市子どもをいじめから守る条例」リーフレットの作成及び配布	→	→	→	→	*第33回藤沢市人権啓発講演会	→	→	→	→	*地域人権啓発講演会	→	→	→	→	*個別課題をテーマとした講座等	→	→	→	→	*人権の花運動 (市立7小学校、私立1小学校と連携して実施)	→	→	→	→	*中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施)	→	→	→	→	*人権協議委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置)	→	→	→	→	*人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修)	→	→	→	→	*高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談)	→	→	→	→	*人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等)	→	→	→	→
H29年度	H29年度	H29年度	H29年度	H29年度																																																																																						
人権協議委員との連携事業である「人権の花運動」「中学生人権作文コンテスト」「人権教室出前授業」等を通して、多くの子どもたちに、自分の身近なところから人権について考える機会を提供することできた。	→	→	→	→																																																																																						
「人権教室出前授業」については、学校のニーズを聞きながら、人権協議委員と連携し、実施することができた。	→	→	→	→																																																																																						
教育委員会との共催事業である「平成29年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会」は多くの参加者が得られ、幅広い啓発の機会となった。	→	→	→	→																																																																																						
今後の方向	→	→	→	→																																																																																						
「藤沢市人権協議委員推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権協議委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。	→	→	→	→																																																																																						
H30年度事業計画	→	→	→	→																																																																																						
「藤沢市子どもをいじめから守る条例」リーフレットの作成及び配布	→	→	→	→																																																																																						
*第33回藤沢市人権啓発講演会	→	→	→	→																																																																																						
*地域人権啓発講演会	→	→	→	→																																																																																						
*個別課題をテーマとした講座等	→	→	→	→																																																																																						
*人権の花運動 (市立7小学校、私立1小学校と連携して実施)	→	→	→	→																																																																																						
*中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施)	→	→	→	→																																																																																						
*人権協議委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置)	→	→	→	→																																																																																						
*人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修)	→	→	→	→																																																																																						
*高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談)	→	→	→	→																																																																																						
*人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等)	→	→	→	→																																																																																						
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 他課や地域と連携した啓発事業の拡充 いじめの重大事態が起きた場合の教育委員会との連携の強化 																																																																																										

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
151	特別支援教育推進事業	特別支援教育推進事業 事業目的 特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育環境を改善し、特別支援教育の充実を図る。					
		事業内容 特別支援学級、通級指導教室を運営する。 特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、介助員、学校看護介助員を派遣する。					
		年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		→	→	→	→
		予算額(千円)	76,630	75,336	75,411	74,049	
		決算額(千円)	73,341	73,130	74,481		
		執行率(%)	95.7	97.1	98.8		
		年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果					
		H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●全55校で、教育活動の支援のために介助員派遣を行った。教育職員免許状を有する介助員は、校長が必要と認められた場合には、担任の指示のもと、児童生徒の学習の補助を行った。 ●通常の学級に在籍する支援や介助を要する児童生徒(小学校427名、中学校101名)に、介助員を派遣した。 ●特別支援学級では、全ての学級に介助員を派遣した。 ●宿泊行事については、小学校は91名、中学校は53名の介助員を派遣した。 ●年間2回介助員派遣の執行状況調査を行い、介助員派遣事業予算の有効な活用を図った。 ●全ての学校において、介助員派遣を行い、又、医療的ケアが必要な児童生徒に対して、通常級を含めて、学校看護介助員の派遣を行うことにより、特別の支援が必要な児童生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう支援を図った。					
		H30年度事業計画 ●通常の学級に在籍する介助を必要とする児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒に対して、又、宿泊行事や学校の課題に応じて、支援を行うための介助員派遣を行う。 ●学校生活において、医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、学校看護介助員の派遣を行う。					
		課題・問題点 ●様々な支援が必要な児童生徒が増えていることから、各学校や児童生徒の実態に合わせて、必要な支援を行うことができるよう、有効な方法を検討する必要がある。 ●広く支援を必要としている児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、学校が申請する介助員派遣時間数は予算を上回る状況である。 ●支援が必要な児童生徒が校外での学習に参加する際、付き添う介助員の交通費等がかかるため、予算化について検討する必要がある。 ●車いすの介助が出来る介助員や、男性の介助員を確保することが難しく、各学校の介助員の情報共有が必要である。 ●医療的ケアが必要な児童生徒の情報を早い時期から収集し、就学にあたっての環境整備が必要である。					
		評価の理由 ●特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を図ることができた。 ●通常の学級にも学校看護介助員を派遣することによって、保護者の負担を減らすことができた。					
		今後の方向 ●広く支援を必要としている児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、介助員や学校看護介助員を十分に派遣するための予算の確保を行うと共に、各学校や児童生徒の実態に合わせて、必要な支援を行うことができるよう、有効な方法を検討する。					
		H29年度の総合評価			B		
		次年度					継続

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
152	学校教育相談センター事業	学校教育相談センター事業 事業目的 支援相談の必要な児童生徒や保護者が必要な時に相談を受けることができる環境を整備し、一人ひとりが楽しく学校へ通うことができるよう、相談体制の充実を図る。					
		事業内容 児童生徒の学校生活への適応を図るため、各小中学校へのスクールカウンセラーの配置や、学校教育相談センターでの教育相談・就学相談、及び相談支援教室における不登校児童生徒への相談支援を行う。 ●不登校児童生徒、保護者への相談支援 ●スクールカウンセラーを全小中学校へ週1日配置 ●次年度就学予定児に対する就学相談活動 ●相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談 ●スクールカウンセラーの学校への派遣 ●特別支援教育専門カウンセラーによる学校巡回 ●関係各課と連携した相談活動					
		年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		→	→	→	→
		予算額(千円)	148,359	153,725	162,423	146,370	
		決算額(千円)	142,077	148,125	157,169		
		執行率(%)	95.8	96.3	96.8		
		年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果					
		H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●支援相談の必要な児童生徒や保護者が、必要な時期に必要な場面で支援が受けられるよう、学校及び相談センターでの相談活動の充実を図った。 ●スクールカウンセラーの配置を、小学校の大規模校5校については2日、19校については1.5日の配置とした。 ●スクールカウンセラーの3名体制により相談活動の充実を図った。 ●就学相談員による相談活動、就学支援委員会を通して、きめ細やかな就学相談を行った。 ●相談支援教室において、集団適応指導及び児童生徒保護者相談を行い、不登校児童生徒の支援の充実を図った。					
		H30年度事業計画 ●スクールカウンセラーの全小中学校24校に配置(週1.5日以上)の配置(小学校24校) ●既就学児童生徒の就学相談活動(特別支援教育専門カウンセラーを配置) ●就学支援委員会での就学相談活動 ●就学支援委員会の開催 ●就学支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談 ●相談支援教室での不登校児童生徒への電話相談・来所相談 ●スクールカウンセラーは3名体制でケースへの対応。学校への派遣。 ●特別支援教育関係の講演会、研修会の開催					
		評価の理由 ●各相談支援活動の活用が進み早期の対応により改善が図られ、相談活動の充実につながった。 ●相談内容の複雑化、相談件数の増加等に伴い、スクールカウンセラーやスクールカウンセラーの対応が十分にできない場合もある。					
		今後の方向 ●スクールカウンセラーの対応日数、スクールカウンセラーの人員の増員について検討していく。					
		H29年度の総合評価			B		
		次年度					継続

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 153	事業名 児童生徒指導関係事業	担当部 教育部	担当課 教育指導課
事業内容 市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。		変更(ある場合) * 不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」実施回数の変更。(不登校児童生徒を持つ保護者を対象とした県教委主催の会が10月と2月に開催されているため)(H28)	
事業目的 * 不登校児童生徒及びその保護者を対象に各種の取組を行う。 * 関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。 * 学校教育相談センターでの相談支援を行う。			
事業内容 * 不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」		H27年度 年4回実施	H28年度 年4回実施
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H29年度 年4回実施	H30年度 年4回実施
予算額(千円) 0		0	0
決算額(千円) 0		0	0
執行率(%) 0.0		0.0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果 不登校児童生徒を持つ親の会「おしゃべり広場」 場 4回実施 参加者総数(20人)		H29年度の 総合評価 B	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) 第1回7月21日(6名) 第2回10月12日(6名) 第3回11月29日(5名) 第4回2月20日(3名) おしゃべり広場に参加したことがきっかけで、相談支援教室の施設案内や来所相談につながったケースがある。		評価の理由 * 計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につながっていると考えられる。	
		今後の方向 * 幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるよう、内容・形式の工夫改善を図りながら継続していく。 * 保護者が参加しやすいような時間帯の設定を検討していく。	
		H30年度事業計画 年4回(7月、9月、12月、2月)開催予定。	

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 154	事業名 教育指導事務事業 (学習指導員による補習授業)	担当部 教育部	担当課 教育指導課
事業内容 学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。		変更(ある場合) 変更	
事業目的 生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、「学習指導員」による補習授業を行う。			
事業内容 * 中学校学習支援事業		H27年度 実施	H28年度 →
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H29年度 →	H30年度 →
予算額(千円) 3,211		3,211	3,211
決算額(千円) 2,927		2,779	3,083
執行率(%) 91.2		86.5	96.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果 * 中学校全19校で実施 * 総時間数、2,698時間		H29年度の 総合評価 B	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) * 各学校が、子どもたちのニーズに合わせて、放課後や夏期休業を利用して学習支援をすることができた。 * 個別や少人数での指導をすることで、生徒の学習意欲へとつなげることができた。		評価の理由 * 年次計画どおり至校で実施することができた。生徒の基礎学力の定着の面で成果をあげている。	
		今後の方向 * 各学校の状況にあわせ、柔軟に対応しながら、生徒の基礎学力の確実な定着につなげていきたい。	
		H30年度事業計画 * 学習指導員の選任(学校長) * 学習指導員による放課後、長期休業中の学習支援	
課題・問題点 * 各校での学習指導員の確保は課題である。 * 学習会について生徒に周知し、希望する生徒が参加できるように運営する。 * 生徒に対する年間を通じた計画的な指導と支援。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 155	事業名 子ども発達支援事業	担当課 子ども青少年部	事業目的 子ども家庭課 変更(ある場合)
関係機関の連携が図られることにより、障がい児等がライフステージに応じた適切な支援を受けられることができる。			
事業内容 障がい児や発達障がい児等が、ライフステージに応じた一貫した支援を受けられるようにするため、ネットワークの形成や情報共有するための子どもサポートファイルの普及・活用の推進を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 子どもサポートファイル配付 120冊	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	1,686	1,614	1,353
決算額(千円)	1,615	1,568	
執行率(%)	95.8	97	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	子どもサポートファイルの配付数62冊		
	H29年度の 総合評価		
	評価 A		
	評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある、または特別な支援が必要な子どもに対して、障がい福祉サービスの利用開始時や、ライフステージの変わり目となる年長児のタイミングや就学相談の中で、子どもサポートファイルを配布した。 ・平成28年度から携帯版についても配付を開始したが、平成28年度以前に子どもサポートファイルを配布し、携帯版を持っていない方については、引き続き携帯版の配布を行った。 ・児童発達支援事業所との会議や保育園の園長会等で、子どもサポートファイルについて説明を行い、支援者や協力者に周知した。 			
	今後の方向		
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイルが広く行き渡るようにする。 ・新規の事業所等に周知する。 			
	H30年度事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な子ども全員に対し、サービスの申請時やライフステージの変わり目等、必要なタイミングで子どもサポートファイルの配布を行う。 			
	課題・問題点		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぎ、子どもサポートファイルの重要性について、保護者や支援者等に周知していく必要がある。 			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 161	事業名 教育課程推進事業(キャリア教育)	担当課 教育部	事業目的 教育部 教育指導課 変更(ある場合)
学習指導要領に則り、各学校において、学校や地域の実態を踏まえた創意工夫ある教育課程実施のため、特色ある教育課程を編成する。			
「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、実りある教育の実践を行うことができる。			
事業内容 ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ・中学校において、職場体験を実施する。 ・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 職場見学学習 ●職業講演等 ●職業調べ・職業体験学習	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市立全中学校(19校)で職業調べを行った。 ・市立中学校(18校)で職場体験学習を行った。 ・小中学校でも職業調べを行い、職業に関する意識を高めた。 		
	H29年度の 総合評価		
	評価 B		
	評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を実施し、児童生徒の職業に対する意識を高めることができた。 ・希望した学校(小学校4校、中学校5校)には産業労働課が「職人」を派遣して、職業に関する講座を開講し、職人の技を児童生徒が間近で見ることができた。 			
	今後の方向		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が連携協力してキャリア教育を推進していくよう、支援していく。 ・キャリア教育に関する情報提供に努める。 			
	H30年度事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校それぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。 ・中学校において、職場体験学習を中心としたキャリア教育を実施する。 ・希望する学校には、産業労働課が市内の職人を派遣し、職業教育に関する講演などを行う。 			
	課題・問題点		
<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験の実施形態や期間、体験先など再考する学校が出てきており、事業の再検討が必要である。 ・体験先が食品・介護・保育関係のとき、衛生面における事前の検査はどこまで行うべきか。その費用。 			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 163	事業名 障がい者就労支援事業 (特別支援学校就労体験)	担当課 担当課	経済部 産業労働課
事業目的 障がい者の雇用・就労に向けた支援事業等を実施することにより、障がい者の雇用・就労の促進を図る。			
事業内容 社会的自立に向けた就労体験の機会を提供するため、県内の特別支援学校の生徒を対象に職場実習を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●職場実習 実施	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0
執行率(%)	0.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	平成29年度は3校からの職場体験実習の受入を行った。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
① 特別支援学校生徒の将来の就労に対する意識の醸成を行うため、職場体験実習の受け入れを実施した。	前年度とほぼ同じ内容で実施		
29年度受入生徒数 5月 ひなたやま支援学校 4人 6月 藤沢養護学校 14人 10月 藤沢養護学校 12人(6月の受入生徒と重複有) 12月 ひなたやま支援学校 6人	今後の方向 今後は庁内障がい者雇用の促進を目的に設置している「JOBチャレンジさわ」と連携し、より実践度の高い実習を実施する。		
白浜養護学校 4人	H30年度事業計画 特別支援学校の実習受入を実施する。 藤沢養護学校については実習スペースの確保が困難で、平成30年度前期の実習受入は見送った。後期の実習受入については、受け入れが可能なら調整を行う。		
このほか白浜養護学校の校内実習への業務提供も行った。	H31年度 継続		
また、上記以外にも、非営利活動法人からの依頼で市内在住の特別支援学校生徒の実習受け入れも行った。	課題・問題点 ●藤沢養護学校の10人以上かつ長期間での実習受け入れについて、実習のスペース確保の検討が必要。		

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 162	事業名 技能職体験事業(学校訪問事業)	担当課 担当課	経済部 産業労働課
事業目的 小学生を含めた若年者に対して、認識された技能を披露し、実際に体験してもらおうとすることで、技能職への理解を深めるとともに、職業意識の形成を図る。			
事業内容 ●学校訪問事業・小中学校に職人が訪問し、働くことや仕事内容の説明、実技披露を行い、実際に小中学生も体験をする。 ●職場体験・体験先の職場の確保に難航している小中学校に対して、藤沢市技能職団体連絡協議会と連携して確保に努める。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●学校訪問事業 実施	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	500	500	400
決算額(千円)	400	420	400
執行率(%)	80.0	84.0	84.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校4校、中学校5校への訪問実施		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
① 学校訪問事業 ●6月校長会での事業周知 ●総合学習の時間におけるキャリア教育や社会の授業の一環として藤沢市内の小、中学校で技能職体験事業を実施した。	●小学校の訪問数が増加した。昨年度訪問実績のなかった小学校へ訪問を実施した。 ●職場体験の受け入れを行った。		
平成29年度訪問学校・生徒数 ●小学校 4校、体験生徒数326人 ●中学校 5校、体験生徒数768人	今後の方向 ●校長会での事業周知。今年度だけでなく、次年度についても受け入れ周知を早い段階で行い、カリキュラムに組み入れやすいようにする。 ●技能職団体連絡協議会が作成した技能職紹介冊子の活用。 ●体験内容の拡充や訪問可能団体の増加を図る。		
訪問団体数 計9団体 (湘南炬炎会、湘南地区洋裁組合藤沢、藤沢菓子組合、藤沢区左官業組合、豊組合湘南、県電気工事工業組合藤沢地区本部、神奈川土建一般労働組合、藤沢板金工業組合、湘南内装表具師会)	H30年度事業計画 学校訪問事業を実施する。 職場体験について、受け入れを行っていく。		
② 職場体験の受入れ 藤沢板金工業組合加盟の事業所にて中学生4人が職場体験を実施した。	課題・問題点 ●職場体験について、受け入れ可能団体を拡大させるとともに、学校への周知も強化していく。 ●実施希望時期又は実施希望先団体について各学校と要調整の上、希望校全てに対応していく必要がある。 ●学校のカリキュラムと実施時間等を調整し、双方に無理のない訪問事業の実施をする必要がある。		

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 164	事業名 若年者就労支援事業 (若者しごと応援塾:ユースワークふじさわ)	担当課 経済部 産業労働課	担当部署 経済部 産業労働課
二一トやひきこもり等、困難を抱える若年者の自立・就労に向けて支援を行う。			
事業目的 若年者就労支援事業 変更(ある場合)			
事業内容 中学校在籍中に不登校等で卒業後においても連絡が未決定の若年者に対して、学校や学校教育相談センターと連携し、当該生徒やその保護者への相談や支援プログラムを実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●若年者就労支援事業	H28年度	H29年度
実施	→	→	→
予算額(千円)	25,497	25,428	16,884
決算額(千円)	25,497	25,428	16,884
執行率(%)	100.0	100.0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	若年者就労支援事業を実施した。		
	H29年度の 総合評価		
	B		
	次年度 継続		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> ・若年者就労支援事業受付数(226人) ・若年者就労支援事業利用者延べ人数(5,071人) ・進路決定者数(113人) ・保護者セミナーを開催(本庁舎で1回) ・地域出張相談会を開催(溝沼、明治で各1回) 			
評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・交付者数、利用者数、進路決定者数について昨年度より増加した。 ・家族支援、事業周知のため、地域出張講演会やシンポジウム等を行う。 ・就労体験や社会体験の受入れ可能な事業所等を確保し、就労体験の機会を提供する。 ・関係機関との連携を図るため、地域連携会議を開催する。 			
今後の方向			
若年者就労支援事業を実施する。			
H30年度事業計画			
課題・問題点			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業周知の拡大 ・人口支援である若者サポート事業と連携を図りながら、就労体験プログラムやボランティア体験の充実等の出口支援を充実する ・CSWをはじめとする藤沢型地域包括ケアシステム等の地域の関係機関とのネットワークを構築する 			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 165(243)	事業名 自立支援推進事業	担当課 福祉部 生活保護課	担当部署 福祉部 生活保護課
生活保護受給世帯の子ども、若者の健全育成と将来に向けた自立助長			
事業目的 生活保護受給世帯の子ども、若者の健全育成と将来に向けた自立助長			
事業内容 0歳から概ね20歳の子ども、若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●支援を要する受給世帯への個別支援	H28年度	H29年度
実施	→	→	→
予算額(千円)	4,654	5,030	5,048
決算額(千円)	4,654	5,003	4,989
執行率(%)	100.0	99.5	98.8
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	支援件数 87世帯101人		
	H29年度の 総合評価		
	B		
	次年度 継続		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> ・支援件数 生活保護受給世帯 83世帯 生活困窮世帯 9世帯 ・日常生活支援(子どもとその親が日常的な生活習慣を身につけるための支援)27人 ・養育支援(ひきこもりや不登校・育原不安に関する支援)62人 ・就労支援(社会性が乏しく就職活動が困難な若者に対する就労準備支援と保護者に対する就労支援) 10人 ※1人に対し他の支援との重複もあり。 			
評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・支援世帯はもとより児童相談所・関係機関との信頼関係の構築により相談件数が増加し、支援の拡充につながった。 ・関係機関との連携協力により支援の充実が図られるよう、十分な情報交換、意見交換を行っていく。 			
今後の方向			
H30年度事業計画			
課題・問題点			
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。 ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等) 			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	福祉部		
166	自立支援推進事業(就労支援)	福祉部	生活支援課			
生活保護受給者の就労による自立						
事業目的 生活保護受給者の就労による自立						
事業内容 ・15歳から64歳までの稼働年齢層で就労阻害要因のない生活保護受給者に対し、就労支援相談員を配置し、ケースワーカーと共に、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労支援を行い、就労による自立を図る。 ・「ただちに就労に結びつくことが困難な受給者に対しては、ユースワークふじさわ等を活用し、社会性を身につける等の就労準備支援を行う。						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施		→	→	→	→	→
予算額(千円)		4,326	4,235	2,194	2,093	
決算額(千円)		3,026	2,091	2,102		
執行率(%)		69.9	49.4	95.8		
年次ごとの取組計画 に対するH28年度末 の成果	支援総数229人	H29年度の 総合評価		評価	次年度	
		B		B	継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) 平成26年12月に生活保護課に隣接する場所に設置したハローワークの常設窓口である「ジョブスポットふじさわ」や就労支援相談員、就労準備支援事業を活用・連携し、ケースワーカーが社会環境、経歴やスキル等を総合的に考慮するなど、個別の寄り添い型の就労支援・就労準備支援を実施した。 1 就労支援プログラム ①ハローワーク連携事業支援数 186人 ②ケースワーカー・就労支援相談員個別支援数 196人 ※①②重複支援あり。 就職転職等による増収に至った件数 138人 うち生活保護廃止に至った件数 35人 2 就労準備支援事業活用者数 27人						
H30年度事業計画 ・アウトリーチにより、ただちに就労に結びつくことが困難な受給者をユースワークふじさわをはじめとした各種社会資源につなぎ就労準備支援を実施する。						
課題・問題点 ・希望職種と求人との乖離						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	福祉部		
167	生活困窮者自立支援事業(就労準備支援)	福祉部	地域包括ケアシステム推進室			
生活困窮者の就労による自立の促進を図る。						
事業目的 生活困窮者の就労による自立の促進を図る。						
事業内容 64歳までの稼働年齢層で直ちに一般就労することが困難な生活困窮者に対し、就労に必要な基礎能力の形成と就業意欲の喚起を図るため、計画的かつ一貫した支援を行う。						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施		→	→	→	→	→
予算額(千円)		14,436	14,436	14,436	14,436	
決算額(千円)		14,436	14,436	14,434		
執行率(%)		100.0	100	99.9		
年次ごとの取組計画 に対するH28年度末 の成果	生活困窮者就労準備支援事業 支援対象者数(42名)	H29年度の 総合評価		評価	次年度	
		B		B	継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・社会福祉法人いきいき福祉社会・一般社団法人パルジョネットが、なわ共同事業体に業務を委託し、就労に必要な基礎能力の形成と就業意欲の喚起を図った。 ※相談対応件数 延べ1,873回 (来所:1,45回、電話:1,159回、同行:286回、訪問:283回) ※就労に結びついたケース数 19名(生活保護:15名、生活困窮:5名) ※就業準備支援を行ったケース数 15名(生活保護:10名、生活困窮:5名) ※職場開拓・就業体験先開拓数 5事業所 ※職場体験調整件数 100事業所						
H30年度事業計画 ・今後引き継ぎ就労を図るにも、地域包括支援センターや民生委員、福祉窓口なども積極的に連携を図り、十分な情報交換・意見交換をしていくとともに地域に根差したネットワークの拡充を図る。 ・就業の体験できる場の確保をするため、事業についての説明を行い、職場の開拓をする。						
課題・問題点 ・個別性の尊重と主体性の喚起のバランスのとれた支援の難しさ。 ・地域ネットワークの課題。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 211(232)	事業名 地域子育て支援センター事業	担当部 子ども青少年部	担当課 子育て企画課	変更(ある場合) 変更(ある場合)	
<p>安心して子育てできるような支援体制の充実を図り、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育て支援センターを運営する。</p>					
事業目的	<p>地域子育て支援センター3カ所→4カ所 6カ所子育て支援センター→4カ所 巡回子育てひろば 6カ所→7カ所 (石川コミュニティセンターで開催) 長後巡回 時間延長(午後も開催)</p>				
事業内容	<p>地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育て支援センターを運営する。</p>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●子育て支援センターの運営				
	3カ所の運営	4カ所の運営	4カ所の運営	4カ所の運営	→
予算額(千円)	52,783	66,140	62,684	62,041	
決算額(千円)	52,365	63,281	56,466		
執行率(%)	99	96			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>藤沢・湘南台・辻堂・湘南台・辻堂・六会子育て支援センター4カ所の運営</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子がくつろげる居場所として、どんなことでも相談しやすい雰囲気大切にしたい身近な場所である。その中で他機関との連携の必要性に於いては正親職員が迅速な対応を行った。 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。 <p>今後の方向</p> <p>保護者の子育て支援に対するニーズの多様化により、地域で安心して子育てができるよう、より一層の環境づくりの体制強化を図る。正規職員配置により、他機関及び地域資源を活用し、世代を互域的に近えた事業展開を充実させる。</p>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢・湘南台・辻堂・湘南台・辻堂・六会子育て支援センターの4カ所の延べ年間利用者数は74,956人、相談件数は10,761件、巡回子育てひろば(7カ所で開催)の延べ年間利用者数は3,441人 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供、講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。 <p>今後の方向</p> <p>保護者の子育て支援に対するニーズの多様化により、地域で安心して子育てができるよう、より一層の環境づくりの体制強化を図る。正規職員配置により、他機関及び地域資源を活用し、世代を互域的に近えた事業展開を充実させる。</p>				
評価	B				
継続	継続				
評価理由	<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を持つ保護者を対象とした子育てひろばを充実。また、産前から支援センターとつながることによって、出産・子育てに対する不安が軽減できるよう、妊婦を対象とした事業も行っていく。 ・南・北保健センター(子育て世帯包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施 ・保育サービスに関する情報提供 ・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整 ・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流 ・子育て家庭を対象とした居場所の提供や講座の開催 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 168	事業名 子ども・若者育成支援事業	担当部 子ども青少年部	担当課 青少年課	変更(ある場合) 変更(ある場合)	
<p>二ト・ひきこもり等の社会生活を阻害する上で困難を有する若者とその家族を対象に、若者一人ひとりの自立を支援する。</p> <p>事業目的</p> <p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわ等と連携し、専門スタッフによるきめ細やかな面談(カウンセリング)を行うなど、若者に対する総合的機能を相対し、ともに、福祉や保健・医療など、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。(H29)</p> <p>事業内容</p> <p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから、アウトリーチ支援としての出張相談を移管。(H30)</p>					
事業目的	<p>二ト・ひきこもり等の社会生活を阻害する上で困難を有する若者とその家族を対象に、若者一人ひとりの自立を支援する。</p>				
事業内容	<p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわ等と連携し、専門スタッフによるきめ細やかな面談(カウンセリング)を行うなど、若者に対する総合的機能を相対し、ともに、福祉や保健・医療など、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。(H29)</p> <p>事業内容</p> <p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから、アウトリーチ支援としての出張相談を移管。(H30)</p>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	100人	100人	100人	100人	100人
予算額(千円)	10,917	10,917	11,666	11,320	
決算額(千円)	10,916	10,896	11,662		
執行率(%)	99.9	99.8	100.0		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>支援実施者数78人</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談機能を充実させ、相談先迷っている困難を有する若者やその家族に対して、自立に向けてのきっかけをつくるために、特に支援が必要な対象者に対して支援計画を作成し、件数型の支援を行った。 ・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから移管した出張相談をはじめとしたアウトリーチ支援に努める。 <p>今後の方向</p> <p>義務教育終了後の進路未決定者等がひきこもり状況となるケースが多くなる状況から、早期支援を開始するため、学校教育相談センター等と連携し、就学中から相談の引き継ぎを行うなど、切れ目ない支援の充実を図っていく。</p> <p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから移管した出張相談をはじめとしたアウトリーチ支援に努める。</p>				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値にほぼ近い人数まで、困難を有する若者への支援を実施できた。 <p>今後の方向</p> <p>義務教育終了後の進路未決定者等がひきこもり状況となるケースが多くなる状況から、早期支援を開始するため、学校教育相談センター等と連携し、就学中から相談の引き継ぎを行うなど、切れ目ない支援の充実を図っていく。</p> <p>・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから移管した出張相談をはじめとしたアウトリーチ支援に努める。</p>				
評価	B				
継続	継続				
評価理由	<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわから出張相談を移管し、各地区の市民センター等での相談受付を定期的に実施することで、アウトリーチ支援の充実を図っていく。 ・引き続き関係諸機関との連携を図りながら個別の支援の充実を図っていく。 				
課題・問題点	<p>市内各地での出張相談等の周知・利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けた体験等の場の確保 ・潜在的な二ト・ひきこもりの若者やその家族に対しての周知 ・外出が困難な人に対する訪問支援等の体制の整備 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部		
213	放課後児童健全育成事業	子ども青少年部	青少年課			
<p>事業目的 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の安全・安心な生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援・子育てを支援を図る。</p> <p>事業内容 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を実施する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
児童クラブ定員数		3,119人	3,352人	4,030人	4,100人	4,520人
予算額(千円)	600,051	643,782	779,718	810,938		
決算額(千円)	570,226	643,405	727,392			
執行率(%)	95.0	99.9				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果		児童クラブ入所希望児童の入所率(100%)		H29年度の 総合評価	評価	次年度
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H29年度末時点では、入所要件を満たさず入所希望児童の入所率は100%であるが、年度当初には待機児童が発生している小学校区もあり、引き続き整備を行っていく必要があるため。		B	継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、施設整備を行った。 ○新設2カ所…海の子ども児童クラブ（高砂小学校区）、美KID Sクラブ（六会小学校区） ○移転1カ所…ほしのこ児童クラブ（駒香小学校区）（緊急開所していた第2おひのび児童クラブを本設化） ○平成30年度の整備に向け、検討・調整を行った。 ○公募による新設4カ所…辻堂小学校区児童クラブ、亀井野小学校区児童クラブ、大瀬小学校区児童クラブ、八松小学校区児童クラブ ○公募による移転1カ所…第2竹の子児童クラブ（八松小学校区） ○新築整備による移転1カ所…神明のみのみクラブ（本町小学校区） ○複合施設整備による移転1カ所…第2さわやわ児童クラブ（藤沢小学校区） 		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備計画や行政財政改革実行プラン2020に基づき、一体的な施設整備を進めていく。 今後の方向 		
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行的に行っている特別な支援が必要な児童の受け入れについて、施設状況、介助員の配置、クラブまでの移動等の課題を整理し、受け入れに向けた整理を行った。 ・藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、待機児童の多い小学校区から優先的に整備を検討しているが、物件や人材の確保が課題となり整備が進まない学区が生じている。 ・将来的な負担増とならないよう、各小学校区ごとに建設によって整備すべきクラブと賃貸借により整備すべきクラブとの整理を行う。 ・肢体不自由等の障がいのある児童に対する放課後支援の課題やあり方について、教育委員会や福祉部などと協議・検証を行う。 ・児童クラブ運営には2人以上の放課後児童支援員の配置が必要であるため、人員の確保及び資質の向上を図っていく。 		<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供 ・地域・地域の情報提供等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会による方向性の確認 ・職員研修の実施 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部		
212(233)	つどいの広場事業	子ども青少年部	子育て企画課			
<p>事業目的 安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業内容 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●つどいの広場の運営		4か所の運営	4か所の運営	4か所の運営	→	→
予算額(千円)	17,152	17,580	17,763	17,630		
決算額(千円)	16,663	17,408	17,353			
執行率(%)	97.1	99	97.7			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果		鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の運営		H29年度の 総合評価	評価	次年度
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<ul style="list-style-type: none"> ・鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の延べ年間利用者は17,657人、相談件数は1,549件 ・横浜駅つどいの広場の開催は、かたせ・にこにこ広場、片瀬、月3回、フリースペース"にこにこ"、明治、月6回 ・遠藤子育てさろんひのびひのび、遠藤、月1回 ・子育てひろばタンポポ、長後、月3回 ・大庭子育てさろんひのびひのび、湘南大庭、月1回 ・子育てフレイルーム、藤沢、月1回 ・むらこひろば、村岡、月2回 ・乳幼児家庭の親子が、地域で多くの人々に支えられる子育てを実感できることで、安心感を得ることができている。 		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域の中へ居場所として親同士が気兼ねなく交流することができ、どんなことでも話せる雰囲気の中で、利用者が安心できる場となっている。 今後の方向 		
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つどいの広場、子育て支援センターとの連携により、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談の中から、家庭、子どもの育ちの連携支援のあり方を共有する。 ・つどいの広場4か所は委託事業として行っているが、地域性があり、同水準を保っていくことが課題である。 		<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供 ・地域・地域の情報提供等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会による方向性の確認 ・職員研修の実施 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)
215(234・724・831)	子どもを軸とした連携により、地域づくり及び小学校支援を図る。	教育部	教育総務課	変更(ある場合)
<p>子どもを軸とした連携により、地域づくり及び小学校支援を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や家庭教育に関わる事業等を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。 				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会、業務委託の実施)</p>				
参加者総数 33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人
<p>●PTA育成事業の実施(業務委託、研修会等の開催)</p>				
<p>実施</p>				
予算額(千円)	5,574	5,574	5,349	
年次ごとの目標値)に対し	5,460	5,494	5,406	
執行率(%)	98.0	98.6	97.0	
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>「地域協力者会議」の参加者総数 31,888人</p> <p>・PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施</p>			
評価	<p>H29年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>			
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域連携推進委員会に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」(情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) 115事業 ・各地域事業総数 31,888人 ・「SNS講習会」や「コミュニケーション」等、家庭教育力の向上につながる講演会を実施した。 ・藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTA育成のための事業を実施。 ・広報紙の発行 年3回(6月、12月、3月) ・各校PTA活動状況調査の実施 ・講演会の実施 <p>PTA活動って何? ~今の時代に合った活動を考えてみませんか?~</p> <p>講師:生重幸恵氏</p> <p>親子の会話の大切さや、学ぶことの楽しさを感じられる環境づくりの必要性について考えることができた。</p> <p>・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回</p> <p>・地域の教育力向上を図る事業を実施</p> <p>・ふしさわ教育フォーラムの開催</p> <p>「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」</p> <p>3/3 13:30~16:00 藤沢市役所本庁舎5-1,5-2会議室</p>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「計画どおりの事業を行うことができた。 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしいく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知/イベントを作成する。 ・藤沢の子どもたちのためにつなげる会とPTA育成支援につなげる業務委託について協議をしていく。 				
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域連携推進委員会会長会に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ・藤沢市PTA役員研修会の開催 ・地域の教育力向上を図る事業を実施 ・ふしさわ教育フォーラムの開催 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3/3 13:30~16:00 藤沢市役所本庁舎5-1,5-2会議室 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)
214	母子保健事業	子ども青少年部	子ども健康課	変更(ある場合)
<p>健全な母性・父性の育成を目指し、思春期保健を推進する。</p> <p>事業目的</p> <p>事業内容</p> <p>思春期における心身の変化や特有な問題について啓発を行い、性の不安や悩み等に対処できる力を促す。</p>				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>●思春期講演会の開催</p>				
年1回	→	→	→	→
<p>●思春期保健教育の実施</p>				
<p>10校</p>				
予算額(千円)	64,682	62,373	61,065	
決算額(千円)	58,349	57,069		
執行率(%)	90.2	91.5		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>・思春期講演会の開催 1回/年</p> <p>・思春期保健教育の実施 7校</p>			
評価	<p>H29年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>			
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の子どもたちの特徴や課題を理解するため、保護者だけでなく、思春期の子どもを支える学校教職員や、母子保健従事者なども思春期の子どもへの関わり方を学ぶことで、よりよい関係を築くことを目的として講演会を計画した。 ・「望まない妊娠を防ぐために ~子どもたちができること、大人ができること~」 12月22日 14:00~16:00 藤沢市保健所 3階 大会議室 参加申込者数 66名 ・思春期にある子どもたちが、自分自身を大切に、健全な成長と母性の健康保持増進を図れるよう保健師による思春期保健教育を実施した。 ・思春期保健教育出張講座 中学校 7校 				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会については、他課と調整や共催が可能かどうかの検討を含め、当面は、事業に生かせる内容で講師を選ぶ、アクセスのよい会場で開催するなど工夫している。 ・思春期保健教育については、中学校からの依頼だけでなく、中学校での講座に絞って周知を行うことも検討する。正しい知識や避妊方法、病気の予防について理解できるように啓発を広めるために、課内でのスキルアップを行っている。 				
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会については、過去の講師も含めて交渉し、新しい内容で計画し、対象者が参加しやすい日時・会場などを決定して、事業周知を速やかに実行しながら実施していく。 ・思春期保健教育については、教育媒体の貸し出しも含めて、引き続き小・中学校の校長会や養護教諭部会等で周知と出張講座依頼を呼びかける。 				
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会:庁内他課において、同様の講演会が実施されているが、計画段階では情報がなく、講師や講演内容が似たような場合、一般参加者が分散してしまいう可能性はある。 ・思春期保健教育:過去2年間は中学校からの依頼が中学校に限定されてきており、二一スズの把握や実施方法を検討するため、依頼元である学校との連携や調整の必要がある。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
222	幼稚園等就園奨励費補助金事業 事業目的 保護者の経済的負担の軽減を図ることで、幼稚園等への就園を奨励する。					
	事業内容 保護者の経済的負担の軽減を図るために、就園している園児の保育料を、園児の世帯の所得状況や兄弟の人数に応じて減免を行った幼稚園等の設置者に対して、減免相当額の補助を行う。					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	●設置者への補助	→	→	→	→
	予算額(千円)	841,411	852,267	798,748	786,588	
	決算額(千円)	805,577	795,246	759,365		
	執行率(%)	95.7	93.3	95.1		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を補助する。 ・補助金交付対象者: 6,743人 ・補助金交付施設: 98園				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成した。 【スケジュール】 ・6月中旬: 補助金交付申請書受理(当初分) ・11月中旬: 補助金交付申請書受理(追加分) ・2月下旬: 補助金交付(当初分) ・2月下旬: 補助金交付(追加分) 				
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の経済的負担を軽減することで幼稚園等への就園を奨励することができ、幼児教育の推進が図られた。 ・今後も補助を継続していくが、国が進める「幼児教育の無償化」の内容によっては本補助金のスキームが変更となる可能性があるため、国の動向に注視していく。 				
	今後の方向	今後の方向				
	H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本市在住児童が在籍し、その保護者の所得状況に応じて保育料を減免する幼稚園・幼児教育施設に対して、減免額を補助金として助成する。 ・平成31年度に一部事業が予定されている「幼児教育の無償化」に関して、国の動向に注視するとともに、本市としての対応策を検討する。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
221	幼稚園協会等補助金事業 事業目的 幼稚園及び幼児教育施設の教職員の資質向上 ・幼児教育の充実及び活動支援					
	事業内容 藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の研修、研究費及び私立幼稚園協会等の運営活動に補助を行う。					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	●運営補助	→	→	→	→
	予算額(千円)	4,630	4,630	4,630	4,630	
	決算額(千円)	4,630	4,630	4,630		
	執行率(%)	100.0	100	100.0		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	幼稚園協会に対する補助金 4,030千円 幼児教育協議会に対する補助金 600千円				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初(4月1日)に補助金交付決定を行い、6月、10月、2月の年3回に分けて、交付決定額の1/3ずつ補助金を支出した。 ・年間3回の補助金交付により、幼稚園協会、幼児教育協議会の安定した運営を支援することができた。 				
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行率は100%ではあるが、事業内容が補助金交付であり、もともと目標という概念が無い。協会の活動としては当該補助金を活用し、円滑に行われた。 				
	今後の方向	今後の方向				
	H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も補助を継続し、協会の安定した運営と幼児教育の推進に係る活動を支援する。 				
	H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、今年度(平成30年度)については、従来の方式により、教職員の研修・研修費、及び運営活動に補助金を交付する形で支援を行う。 				
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付を目的とする事業であり、本格的には毎年度執行率は100%となることから事業としての評価は困難である。課題としては、この補助金が40年以上にわたって当該協会に交付されてきた経緯があり、協会の収支予算において、長年目の間に少ずつ蓄積された執行残が蓄積となり毎年度の繰越金となっていることに関して、補助体系の見直しを行わなければならないものの、本市における協会の役割などを十分に考慮した対応が必要となっている。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 223	事業名 幼児教育振興補助事業	担当部 担当課	子ども青少年部 保育課
事業目的 市内幼稚園及び衛生管理事業の充実 ・保護者の経済的負担軽減		変更(ある場合)	
事業内容 市内幼稚園及び幼児教育施設の教材教具の購入及び衛生管理事業に対して、補助金を交付する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●市内幼稚園等への補助	H28年度	H29年度
	実施	→	→
予算額(千円)	20,813	20,627	19,860
決算額(千円)	20,267	20,026	19,511
執行率(%)	97.4	97.1	98.2
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	市内私立幼稚園(32園)・幼児教育施設(11園)に対する補助金交付		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> 9月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。 【補助金額】 ・私立幼稚園(32園):18,281,600円 ・幼児教育施設(11園):1,228,600円 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。 		
今後の方向	今後も補助率を原直しながら事業を継続していく。		
H30年度事業計画			
市内私立幼稚園32園と幼児教育施設12園に対し、園具や教材教具等の購入経費、及び健康管理事業に要する経費等を助成する。			
課題・問題点			
補助率に關して、従来からの園割、園割割の考え方が不明確であるため見直す必要があるが、近年、園児数が減少傾向にあるため、単価設定については、各園とも補助率が激変しないよう、また、保護者負担軽減の観点、さらには他市状況も鑑み、十分な比較・検討を行う必要がある。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 224	事業名 幼稚園等預かり保育推進事業	担当部 担当課	子ども青少年部 保育課
事業目的 幼稚園が行う預かり保育の人員費等を助成することにより、保育料の軽減や保護者の就労機会の拡大を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 保育を必要とする児童の保護者が、保育所だけでなく幼稚園も選択できるような環境づくりの一つとして、預かり保育(延長保育)を実施した私立幼稚園の設置者に対して、実施に要する人員費及び保育経費の助成を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●人員費等の助成	H28年度	H29年度
	実施	→	→
予算額(千円)	23,710	28,049	30,918
決算額(千円)	19,792	23,952	28,456
執行率(%)	83.5	85.4	92.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<ul style="list-style-type: none"> 担当教員を配置し、預かり保育を実施する私立幼稚園に対し、実施に要する人員費等を助成する。預かり保育実施幼稚園 23園 他 		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> 私学助成対象幼稚園が実施する預かり保育について、実績に応じて補助金を交付した。また、施設型給付幼稚園が実施する一時預かり保育に対しては業務委託を行った。 藤沢市私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 23園 20,334,100円 幼稚園長時間預かり保育支援事業補助金 3園(市外) 3,172,800円 幼稚園型一時預かり事業 9園 4,948,720円 		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市内私立幼稚園が実施する預かり保育に關して、当初の見込みより実施時間、実施日数が多くなってきたため。 		
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> 保育需要の増加に対応するため、保育を必要とする保護者が保育施設だけでなく幼稚園も選択できるよう、また、小規模保育事業所等からの卒園児の受け皿となるよう、幼稚園における預かり保育の長時間化を推進する。 		
H30年度事業計画			
各幼稚園における預かり保育が一層推進されるよう、施設側と十分に調整を図る中で、今年度(平成30年度)の事業を実施していく。また、国の動向に注視する中で、本市としての対応策を検討していく。			
課題・問題点			
幼稚園における預かり保育の長時間化については、施設側の理解と協力が不可欠であるため、事業のさらなる推進に向け、より一層の調整が必要となっている。また、国が進める「幼児教育の無償化」によって、この「預かり保育」の部分が今後は無償化の対象となることも考えられるため、国の動向にも注視しなければならない。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	子ども青少年部
225	幼稚園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校連携推進事業	教育指導課・保育課	子ども青少年部
231	子育てふれあいコーナ―事業	担当課	子育て企画課
<p>事業目的 変更(ある場合) ・事業内容に記載のあった「幼・保・小・中・連携協議会」は既に事業を終了しており、「幼・保・小・中・特連携担当者会」として実施している。(H30)</p> <p>事業内容 ・幼稚園・保育所・小・中・特別支援学校の関係者からなる「幼・保・小・中・特連携担当者会」を開催し、幼児教育と小・特別支援学校や小学校と中・特別支援学校の教育の充実及び連携の推進を図るため、研修・交流を行う。 ・就学前の園児等の小学校訪問及び小学校児童と中学校生徒の交流の推進など、校種間の連携を図る。 ・就学前教職員の見学交流を積極的に行う。 ・小・中一貫教育の実現の可能性等について研究するとともに連携の推進を図る。</p>			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>● 幼保小連携実施校46校、小中連携実施校55校との連携の推進 ● 推進協議会・研修会等の実施</p>	<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>● 交流・情報提供・育児相談の実施</p>
<p>実施</p>	<p>→ → → → →</p>	<p>→ → → → →</p>	<p>→ → → → →</p>
<p>予算額(千円) 30</p> <p>決算額(千円) 0</p> <p>執行率(%) 0.0</p>	<p>486</p> <p>342</p> <p>70.4</p>	<p>460</p> <p>356</p> <p>77.4</p>	<p>304</p>
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果</p>	<p>地域子ども家の家及び児童館の22か所を実施</p>		<p>H29年度の 総合評価</p> <p>B</p>
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>● 評価の理由 ・幼保小中特連携についての必要性や効果について、幼保小中特連携担当者会を開催した。小中学校担当者54名と白浜養護学校担当者名、幼稚園・保育所の担当者67名が出席し、連携にかかわる実践の紹介や情報交換を行った。 ・幼保小中特の職員を対象に合同研修会を行い、連携の必要性や課題、具体的な実践等についての講演を聞き理解を深めた。また、地域協力者会議の代表の方々を招き、地域・家庭・学校の連携の推進について、中学校学区を中心とした近隣の学校や園の間で、年間計画を基に交流、学校見学などについて調整し、交流を実施した。地域の学校や園の教員が協力し合う素地ができた。また、各中学校間の情報交換により、支援が必要とする児童生徒に、きめ細かい支援が継続できるようになった。 ・各校からの異校種間交流の実践報告を受け、それらをまとめた冊子「平成29年度幼保小中特連携実践事例集」を作成した。今まで見られなかった新しい試みや、交流の深まりや広がりが報告された。</p>			
<p>課題・問題点 ・私立幼稚園に担当者会の意識を伝え、参加を促していく。 ・幼稚園にも実践事例集の原稿執筆を依頼しているが、回収方法に一考を要する。 ・行事の交流や教職員の情報交換などが中心であるため、連続的な学びという視点で教育活動や指導に生かすところまでには至っていない。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	子ども青少年部
225	幼稚園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校連携推進事業	教育指導課・保育課	子ども青少年部
231	子育てふれあいコーナ―事業	担当課	子育て企画課
<p>事業目的 変更(ある場合) ・事業内容に記載のあった「幼・保・小・中・連携協議会」は既に事業を終了しており、「幼・保・小・中・特連携担当者会」として実施している。(H30)</p> <p>事業内容 ・地域子どもの家や児童館等において、保育士や子育てボランティアなどによる子育て中の親子の交流、情報提供、育児相談を実施する。</p>			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>● 交流・情報提供・育児相談の実施</p>	<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>● 交流・情報提供・育児相談の実施</p>
<p>実施</p>	<p>→ → → → →</p>	<p>→ → → → →</p>	<p>→ → → → →</p>
<p>予算額(千円) 486</p> <p>決算額(千円) 342</p> <p>執行率(%) 70.4</p>	<p>460</p> <p>356</p> <p>77.4</p>	<p>460</p> <p>356</p> <p>77.4</p>	<p>304</p>
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果</p>	<p>地域子ども家の家及び児童館の22か所を実施</p>		<p>H29年度の 総合評価</p> <p>B</p>
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>● 評価の理由 ・地域子ども家の家17か所、児童館5か所、計22か所所で月1回(3・4・8月は休み)実施 ・年間198日実施、延べ年間利用者数2,363人 ・さくらばし ・藤沢・八木・湘南台子どもの家にて、週1回(8月は休み)実施 ・年間99日実施、延べ年間利用者数は1,306人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力、17人新規登録 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施</p>			
<p>課題・問題点 ・子育てボランティア数は増加しているが、実際に活動開始となると、体調関係で欠席等もあり、活動可能なボランティアが限定され、直前の欠付調整が必要とされる場合が多い。 ・あいあいの利用は地域によって差があり、周知を図ることと、利用者数を増やしていく。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部	子育て企画課	
233(212)	事業名 つどいの広場事業	子ども青少年部	子育て企画課	子ども青少年部	子育て企画課	
<p>安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p> <p>事業内容 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		● つどいの広場の運営				
		4か所の運営	4か所の運営	4か所の運営	→	→
予算額(千円)	17,152	17,580	17,630			
決算額(千円)	16,863	17,408	17,353			
執行率(%)	97.1	99				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の運営		H29年度の 総合評価	評価	次年度	
				B	継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>● 鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の延べ年間利用者数は17,657人、相談件数は1,349件</p> <p>● 藤沢駅周辺の広場の開催は、かたせ・にこにこ広場 片瀬 月3回、フリースペース「にこにこ」 明治 月6回、遠藤子育てひろばのひのび 遠藤 月1回、子育てひろばタンボロ 長後 月2回、大庭子育てひろばびよびよ広場 湘南大庭 月1回、子育てプレイルーム 藤沢 月1回、むらこひろば 村岡 月2回</p> <p>● 乳幼児家庭の親子が、地域で多くの人々に支えられる子育てを笑顔でできることで、安心感を得ることができている。</p>				
評価の理由		<p>● 自分たちの地域の中に居場所として親同士が気兼ねなく交流することができ、どんなことでも話せる雰囲気の中で、利用者が安心して居られる場となっている。</p> <p>● 身近な地域における子育て支援の場として、それぞれの地域の特徴を生かした子育て支援を充実させる。</p> <p>● 親子の不安軽減</p> <p>● 親子の居場所作り</p>				
H30年度事業計画		<p>● 子育て親子の交流の場の提供</p> <p>● 相談・地域の情報提供等の実施</p> <p>● 地域のニーズにあった子育て支援講習等の実施</p> <p>● 4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会による方向性の確認</p> <p>● 職員研修の充実</p>				
課題・問題点		<p>● つどいの広場、子育て支援センターとの連携により、栄養士・保健師・保育士などによる巡回相談の中から、家庭、子どもの育ちの連携支援のあり方を共有する。</p> <p>● つどいの広場4か所は委託事業として行っているが、地域性があがり、同水準を保つていくことが課題である。</p>				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部	子育て企画課	
232(211)	事業名 地域子育て支援センター事業	子ども青少年部	子育て企画課	子ども青少年部	子育て企画課	
<p>安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。</p> <p>事業目的 地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う「子育て支援センター」を運営する。</p> <p>事業内容 地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う「子育て支援センター」を運営する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		● 子育て支援センターの運営				
		3か所の運営	4か所の運営	4か所の運営	→	→
予算額(千円)	52,783	66,140	62,684	62,041		
決算額(千円)	52,365	63,281	56,466			
執行率(%)	99	96	90.1			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センター4か所の運営		H29年度の 総合評価	評価	次年度	
				B	継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>● 藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センターの4か所の延べ年間利用者数は74,986人、相談件数は10,761件、巡回子育てひろば(7か所で開催)の延べ年間利用者数は3,441人</p> <p>● 子育てひろばの開催・相談・情報提供・講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。</p>				
評価の理由		<p>● 親子がつらつらげられる居場所として、どんなことでも相談しやすい雰囲気を感じた身近な場所である。</p> <p>● その中で他機関との連携の必要性に於いては正親職員が迅速な対応を行った。</p> <p>● 今後の方向 保護者の子育てに対するニーズの多様化により、地域で安心して子育てができるよう、より一層の環境づくりの体制強化を図る。正規職員配置により、他機関及び地域資源を活用し、世代を広域的に捉えた事業展開を充実させる。</p>				
H30年度事業計画		<p>● 子育て家庭の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を支持保護者を対象とした子育てひろばを充実。また、産前産後から支援センターとつながることによって、出産・子育てに対する不安が軽減できるよう、妊婦を対象とした事業も行っていい。</p> <p>● 南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施</p> <p>● 保育サービスに関する情報提供</p> <p>● 子育てに関する相談の実施、関係機関との調整</p> <p>● 基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流</p> <p>● 子育て家庭を対象とした居場所の提供や講座の開催</p>				
課題・問題点		<p>● 子育ての孤立化を防止、お互いを支え合い、情報交換ができる場として、今後は母親だけでなく父親の育児への不安感も軽減されるよう、地域全体で家族を支援する体制を構築する。</p>				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 234(215・724・831)	事業名 学校・家庭・地域連携推進事業	担当部 担当課	教育部 教育総務課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。		変更(ある場合)									
事業目的		H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)		H29年度		H29年度		H29年度			
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や地域づくりに関わる事業等を実施する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「地域協力者会議」の参加者総数 31,888人 		<ul style="list-style-type: none"> ・「地域連携推進会議(会長会)」に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/9 8/24 11/14 2/13) ・(情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) 115事業 ・各地域事業、会議等参加者数 31,888人 ・地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合い、実施事業に活かした。 ・「家庭科ミシン補助」(ようこそ先輩in湘南台)「学校間交流」「中学生交流事業」等、学校支援や、地域住民と子どもたちが世代を越えてふれあう事業を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校・家庭・地域」連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校・家庭・地域」連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 	
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
参加者総数 33,100人		33,200人		33,300人		33,400人		33,500人			
予算額(千円) 5,574		5,574		5,574		5,349					
決算額(千円) 5,460		5,494		5,406							
執行率(%) 98.0		98.6		97.0							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価	
		B		B		B		B		B	
		評価		評価		評価		評価		評価	
		次年度		次年度		次年度		次年度		次年度	
		継続		継続		継続		継続		継続	
		評価の理由		評価の理由		評価の理由		評価の理由		評価の理由	
		・計画どおりに事業を行うことができた。		・計画どおりに事業を行うことができた。		・計画どおりに事業を行うことができた。		・計画どおりに事業を行うことができた。		・計画どおりに事業を行うことができた。	
		今後の方向		今後の方向		今後の方向		今後の方向		今後の方向	
		・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、		・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、		・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、		・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、		・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていくとともに、	
		・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。		・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。		・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。		・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。		・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。	
		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画	
		・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。		・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。		・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。		・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。		・学校・家庭・地域連携推進会議(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。	
		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点	
		・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動の充実を図る。		・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動の充実を図る。		・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動の充実を図る。		・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動の充実を図る。		・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動の充実を図る。	

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 241	事業名 要保護児童・生徒援助事業	担当部 担当課	教育部 学務保健課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
保護者の経済的負担の軽減・義務教育の円滑な推進		変更(ある場合)									
事業目的		H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)		H29年度		H29年度		H29年度			
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、メガネ購入費、卒業アルバム購入費などを援助する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,203人 中学生 1,921人 計 5,124人 		<ul style="list-style-type: none"> ・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,203人 中学生 1,921人 計 5,124人 		<ul style="list-style-type: none"> ・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,203人 中学生 1,921人 計 5,124人 		<ul style="list-style-type: none"> ・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 ・認定者数 小学生 3,203人 中学生 1,921人 計 5,124人 	
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
実施		→		→		→		→		→	
予算額(千円) 235,023		242,050		244,589		260,945					
決算額(千円) 189,826		187,163		211,970							
執行率(%) 80.8		77.3		86.7							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価		H29年度の総合評価	
		B		B		B		B		B	
		評価		評価		評価		評価		評価	
		次年度		次年度		次年度		次年度		次年度	
		継続		継続		継続		継続		継続	
		評価の理由		評価の理由		評価の理由		評価の理由		評価の理由	
		・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。									
		・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。									
		・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。									
		・「経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者」に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。									
		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画		H30年度事業計画	
		・就学援助の申請受付をし、認定審査を経て、認定者に対し9月、1月、3月と年3回に分けて学用品費・修学旅行費・社会見学費・学校給食費(中学校のみ)・卒業アルバム購入費等を支給する。医療費、めがね購入費等は随時、支給する。									
		・平成31年度に中学校に入学する小学校6年生の保護者に対し、入学前に準備が必要な制服などに高額な費用が掛かるため、入学準備金を入学前に支給する。									
		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点		課題・問題点	
		・三位一体改革により、平成17年度に税源移譲・地方財政措置が行われたため、国の補助金の予算単価に基づき実施している準要保護者への援助は、重い財政負担となっている。									
		・中学校入学者の入学準備金支給に引き続き、小学校入学者前の子どもの対象であり、現行事業と同様にはできず、定数の増要求を含め、課題が多く十分な研究が必要である。									

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	福祉健康部	
243(165)	自立支援推進事業	福祉部	生活保護課		
事業目的 生活保護受給世帯の子ども・若者の健全育成と得業に向けた自立支援の推進					
事業内容 0歳から概ね20歳の子ども・若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	→	→	→	→	→
予算額(千円)	11,113	16,670	16,670	17,970	
決算額(千円)	11,108	16,658	16,658		
執行率(%)	99.9	99.9			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	子どもの学習支援事業 利用者数(六会:52人、湘南大庭:29人、鶴沼:76人)				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・NPO法人青少年ホープ協会の協力を得て、NPO法人湘南777ホープを運営する事業を委託し、六会地区、湘南大庭地区、鶴沼地区で事業を実施。 【六会】 ※開催日数 延べ87回(月々16時～20時) ※参加延べ人数 592名 ※中学生卒業後進路状況 対象者10名(全日制:9名、定時制:1名) ※課外事業(全4回) ※親子体験 8/21(3名)、アート体験 8/21(3名)、藍染体験 9/23(3名)、もちつき 1/14(9名) 【湘南大庭】 ※開催日数 延べ89回(火:16時30分～18時土上:12時～13時30分) ※参加延べ人数 88名 ※中学生卒業後進路状況 対象者4名(全日制:3名、専門:1名) ※課外事業(全3回) ※親子体験 8/21(1名)、アート体験 8/21(1名)、もちつき 1/14(6名) 【鶴沼】 ※開催日数 延べ151回(水・金15時30分～18時土土13時30分～18時) ※参加延べ人数 4,261名 ※中学生卒業後進路状況 対象者8名(全日制:6名、定時制:1名、通信:1名) ※課外事業(全5回) ※親子体験 8/19(6名)、バザー出店 10/15(7名)、学生ボランティアによるゲーム大会 12/23(32名)、ちぎりんぐスクール 7月・12月(20名) ※子ども食堂(全12回)毎月1回開催				
評価	H29年度の総合評価 B				
評価理由	・計画どおりの事業を実施することができた。 ・高校等進学率も100%であり、対象となる子どもの状況に応じて支援を提供することができている。 今後の方向 ・平成30年度から不登校等の子どもや進学に課題を抱える子どもに対して、学校や支援機関等への付き添い、関係機関とのカンファレンスへの参加、及び高校入試関連の校外活動への同行支援の強化を図る。 H30年度事業計画 ・公募型プロボロで決定したNPO法人青少年ホープ協会、NPO法人湘南777ホープ・きずなに藤沢市学習支援事業業務委託し、六会地区、湘南大庭地区、鶴沼地区にて事業を実施する。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	福祉健康部	
242	生活困窮者自立支援事業(学習支援)	福祉部	生活保護課		
事業目的 生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもに対する学習支援等を通じて、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止する。					
事業内容 対象となる子どもの状況に応じて、学習の場所・機会の提供や受験等に関する情報提供、順調な学校生活を送るための生活相談に関する支援等を行う。					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	→	→	→	→	→
予算額(千円)	11,113	16,670	16,670	17,970	
決算額(千円)	11,108	16,658	16,658		
執行率(%)	99.9	99.9			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	子どもの学習支援事業 利用者数(六会:52人、湘南大庭:29人、鶴沼:76人)				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・NPO法人青少年ホープ協会の協力を得て、NPO法人湘南777ホープを運営する事業を委託し、六会地区、湘南大庭地区、鶴沼地区で事業を実施。 【六会】 ※開催日数 延べ87回(月々16時～20時) ※参加延べ人数 592名 ※中学生卒業後進路状況 対象者10名(全日制:9名、定時制:1名) ※課外事業(全4回) ※親子体験 8/21(3名)、アート体験 8/21(3名)、藍染体験 9/23(3名)、もちつき 1/14(9名) 【湘南大庭】 ※開催日数 延べ89回(火:16時30分～18時土上:12時～13時30分) ※参加延べ人数 88名 ※中学生卒業後進路状況 対象者4名(全日制:3名、専門:1名) ※課外事業(全3回) ※親子体験 8/21(1名)、アート体験 8/21(1名)、もちつき 1/14(6名) 【鶴沼】 ※開催日数 延べ151回(水・金15時30分～18時土土13時30分～18時) ※参加延べ人数 4,261名 ※中学生卒業後進路状況 対象者8名(全日制:6名、定時制:1名、通信:1名) ※課外事業(全5回) ※親子体験 8/19(6名)、バザー出店 10/15(7名)、学生ボランティアによるゲーム大会 12/23(32名)、ちぎりんぐスクール 7月・12月(20名) ※子ども食堂(全12回)毎月1回開催				
評価	H29年度の総合評価 B				
評価理由	・計画どおりの事業を実施することができた。 ・高校等進学率も100%であり、対象となる子どもの状況に応じて支援を提供することができている。 今後の方向 ・平成30年度から不登校等の子どもや進学に課題を抱える子どもに対して、学校や支援機関等への付き添い、関係機関とのカンファレンスへの参加、及び高校入試関連の校外活動への同行支援の強化を図る。 H30年度事業計画 ・公募型プロボロで決定したNPO法人青少年ホープ協会、NPO法人湘南777ホープ・きずなに藤沢市学習支援事業業務委託し、六会地区、湘南大庭地区、鶴沼地区にて事業を実施する。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	福祉健康部	
243(165)	自立支援推進事業	福祉部	生活保護課		
事業目的 生活保護受給世帯の子ども・若者の健全育成と得業に向けた自立支援の推進					
事業内容 0歳から概ね20歳の子ども・若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	→	→	→	→	→
予算額(千円)	4,654	5,030	5,048	5,048	
決算額(千円)	4,654	5,003	4,989		
執行率(%)	100.0	99.5	98.8		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	支援件数 87世帯101人				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	・アクトリー型支援の実施により不登校・行きこもり児童生徒を学校や学習支援事業所への定期通所につなげた。 ・教育支援(子ども)の学校生活・進路等に関する支援) 95人 ※1人に対し、事業コード165の他の支援との重複もあり。 家庭訪問 50回 電話相談 242回 来所面談 105回 同行支援 52回 カンファレンス 26回 関係者調整 317回 研修 1回 学校・学校教育相談センターSSW・SC・学習支援事業所等との連携による不登校児童生徒の縮減。また、学習支援事業所通所支援した生徒については昨年度に引き続き高校進学率100%を達成。継続支援中の高校生に対し高校と連携し中途退学防止を図っている。 H30年度事業計画 ・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。 ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)				
評価	H29年度の総合評価 B				
評価理由	・引き続き、関係機関と連携し、切れ目のない寄り添い型の支援を実施していく。 今後の方向 ・活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施。 ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(CSW・子ども健康課等)				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 311	事業名 特別支援教育整備事業	担当部 教育部	担当課 教育指導課
事業目的 特別支援学級や通級指導教室など、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた教育の場の整備 ・特別支援教育の充実		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。			
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
●通級指導教室 中里小すまいる開級準備 ●特別支援学級 大庭中に増設準備 ●開設等についての検討	●特別支援学級 中里小すまいる開級 ●特別支援学級 大庭中に増設 ●開設等についての検討	●特別支援学級 中里小すまいる開級 ●特別支援学級 大庭中に増設 ●開設等についての検討	●特別支援学級 中里小すまいる開級 ●特別支援学級 大庭中に増設 ●開設等についての検討
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)			
予算額(千円)	17,825	11,049	2,356
決算額(千円)	15,946	9,386	2,055
執行率(%)	89.5	84.9	87.2
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	秋葉台小学校に特別支援学級を設置した。 六小小学校特別支援学級設置準備を行った。 H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・秋葉台小学校に特別支援学級を設置し、六小小学校の特別支援学級設置のための準備を行った。 ・川崎市立田島支庁学校等を視察し(H29.1.19)、白浜養護学校の課題の解決に向けて、各課と連携して検討を行った。 ・通級指導教室在籍児童のニーズにより対応できるような指導の在り方について検討した。 ・全校設置計画の立案に向け、児童生徒のニーズの把握や、特別支援学級担任の見直し等、課題の整理に向けた情報収集を行った。		
評価	H29年度の 総合評価 B		
次年度	継続		

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 244	事業名 奨学金給付事業	担当部 教育部	担当課 教育総務課
事業目的 経済的な理由により進学が困難な者に奨学金を給付し、教育の機会均等を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 経済的な理由により大学等への進学が困難な者に奨学金を給付する。 ・社会に出て生き生きと活躍することができる人材を創出するため、入学時から卒業時まで、奨学生の継続的な支援を行う。			
27年度	28年度	29年度	30年度
未実施	未実施	●奨学生の募集・選考 奨学生数 3名 ●奨学金の給付 6名	9名
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)			
予算額(千円)	963	3,403	→
決算額(千円)	784	3,403	→
執行率(%)	81.4	3,403	→
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	奨学生数 3名 H29年度の 総合評価 B 評価 継続		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
・市ホームページ・広報紙への掲載のほか、関係各所へチラシを配布し、事業周知を行った。 ・チャラ配布場所：生活保護課、子育て給付課、各市民センター・公民館、市内児童養護施設・学習支援事業所、湘南地区県立高等学校等、市立中学校(3年生へ別途配布) ・平成28年度奨学生の募集・選考を行った。 ・募集期間：6/1～6/30 ・応募者数：16名 ・一次選考：書類選考・・・合格者16名 ・二次選考：小論文・面接・・・合格者3名 ・奨学生に対して、入学金相当額の奨学金(学費奨学金)を給付した。 ・給付者数：3名 ・給付額(合計額)：725,000円 ・事業の原資となる教育応援基金について、市民・企業に対して周知を行うとともに、寄付環境の整備を行った。 ・リーフレット配布：商工会議所、各市民センター・公民館 ・寄付専用口座開設：市内金融機関6行			
今後の方 ・高等教育に依る国の動向・施策に注視しつつ事業を実施していく。 ・既存の実施内容に加え、医学部等への進学希望者を対象とした新たな運営を図るため、原資となる教育応援基金について、より効果的なPR活動を検討し、実施していく。			
H30年度事業計画 ・平成29年度奨学生に対して、学費相当額の奨学金(学費奨学金)の給付を行うとともに、面談(年4回程度)等によるフォローアップを行う。 ・新たに平成30年度奨学生の募集・選考を行い、入学準備奨学金の進学希望者を対象とした新たな制度の設計を行う。 ・新たに整備した寄付方法等を記載した教育応援基金のリーフレットを作成し、市民・企業等に配布する。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
312	新入生サポート事業	学務部	学務保健課			
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の基礎・基本の定着及び学習意欲の向上並びに集団生活への適応を促進し、安定した学校生活を身につけさせ、教育効果の向上を図る。 ・市立小学校1年生を対象にして市費講師を配置する。 ・新任講師対象の研修会1回、全講師対象の研修会1回を実施する。 ・校内研修を各講師に対して年間21時間実施する。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●市費講師の配置	→	→	→	→
	実施					
	予算額(千円)	25,535	25,966	26,038	23,252	
	決算額(千円)	25,369	25,957	25,199		
	執行率(%)	99.3	100.0	96.8		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級)以上となる学校へは2人配置 				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり小学校1年生に市費講師を適正に配置したこと で、基本教科を中心に、チームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。 また、集団行動や作業の機会にもサポート講師による個別指導を行うことで、集団生活への適応を図ることができた。 ・研修を実施したことにより、担任とサポート講師の連携が深まるなど事業が円滑に行われた。 ・1年生の学級担任から「理解に時間がかかる子への対応や集団行動ができにくい子への対応等にサポート講師の配置が役に立っている」との声も多くあり、学校現場もサポート講師の必要性を感じている。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりの事業を行うことができた。 				
	評価の理由	<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校の第1学年に対して市費講師1人(5学級)以上となる学校へは2人配置の継続。 ・新任講師研修会17時間。 ・校内研修を講師の実施。 ・事故防止研修の実施。 				
	評価	B				
	次年度	継続				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
313	学校図書館管理運営事業	学務部	学務保健課			
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の読書活動の充実と学校図書館の活性化を図る。 ・地域公立図書館との連携を図ることにより、児童生徒がより多くの本と出会う機会を増やす。 ・「藤沢市立学校図書館運営指針」に基づき、学校図書館機能の充実に努める。 ・市立小中学校の学校図書館に、「学校図書館専門員」を置き、学校図書館業務の円滑な運営を支援する。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●学校図書館専門員の配置	→	→	→	→
	実施					
	●学校図書館ガイドブック策定					
	予算額(千円)	38,964	38,964	38,964	38,964	
	決算額(千円)	38,712	38,736	38,884		
	執行率(%)	99.4	99.4	99.8		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館専門員を市立小・中全54校に配置し、学校図書館を運営した。 				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年、28年の2年計画で作成した「藤沢市立学校図書館運営ガイドブック」に基づき、司書教諭を中心とした教職員と学校図書館専門員と図書ボランティアが連携、協働して学校図書館の活用を図る必要性について、司書教諭連絡会や学校図書館専門員連絡会、図書ボランティア研修会で周知した。 ・学校図書館専門員連絡会を年4回開催し、公立図書館との連携による情報の提供やSLA担当者会と共催で研修会を実施した。 ・年度末に活動報告書をまとめてカラーの冊子を作り、学校に配布し、情報や実践例の共有化を図った。 ・本の整理整頓や棚作り、季節ごとの飾り付け、特集コーナーの設置などにより、学校図書館の整備が進められた。 また、学校図書館専門員がオリエンテーションやブックトークを行うことで、学校図書館の活性化を図ることができた。 ・同一校に5人以上勤務した学校図書館専門員20名について、配置換えを行った。 				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館専門員の配置により、学校図書館業務が円滑に行われ、環境整備や読書活動の推進が図られた。 				
	評価の理由	<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「藤沢市立学校図書館運営指針」や「藤沢市立学校図書館運営ガイドブック」に基づき、司書教諭を中心とした教職員と、学校図書館専門員と、図書ボランティアが協働して学校図書館運営を進めるとともに、学校図書館の活用を図っていく。 ・同一校に4年勤務した学校図書館専門員を配置換えの対象とし、年間10～15名程度の配置換えを行うていく。 				
	評価	B				
	次年度	継続				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部			
314(113)	学校ICT機器整備事業 (教育用・校務用PC)	担当課	教育総務課			
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	藤沢市教育情報化推進計画を策定したため、仮称を訂正した。 年次ごとの取組計画を、教育情報化推進計画に合わせ訂正した。(H28) 平成29年度予算を踏まえて、年次ごとの目標値を修正した。(H29以降)				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●小学校校務支援システムの整備				
		小・特LAN研究	→			小・特LAN 全校整備へ
		小学校整備 105台追加 (累計210台)	小学校整備 143台追加 (累計353台)	小学校整備 71台追加105台更新 (累計424台)	小学校整備 390台追加 (累計814台)	小学校整備 248台追加 (累計1062台)
	予算額(千円)	500,949	541,962	543,004	517,539	
	決算額(千円)	492,191	529,483	539,127		
	執行率(%)	98.3	97.7	99.3		
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	小学校校務支援システムの整備率4.1%(県平均89.4%) 小学校校務用パソコンの整備率33.9%(県平均116.7%)				
	予算額(千円)	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
	決算額(千円)	●校内LANを整備した小学校2校のパソコン校において、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。 ●パイロット校を会場として、全校を対象とした研修会を開催し、パイロット校の教員が講師役となってICTを活用した学習等について、事例の発表を行った。 ●昨年度パイロット校2校に設置して効果の高かった電子黒板を、H29は長後小学校に10台設置して、日々の学習の充実に生かすことにした ●小学校校務用PCを71台増設するとともに、平成21年度に設置したPC105台を更新した。整備率は39.9%に増加した。				
	執行率(%)	H29年度の 総合評価				
		B				
		評価の理由				
		●県平均と比較した整備率は極めて低い状況だが、設定した目標に対しては、概ね達成したとする。				
		今後の方向				
		台数不足・整備不足の是正を計画的に進めるとともに、ICTを活かした教育の質の向上に資する取組の研究を進め、ICTが実現する新たな学びを本市でも展開できるように努める。				
		H30年度事業計画				
		●電子黒板についてはH28・29年度に設置した学校の活用状況を検討したうえで、今後の方針を立てていく。一方で、中・小中学校でおよそ1,030の普通教室に大型提示装置を設置するには、単体のプロジェクタを併せて整備することで全教室への設置を早めるようにする。 ●小学校校務用PCを390台増設し、整備率を77%に引き上げることで校務の情報化をさらに推進する。 ●学校グループウェアを4月より導入したことにより、情報の連携強化や業務の効率化を推進する。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部			
321(337)	学校施設維持保全事業	担当課	教育施設課			
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	老朽化した校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。 ●校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ●機械設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)				
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新				
		実施	→	→	→	→
	予算額(千円)	170,387	67,229	149,084	113,616	
	決算額(千円)	135,698	52,589	140,023		
	執行率(%)	79.6	78.2	93.9		
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	●中学校1校の外壁等改修及び、小学校1校のプール缶体塗装工事を実施した。				
	に対するH29年度末の成果	H29年度の 総合評価				
		B				
		評価の理由				
		●計画通り実施した。				
		今後の方向				
		●本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。				
		H30年度事業計画				
		●小学校1校の外壁等改修工事 滝の沢小学校				
		課題・問題点				
		●施設、設備の老朽化が顕著であり、早急な対応が求められている。一方で、学校や保護者からはトイレ改修、空調設備の設置工事等の整備要望が強い。こうした整備事業をバランスよく実施していくことが必要である。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 331	事業名 学校安全対策事業	担当部 教育部	担当課 教育指導課		
事業目的 児童生徒の安全確保及び学校の安全管理を図る。 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。		変更(ある場合) スクールガードリーダーの配置(平成31年度に全小学校区に配置予定のため)(H28)			
事業内容 学校非常通報システムの整備・運用 スクールガードリーダーの配置					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●学校非常通報システムの整備・運用	→	→	→	→
	実施	→	→	→	→
	●スクールガードリーダーの配置	→	→	→	→
予算額(千円)	20校 11,855	23校 15,375	27校 15,956	31校 13,772	35校
決算額(千円)	11,732	12,776	15,744		
執行率(%)	98.9	83.1	98.7		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	学校非常通報システムは全55校で運用でき スクールガードリーダー8地域27小学校区に8 名配置した。				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えた。 市内8地域27小学校区にスクールガードリーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。 				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 不審者侵入による非常通報はなく、児童生徒は守られていた。 不審者出没時のスクールガードリーダーの緊急対応や、日々の見守り活動は、犯罪の未然防止に大きく役立っている。 				
今後の方向	引き続き、2つの事業を継続し、児童生徒の安全安心の確保に努めていく。				
H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校非常通報システムの整備・運用 スクールガードリーダーの配置(9地域31小学校区に9名) 				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> スクールガードリーダーの人材確保。 地域の会議等、登下校の見守り以外の活動について整理していく必要がある。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 332	事業名 学校施設環境整備事業 (トイレ改修整備)	担当部 教育部	担当課 学校施設課		
事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の学習環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。		変更(ある場合) 平成29年度以降の計画を変更し、同31年度まで延伸。(H29)			
事業内容 臭い、暗い、汚いトイレの3Kの問題や家庭トイレとの環境格差を解消するため、大便器の洋式化、床改修等を実施するとともに、便器を節水型に交換するなどのトイレ改修を実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●小学校トイレ改修整備	●中学校トイレ改修整備			
	7校	3校(計画) 1校(実施)	3校	3校	3校
	499,572	91,465	304,064	355,536	
決算額(千円)	441,440	84,752	279,526		
執行率(%)	88.4	92.7			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	中学校3校のトイレ改修工事を完了				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> 中学校3校のトイレ改修工事を実施(明許線越分) 湘南台中学校 高倉中学校 善行中学校 				
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施した。 				
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事実施対象校：中学校、残り3校について、特定財源の確保に努めながら、継続して年次計画に基づき実施していく。 				
H30年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 中学校3校のトイレ改修工事を実施(明許線越分) 湘南台中学校 大清水中学校 羽鳥中学校 				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 財源の確保が非常に困難になっている。 国の補正予算編成状況等にも注視し財源の確保に努め、変更(延伸)した事業を計画どおり進めていくとを目指す。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	学校施設課	
334	学校施設環境整備事業 (グラウンド等整備)					
<p>事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。</p> <p>事業内容 教育環境の向上を図るため、グラウンド等整備工事を実施する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●小学校グラウンド等整備	●中学校グラウンド等整備			
1校	→	→	→	→	→	
予算額(千円)	146,156	0	24,754	0	→	
決算額(千円)	127,164	0	23,112			
執行率(%)	87.0	0.0	93.4			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	中学校1校でサブグラウンド等整備工事を 実施した。					
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由 ・ 計画通り実施した。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価 H29年度の 総合評価 B 次年度 継続				
今後の方向 ・ 本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に 基づき事業を進めていく。						
H30年度事業計画 ・ 実施予定なし。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	学校施設課	
333	学校施設環境整備事業 (空調設備整備)					
<p>事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。</p> <p>事業内容 学校生活、学習環境の向上を図るため、小学校普通教室の空調設備設置及び小・中学校管理諸室、特別教室の空調設備更新を実施する。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●小学校空調設備設置・更新	●中学校空調設備更新 管理諸室4校			
普通教室3校	普通教室4校	普通教室4校	普通教室4校	普通教室7校		
普通教室6校(計画) 普通教室2校(実施)						
予算額(千円)	368,190	216,260	406,372	620,863		
決算額(千円)	261,091	174,732	346,547			
執行率(%)	70.9	80.8	85.3			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	・ 小学校4校の設置工事を実施。 ・ 小学校4校分の空調設備設置工事設計 委託を実施した。					
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由 ・ 計画通り実施した。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価 H29年度の 総合評価 B 次年度 継続				
今後の方向 ・ 設置、更新実施対象校について、特定財源の 確保に努めながら、年次計画に基づき継続し て実施していく。						
H30年度事業計画 ・ 小学校4校の空調設備設置工事を実施 (明許繰越分) * 村岡小学校(給食調理室含む) * 御所見小学校(給食調理室含む) * 亀井野小学校(給食調理室含む) * 高谷小学校						
課題・問題点 ・ 財源の確保が非常に困難になっている。 国の補正予算編成状況等にも注視し財源の確保に 努め、変更(延伸)した事業を計画どおり進めていく とを目指す。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 335	事業名 学校施設緑化推進事業 (芝生化・壁面緑化)	担当部 教育部	担当課 学校施設課		
事業目的 校庭等の一部芝生化及び校舎壁面緑化を推進することで、緑に囲まれた教育環境を確保するとともに、自然環境に対する意識向上を促す。また緑化活動を通じて地域交流を促進する取組を支援する。		変更(ある場合) 「芝生化」実施校については、学校ごとの状況に応じ、縮小を検討する。(H29)			
事業内容 校庭等の一部を芝生として整備するとともに、校舎の壁面に緑のカーテンを設置する。またその継続的な取組を支援するため、資材の提供や啓発活動を実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●校庭の芝生化 実施 ●壁面緑化 新規3校	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	148,910	2,764	2,956	1,852	
決算額(千円)	128,727	2,520	2,434		
執行率(%)	86.4	91.5	82.3		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	小学校7校、中学校4校において芝生化を実施(維持管理含む) ●壁面緑化は全55校実施済 H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●芝生化既設校の状況を確認するとともに、学校側の意見も考慮し、対家校を縮小し、維持補修(管理)を実施。小学校7校、中学校4校。 ●小学校、中学校、特別支援学校全校で壁面緑化を実施				
予算額(千円)	20,076	16,101	16,101	44,171	
決算額(千円)	19,444	15,381	15,381	42,609	
執行率(%)	96.9	95.5	95.5	96.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	食器改善実施校 2校 H29年度の進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN 樹脂食器に改善した。 ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN 樹脂食器に改善した。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H29年度 総合評価		H29年度 評価	
		B		B	
評価の理由 ●H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。					
今後の方向 ●H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。					
課題・問題点 ●校庭等の一部芝生化 十分な管理体制が確保できず、芝生の状態が悪化している学校については、今後の維持が困難な状況であるかを確認しながら、縮小について引き続き検討する。 ○壁面緑化 ●特になし					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 336	事業名 学校給食食器改善事業	担当部 教育部	担当課 学校給食課		
事業目的 学校給食用の食器を改善することで、児童に正しい食習慣を身につけさせ、学校における食育の推進を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 施設の構造上給食用ワゴンの使用ができない学校に対し、アルマイト食器に代わる軽量の樹脂食器への変更をする。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●樹脂食器への変更 鶴洋小学校 明治小学校 辻堂小学校	H28年度 片瀬小学校	H29年度 明治小学校 辻堂小学校	H30年度	H31年度
予算額(千円)	20,076	16,101	16,101	44,171	
決算額(千円)	19,444	15,381	15,381	42,609	
執行率(%)	96.9	95.5	95.5	96.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	食器改善実施校 2校 H29年度の進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN 樹脂食器に改善した。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H29年度 総合評価		H29年度 評価	
		B		B	
評価の理由 ●H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。					
今後の方向 ●H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ●明治小学校・辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善した。					
課題・問題点 ●特になし					
H30年度事業計画					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
337(321)	学校施設維持保全事業	教育部	学校施設課					
事業目的 老朽化した校舎外壁等の改修や構構設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。								
事業内容 ・校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ・構構設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●外壁屋上防水、各種構構設備改修、更新				→	→	→	→	→
実施								
予算額(千円)	170,387	67,229	149,084	113,616				
決算額(千円)	135,698	52,589	140,023					
執行率(%)	79.6	78.2	93.9					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	・中学校1校の外壁等改修及び、小学校1校のプール缶体塗装工事を実施した。							
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				評価の理由 ・計画通り実施した。				
・中学校1校の外壁等改修工事 村岡中学校				今後の方向 ・本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。				
・小学校1校のプール缶体塗装工事 明治小学校				H30年度事業計画 ・小学校1校の外壁等改修工事 滝の沢小学校				
課題・問題点 ・施設、設備の老朽化が顕著であり、早急な対応が求められている。一方で、学校や保護者からはトイレ改修、空調設備の設置工事等の整備要望が強い。こうした整備事業をバランスよく実施していくことが必要である。								

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
338(822)	防災対策事業(津波対策)	教育部	学校施設課					
事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。								
事業内容 湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を受容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を増築する。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●校舎棟(津波避難施設)				→	→	→	→	→
実施設計 建設								
予算額(千円)	595,445							
決算額(千円)	38,965	397,656						
執行率(%)	100.0	100.0						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	H29年度の 総合評価 E							
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				評価の理由 今後の方向 H30年度事業計画				
課題・問題点								

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 411	事業名 生涯学習推進事業	担当部 生涯学習総務課	担当課 変更(ある場合)														
<p>事業目的 ・市民活動団体や関係機関とのネットワーク等を活用し、多様な学習機会や学習情報の提供を行うことにより、市民の生涯学習を推進する。 ・各種講座で習得した知識や技術・技能を生かして地域で主体的に活動することができる人材を育成・支援する。</p> <p>事業内容 ・生涯学習大学事業の実施 ・大学市民講座等各種講座の実施 ・生涯学習人材バンクの運営 ・生涯学習出張講座の実施 ・生涯学習情報の収集・提供と学習相談の実施 ・生涯学習ふじさわプログラムの進捗管理 ・生涯学習特別貢献表彰の実施</p>																	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●各種講座・事業の実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →												
予算額(千円)	5,385	5,615	5,335	9,053													
決算額(千円)	5,180	5,421	4,843														
執行率(%)	96.2	96.5	90.8														
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・生涯学習大学事業実施数18講座</p>																
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・年間をとおして、生涯学習情報収集・発信及び学習相談・情報提供を実施し、市民の学習を支援した。 ・大市民講座参加者数(4大学)</p> <table border="1"> <tr> <th>実施大学</th> <th>参加者数</th> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>828</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>H33</td> <td>1,311</td> </tr> </table> <p>・生涯学習大学事業の「地域コミュニティ」および「ゼミナールコース」では、市民活動のコーディネートを担当している団体に事業委託することにより、団体の有する専門性を生かした事業内容となつた。 ・生涯学習大学事業の「市民講師コース」では、「人材バンクフェスティバル」の周知を拡大し、親子をはじめ来場者数が大幅に増加した。また、「市民講師企画講座」を開催し、受講者と講師の交流の場を創出するとともに、主体的な学習活動を派生させた。 ・生涯学習大学事業の「オリンピック・パラリンピック応援コース」では、受講者目録に立った事業を実施することにより、気運の醸成を図ることができた。 ・人材バンクの運営も順調に進み、市民の学習活動の支援と、学習成果の社会還元を推進することができた。</p>					実施大学	参加者数	H29	121	H30	828	H31	233	H32	129	H33	1,311
実施大学	参加者数																
H29	121																
H30	828																
H31	233																
H32	129																
H33	1,311																
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。 ・計画どおり事業を実施した。</p>																
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350	4,057													
決算額(千円)	16,026	33,822	23,608														
執行率(%)	98.1	89.8	97.0	0													
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。</p>																
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・計画どおり事業を実施した。</p>																
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350	4,057													
決算額(千円)	16,026	33,822	23,608														
執行率(%)	98.1	89.8	97.0	0													
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。</p>																

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 339	事業名 中学校給食施設整備事業	担当部 教育部	担当課 学校給食課		
<p>事業目的 ・成長期にある生徒の健康保持増進及び食育の推進を図る。 ・家庭からの弁当持参とテラリ二方式の給食の選択制を実施する。 ・栄養バランスの取れた食事を提供し、望ましい食習慣を養う。</p> <p>事業内容 ・給食施設の整備</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●給食施設の整備	H28年度 実施3校 (計12校)	H29年度 実施4校 (計9校)	H30年度 実施7校 (計19校)	H31年度 →
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350	4,057	
決算額(千円)	16,026	33,822	23,608		
執行率(%)	98.1	89.8	97.0	0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。</p>				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・計画どおり事業を実施した。</p>				
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350	4,057	
決算額(千円)	16,026	33,822	23,608		
執行率(%)	98.1	89.8	97.0	0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。</p>				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・計画どおり事業を実施した。</p>				
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350	4,057	
決算額(千円)	16,026	33,822	23,608		
執行率(%)	98.1	89.8	97.0	0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・長後中学校・秋葉台中学校及び滝の沢中学校で中学校給食を実施した。</p>				

事業コード		事業名		担当部		担当課	
413		オリリンピック・パラリンピック関連事業		生涯学習部		東京オリリンピック・パラリンピックの開催準備課	
		変更(ある場合)				変更(ある場合)	

東京2020大会を契機とした様々な効果や、子どもたちをはじめとした、すべての市民が享受できることを目的とする。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
未実施	各種取組を推進するため、庁内に専門委員会を設置し、検討を進めた。また、ボランティアに関するシンポジウムを開催した。	●ボランティア等参加団体の選定 ●教育プログラムの策定 ●文化プログラムの活用・推進	●都市ボランティア等の募集・選考・徹底・研修 ●教育プログラムの活用・推進 ●文化プログラムの活用・推進	
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	3,493	14,200	20,000	
決算額(千円)	3,262	14,038		
執行率(%)	93.3			

年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果

H29年度について、具体的な数値目標なし。

H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)

- 市民参加に向けて意欲を高めるため、ボランティア等実施計画及び教育プログラム・文化プログラムを策定した。
- 市民参加事業の取り組みは次のとおり
 - ア・ボランティアプログラム開催
 - 参加者数356人
 - イ・ボランティア講座実施
 - 参加者数235人

※ 予算措置された取組計画以外の子ども対象事業

- あすチャレ！スクール:147人
- オリリンピック教室:60人
- 体感！セーリングの魅力in江の島(セーリング海上観戦等):114人
- オリリンピック・パラリンピックフットボール:オープン
- 東京2020大会マスコット投票:オープン
- プールでセーリング体験:46人
- パラスポーツ体験教室:24人

評価	H29年度の総合評価	評価	次年度
	D		継続

評価の理由
各種の実施にあたっては、児童生徒の年齢別の確認を行っているため。

今後の方向
各事業の実施にあたっては、児童生徒の参加状況を把握する。

H30年度事業計画
H30年度事業計画
・学校や地域等で教育プログラム、文化プログラム内に掲げる事業を実施。

事業コード		事業名		担当部		担当課	
412		地球温暖化対策普及啓発事業		環境部		環境総務課	
		変更(ある場合)				変更(ある場合)	

市民、事業者、行政等が一体となってすべての主体が省エネ行動に取組むことにより、温室効果ガスの削減を図る。(温室効果ガスを2022年度までに40%削減する)

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●ふじさわ環境フェアの開催				
入場者数 4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人
出展団体 50団体	50団体	50団体	50団体	50団体
予算額(千円)	8,335	6,567	13,573	
決算額(千円)	6,746	5,534		
執行率(%)	80.9	84.3		

年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)

- 入場者数 3,720人
- 出展団体 48団体

H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)

【ふじさわ環境フェアの開催】

- 市民、環境団体、NPO法人、環境関連企業が一堂に会し、環境イベントを実施。
- 開催日:2017年12月9日(土)
- 場所:藤沢市民会館
- 入場者数:3,720人
- 出展団体:48団体

【環境ポータルサイトの運営】

- 環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。
- トップページのアクセス数:20,562,777アクセス
- 環境カレッジ募金カレッジ数:413,225カレッジ

【エコライフハンドブック概要版の配布】

- 家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。
- 配布日:2017年8月10日
- 配布先:156,000部

評価	H29年度の総合評価	評価	次年度
	B		継続

評価の理由

- 計画どおりの事業を行うことができた。
- 環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。
- ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者はH28並みである。

今後の方向

- 環境フェアについては、これまでの施策を継続していくもの、新規事業を取り入れるなど、創業者に協力により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。
- H30に国の取組と連携する普及啓発事業を実施し、幅広い市民との連携を図るとともに、継続的なマルチパートナーシップの構築を図る。

H30年度事業計画

- ふじさわ環境フェアの開催
 - 開催日:2018年11月24日(土)
 - 場所:藤沢市民会館
- 環境ポータルサイトの運営
 - 環境情報の効率的な周知啓発を図るため、リサイクルプラザ藤沢HPとの統合を図る。
- エコライフハンドブック概要版の配布
 - 家庭でできる省エネ行動を紹介するエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布し、夏期の節電対策の一助とする。
 - 配布日:2018年7月25日
 - 配布先:156,000部

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	総合市民図書館運営管理事業	生涯学習部 総合市民図書館	担当課	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
421	事業目的 市民が学ぶ楽しさ「知る喜び」「役立つ情報」「深い思索」「やさしさ・ふれあい」を得られるよう、資料・情報・情報・施設の提供を行う。	事業内容 市民の多様な学びを支援するために、4市民図書館・11市民図書室で資料・情報・施設を提供する。	変更(ある場合) * H29年度より、「年次ごとの取組計画」の貸出冊数を変更。(H29)							
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	貸出件数 390万件/年	391万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年
	予算額(千円)	308,928	310,412	318,825	302,712					
	決算額(千円)	305,364	305,347	314,923						
	執行率(%)	98.8	98.4	98.8						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	貸出件数 363万件/年								
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・4市民図書館・11市民図書室を閉館・閉室し、資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業を実施した。</p> <p>・定期的に、おはなし会、映画会等の開催を行った。</p> <p>・協議室・ホール等の貸出を行い、市民活動の推進に努めた。</p> <p>・地域団体、近隣自治体の協力を得て、「図書館まつり」を開催し、地域との交流を深め、リサイクル・ブックフェア等市民への還元を図った。</p> <p>・藤沢市図書館協議会を年4回(8月・11月・1月・3月)開催した。また、本市図書館に対するニーズや満足度を把握し、図書館サービスへの評価・検証をするため、藤沢市図書館協議会による利用者アンケートを実施した。</p> <p>・清掃、修繕等、施設の維持管理に努め、安全・快適な利用環境を利用者に提供した。</p>								
	評価	<p>評価の理由</p> <p>・市民や時代のニーズに対応しながら、引き続き4市民図書館・11市民図書室において資料・情報・施設を提供していく。</p> <p>・総合市民図書館の円滑な運営を行うにあたり、清掃・整備等の施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境を整備していく。</p> <p>今後の方向</p> <p>・資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業の実施</p> <p>・おはなし会、映画会等の開催</p> <p>・視聴覚機材の貸出及び16ミリ映写機操作講習会の実施</p> <p>・読書週間等における講座等の実施</p> <p>・展示コーナーの設置</p> <p>・会議室・ホール等の貸出</p> <p>・「図書館まつり」の開催</p> <p>・藤沢市図書館協議会の開催</p> <p>・施設の維持管理</p>								
	課題・問題点	<p>・利用者に安心・安全な施設を提供するための維持管理に努めており、随時修繕等の対応はしているものの、今後、施設の老朽化に伴う故障や破損、不具合の発生は増加することが予測され、計画的に対応していく必要がある。</p>								

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	総合市民図書館市民運営事業	生涯学習部 総合市民図書館	担当課	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
422	事業目的 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に図書館運営を業務委託することにより、効率的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの充実を図る。	事業内容 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に、総合市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。総合市民図書館は、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行うとともに、業務委託された図書館の運営状況を検証する。	変更(ある場合) * H29年度より、「年次ごとの取組計画」の貸出冊数を変更。(H29)							
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	貸出件数 390万件/年	391万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年
	予算額(千円)	137,756	138,652	138,497	141,236					
	決算額(千円)	136,566	137,416	136,881						
	執行率(%)	99.1	99.1	98.8						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	貸出件数 363万件/年								
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・NPO法人に総合市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。</p> <p>・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証するとともに、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行った。</p> <p>・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び同法人事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。</p> <p>・各担当毎の研修などでNPO法人と交流を行い、知識の共有が図られた。</p> <p>・地域のニーズに即した事業が実施された。</p>								
	評価	<p>評価の理由</p> <p>・NPO法人に総合市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・レファレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。</p> <p>・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証するとともに、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行った。</p> <p>・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び同法人事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。</p> <p>・各担当毎の研修などでNPO法人と交流を行い、知識の共有が図られた。</p> <p>・地域のニーズに即した事業が実施された。</p> <p>今後の方向</p> <p>・総合市民図書館は、総合市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務を委託したNPO法人に対し、今後とも予算執行、サービス業務の支援等を引き続き行う。</p>								
	課題・問題点	<p>・総合市民図書館及び湘南大庭市民図書館が引き続き地域に密着した質の高い図書館サービスを行えるよう、2館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能を検証していく。</p>								

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	総合市民図書館整備事業	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
423	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館					
	事業目的	変更(ある場合)					
	事業内容	市民が安心して利用できる図書館施設を維持していくために4市民図書館の施設修繕と改修工事を行う。					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	●施設修繕及び改修工事 ●老朽化と予算の状況で個別に実施 ●総合市民図書館視聴覚ホール空調設備改修工事 ●全熱交換器一体型外調機改修工事					
	予算額(千円)	20,498	4,731	0	0	0	
	決算額(千円)	16,610	4,709	0	0	0	
	執行率(%)	81.0	99.5	0	0	0	
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	施設設備の改修工事及び修繕計画の策定					
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	●安心で快適な環境を整備するため、施設設備の改修工事や修繕計画について検討をすすめた。					
	評価の理由	●安心で快適な環境を整備し、利用者への影響が出ないよう引き続き、老朽化した施設設備の修繕計画を立て、施設修繕と改修工事を行うっていく必要がある。					
	今後の方向	●厳しい財政状況が継続し、公共施設の改修等に係る予算確保は難しくなってきたり、老朽化した施設の維持・管理のため、計画的に施設修繕と改修工事を実施するよう努める。					
	H30年度事業計画	市民が安心して快適に利用できる図書館を維持するために必要な施設の整備・改修並びに修繕を行うための検討を進め、予算の確保に努める。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	図書館情報ネットワーク事業	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
424	担当部 担当課	生涯学習部 総合市民図書館					
	事業目的	資料・情報の迅速・的確な提供により市民サービスの向上を図る。					
	事業内容	図書館情報ネットワークシステムの維持管理及び県内公立図書館・市内大学図書館との連携を推進する。					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	●図書館情報ネットワークシステムの維持管理等 ●図書館ホームページからの予約件数 48万件					
	予算額(千円)	39,245	38,667	27,426	35,482		
	決算額(千円)	39,236	38,610	27,352			
	執行率(%)	100.0	99.9	99.7			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	●図書館ホームページからの予約件数 462,738件					
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	●4市民図書館のコンピュータ機器の維持管理を実施し、利用者の利便性の向上を図られた。 ●4市民図書館11市民図書館や市内大学図書館の連携が図れた。 ●図書館ホームページを随時更新し、最新情報の提供に努め、利用者の利便性を図った。 ●県内公立図書館及び市内大学図書館と連携を図り市民サービスの向上を図った。湘南地区図書館連絡会を開催し、近隣市図書館と情報交換を行った。 ●平成30年度のシステムのリニューアルに向けて、検討を行った。 ●市民図書館システム開発業者を選定した。 ●4市民図書館及び11市民図書館の蔵書を一元管理するために、市民図書館の蔵書についてシステム登録を行った。					
	評価の理由	●図書館コンピュータシステムの維持管理を行い、利用者の利便性の向上を図られた。 ●4市民図書館11市民図書館や市内大学図書館の連携が図れた。 ●次期システムの仕様の検討など、市民サービスの向上を図るための検討を進めることができた。					
	今後の方向	●4市民図書館11市民図書館のネットワークシステムの更なる充実を図るとともに、県内公立図書館や市内大学図書館の一層の連携強化を図ることにより、図書館サービスの向上に取り組んでいく。					
	H30年度事業計画	●平成31年3月本格稼働のシステムのリリースに向けて、新システムの開発のための要件定義や、データ移行・ホームページ等部会を設け準備を計画的に進める。 ●11市民図書館について、市民の利便性の向上を図るために、オンライン化の検討を引き続き進める。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 426	事業名 子ども読書活動推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館
<p>子どもが言葉遊び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするために、人生をより深く生きる力を身に付けることができるよう、子どもの読書環境を整備し、読書機会の充実を図る。</p> <p>事業目的 「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。</p> <p>事業内容 ・ブックスタート事業など子どもの発達段階にあわせた事業等の充実 ・団体貸出など学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の充実 ・子ども読書に関わるボランティアの育成 ・学校図書館の運営等への支援</p>			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>		<p>H27年度 750回</p> <p>H28年度 800回</p> <p>H29年度 850回</p> <p>H30年度 900回</p> <p>H31年度 950回</p>	
予算額(千円)	5,542	5,208	4,970
決算額(千円)	5,235	5,069	5,120
執行率(%)	94.5	97.3	95.4
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・学校及び子どもに関わる施設団体への団体貸出回数(886回) ・ブックスタート事業の実施(48回) ・ボランティア交流会(5回)、研修会(4回)の実施</p>		
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>「ふじさわ子ども読書活動推進計画」に基づき、子ども読書活動の推進を図るため、読書活動の充実を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p>			
<p>今後の方向</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 425	事業名 障がい者・高齢者への宅配サービス事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館
<p>図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用を可能にし、市民サービスの向上を図る。</p> <p>事業目的 「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。</p> <p>事業内容 ・図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し、ボランティアにより図書館資料を宅配する。</p>			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	<p>H27年度 7,450件</p> <p>H28年度 7,600件</p> <p>H29年度 7,000件</p> <p>H30年度 7,000件</p> <p>H31年度 7,000件</p>		
予算額(千円)	673	673	579
決算額(千円)	637	631	641
執行率(%)	94.7	93.8	95.2
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	<p>・宅配による貸出件数 7,770件/年</p>		
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・宅配利用者数 1,986人 ・貸出資料件数 7,770件 ・広報ふじさわに宅配サービスの利用者及びボランティアの募集記事掲載を行った。 ・ボランティア交流会を開催した。11月16日 参加者10名 ・職員とボランティアが協力して宅配利用者に対する資料の紹介をするためのリストを作成した。</p>			
<p>今後の方向</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p> <p>・市内全域の利用希望者に対して、ボランティアの確保を図るとともに、ボランティアの育成を図る。</p>			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード 428	事業名 新しい時代に即した「これからの図書館」推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度															
<p>新しい時代に即した「これからの図書館」について考え、方針・計画等を策定し、実行することにより、更なる図書館サービスの充実を図る。</p> <p>事業目的 新しい時代に即した「これからの図書館」のあり方について研究・検討し、今後の図書館の運営方針及び計画を策定する。 ・南市民図書館再整備にあたり、必要な機能・設備等について検討する。</p> <p>事業内容 ・新しい時代に即した「これからの図書館」のあり方について研究・検討し、今後の図書館の運営方針及び計画を策定する。 ・南市民図書館再整備にあたり、必要な機能・設備等について検討する。</p>																			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>H28年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>●方針・計画等の策定の検討</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>●南市民図書館再整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●方針・計画等の策定の検討	→	→			●南市民図書館再整備				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度															
●方針・計画等の策定の検討	→	→																	
●南市民図書館再整備																			
<table border="1"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>853</td> <td>930</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>764</td> <td>810</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>89.6</td> <td>87.1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>					予算額(千円)	853	930	0		決算額(千円)	764	810	0		執行率(%)	89.6	87.1	0	
予算額(千円)	853	930	0																
決算額(千円)	764	810	0																
執行率(%)	89.6	87.1	0																
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「これからの図書館検討委員会」の報告書を受け、課内で意見を集約した。 課内で「これからの図書館検討委員会」を開催し、集約した意見から図書館サービスについて、具体的な取組について検討した。 藤沢市図書館協議会による図書館利用者アンケート調査を実施し、本市図書館に対するニーズや満足度を把握することに努めた。 <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 「これからの図書館検討委員会」の報告書を受け、課内で、課内で意見を集約し、図書館サービスの具体的な取組について検討を行った。 新しい時代に即した「これからの図書館」を考えた。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> これからこの図書館検討会議で検討した方策に取り組み、図書館の再整備等、長期的かつ予算の検討が必要な課題についても、引き続き課内で検討を重ね、改善に取り組みたい。 																			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画 進捗状況報告書

事業コード 427	事業名 点字図書館事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度															
<p>視覚障がい者の生活向上を図る。</p> <p>事業目的 視覚障がい者への点字・録音図書・貸出サービス、文化レクリエーション活動への支援、点字指導及びボランティアの育成を行う。</p> <p>事業内容 ・視覚障がい者向け点字・録音図書の製作 ・点字・録音図書の製作・貸出サービス、文化レクリエーション活動への支援、点字指導及びボランティアの育成を行う。</p>																			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>H27年度</td> <td>H28年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td>H31年度</td> </tr> <tr> <td>●視覚障がい者向け点字・録音図書の蔵書数</td> <td>9,470タイトル</td> <td>9,470タイトル</td> <td>9,540タイトル</td> <td>9,610タイトル</td> </tr> <tr> <td>●ボランティア養成の基本講習会</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●視覚障がい者向け点字・録音図書の蔵書数	9,470タイトル	9,470タイトル	9,540タイトル	9,610タイトル	●ボランティア養成の基本講習会	→	→	→	→
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度															
●視覚障がい者向け点字・録音図書の蔵書数	9,470タイトル	9,470タイトル	9,540タイトル	9,610タイトル															
●ボランティア養成の基本講習会	→	→	→	→															
<table border="1"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>11,164</td> <td>11,331</td> <td>11,498</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>10,575</td> <td>10,749</td> <td>10,276</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>94.7</td> <td>94.9</td> <td>90.4</td> <td></td> </tr> </table>					予算額(千円)	11,164	11,331	11,498		決算額(千円)	10,575	10,749	10,276		執行率(%)	94.7	94.9	90.4	
予算額(千円)	11,164	11,331	11,498																
決算額(千円)	10,575	10,749	10,276																
執行率(%)	94.7	94.9	90.4																
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 点字ボランティア、音訳ボランティアの協力により、点字図書及び録音(デジタル)図書を製作し、利用者に提供した。制作タイトル数(新規) * 点字図書 5タイトル * 録音(デジタル)図書 42タイトル 計 47タイトル ボランティアを養成するための講座を実施した。音訳ボランティア講習会 修了者19人(延べ人数121人) 点字校正講習会 修了者5人 点字校正講習会 修了者11人 ボランティア等の協力により、相模障がい者を対象とした講座等を実施した。(人数はボランティア等を含む) 春、秋のバスハイク 計85人 文学歴史散歩 17人 IT講習会 35人 バソコン教室 6人 点字競技会(ミニ教養講座) 39人 教養講座 92人 手で触れて見る彫刻展来場者 487人(うち視覚障がい者約30人) 啓発事業「みて！さわって！いろいろな本をたのむう！」(総合館)参加者168人(ボランティア含む) 啓発事業「みて！さわって！楽しんでみよう！点字ってなあに？」(大庭館)参加者165人(ボランティア含む) ボランティア向け講演会「障がい者差別解消法とボランティア活動について」参加者32人 <p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事参加者の高齢化が進んでいることから、無理のない行程・内容の事業を実施する。 点字図書が予定数の50%しか製作できなかった。担当者の点字技術習得と図書製作の進捗よく管理が必要である。 <p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書製作については点字図書の製作が進まず目標値を下回った。基本講習会については修了者数は昨年同様であった。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続きボランティア講習会等を開催し、ボランティアの養成・技術向上に努めるとともに、特に点字図書の充実をはかる。また4市民図書館と連携した事業を開催する。 																			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
432	藤沢市民館・村岡公民館再整備事業	生涯学習部	生涯学習総務課	変更(ある場合)	<p>・老朽化手狭な状況の公民館の再整備を行い、バリアフリー化や施設の拡充などを行うことにより、市民がより一層学習活動や地域コミュニティ活動に参加しやすい施設とする。</p> <p>・施設的安全性を確保するとともに、地区防災拠点としての機能向上を図る。</p> <p>・藤沢…労働会館等との複合化による再整備を行う。</p> <p>・村岡…地区のまちづくりの状況等を踏まえ、再整備を検討する。</p>					
<p>事業目的</p> <p>・老朽化手狭な状況の公民館の再整備を行い、バリアフリー化や施設の拡充などを行うことにより、市民がより一層学習活動や地域コミュニティ活動に参加しやすい施設とする。</p> <p>・施設的安全性を確保するとともに、地区防災拠点としての機能向上を図る。</p> <p>・藤沢…労働会館等との複合化による再整備を行う。</p> <p>・村岡…地区のまちづくりの状況等を踏まえ、再整備を検討する。</p>										
<p>事業内容</p> <p>・藤沢市民館・労働会館等との複合化による再整備を行う。</p> <p>・村岡公民館</p>										
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>										
<p>基本設計</p> <p>●村岡公民館</p>										
<p>実施設計</p>										
<p>建設工事</p>										
<p>用地取得</p>										
<p>検査</p>										
<p>予算額(千円)</p> <p>0</p>										
<p>決算額(千円)</p> <p>0</p>										
<p>執行率(%)</p> <p>0.0</p>										
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果</p> <p>・藤沢市民館・労働会館等複合施設の建設工事が完了し、全体の34%完了。</p> <p>・村岡公民館再整備建設検討委員会を設置し、委員会を2回開催。</p>										
<p>評価</p> <p>H29年度の総合評価</p> <p>B</p>										
<p>評価の理由</p> <p>・藤沢市民館・労働会館等再整備事業においては、計画どおり事業を進めることができた。</p> <p>・村岡公民館再整備においては、建設検討委員会の立ち上げ及び開催、建設庁内検討委員会の開催ができた。</p> <p>今後の方向</p> <p>【藤沢市民館の再整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度の供用開始に向け、庁内各課等と連携して、基本構想にあるスケジュールどおりに再整備事業を進めていく。 【村岡公民館の再整備について】 第2次藤沢市公共施設再整備プランに基づき進めていく。 										

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
431	公民館運営事業	生涯学習部	生涯学習総務課	変更(ある場合)	<p>・13地区の公民館において、地域が有する教育資源(人材、文化、学習成果等)を積極的に活用することで、市民の学習ニーズや地域課題を捉えるとともに、地域特性を生かした事業の展開を図る。</p> <p>・地域住民の生活の質を高めるとともに、学習を通じて人間関係を深め、豊かな地域づくりを進める。</p> <p>・快適な学習環境の中で、市民の主体的学習活動の推進を図る。</p> <p>・地域間との連携や地域が有する教育資源の活用及び市民の学習ニーズに応じた多様な事業の実施</p> <p>・公民館サークル等の育成、生涯学習活動への支援</p> <p>・公民館運営審議会による公民館事業の調査・審議</p> <p>・公民館施設の維持管理・改善による学習環境の整備</p>					
<p>事業目的</p> <p>・13地区の公民館において、地域が有する教育資源(人材、文化、学習成果等)を積極的に活用することで、市民の学習ニーズや地域課題を捉えるとともに、地域特性を生かした事業の展開を図る。</p> <p>・地域住民の生活の質を高めるとともに、学習を通じて人間関係を深め、豊かな地域づくりを進める。</p> <p>・快適な学習環境の中で、市民の主体的学習活動の推進を図る。</p> <p>・地域間との連携や地域が有する教育資源の活用及び市民の学習ニーズに応じた多様な事業の実施</p> <p>・公民館サークル等の育成、生涯学習活動への支援</p> <p>・公民館運営審議会による公民館事業の調査・審議</p> <p>・公民館施設の維持管理・改善による学習環境の整備</p>										
<p>事業内容</p> <p>・公民館施設の適切な維持管理を図った。</p> <p>・地域特性を生かした事業や様々な連携事業など、公民館事業計画基本方針に基づいた特色のある事業を多数実施</p>										
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>										
<p>実施</p>										
<p>予算額(千円)</p> <p>262,943</p>										
<p>決算額(千円)</p> <p>250,117</p>										
<p>執行率(%)</p> <p>93.6</p>										
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果</p> <p>・公民館施設の適切な維持管理を図った。</p> <p>・地域特性を生かした事業や様々な連携事業など、公民館事業計画基本方針に基づいた特色のある事業を多数実施</p>										
<p>評価</p> <p>H29年度の総合評価</p> <p>B</p>										
<p>評価の理由</p> <p>・乳幼児家庭学習塾・高齢者学習塾等の学級、地域特性を生かした各種講座や公民館まつり等を実施した。</p> <p>・公民館サークル等の育成や、地域住民の生涯学習活動に対して支援を図った。</p> <p>・平成28年度公民館事業計画基本方針に基づき、継続的に公民館に参加することを目的とした事業や、地域住民やサークルの交流を活発にする事業等の実施により、地域コミュニティの活性化を図った。</p> <p>・公民館運営審議会を開催し、全体的な視野で公民館事業について審議し、公民館自己評価や各公民館評議員会との連携など、より良い公民館の体制づくりを図った。</p> <p>・公民館あり方検討委員会からの提言に基づき、公民館事業への職員の関わりについて調査・検証を行った。</p> <p>今後の方向</p> <p>・各公民館について、地域に寄り添い、それぞれが特色のある活動を継続していき、課題の解決や、連携を深めていく。</p> <p>・公民館が地域課題に取り組み、その中から地域に貢献し得る人材が育成されるような事業を展開していく。</p> <p>・公民館あり方検討委員会からの提言に基づき、公民館職員の専門性の確保に努める。</p>										
<p>課題・問題点</p> <p>H30年度事業計画</p> <p>・乳幼児家庭学習塾、高齢者学習塾等の学級、地域特性を活用した各種講座や公民館まつり等を実施する。</p> <p>・公民館サークル等の育成や地域住民の生涯学習活動に対して支援を図る。</p> <p>・公民館運営審議会を開催し、全体的な視野で公民館について審議する。</p> <p>・「あり方検討委員会」からの提言に基づき、引き続き、公民館事業への職員の関わりについて調査・検証を行う。</p> <p>・公民館職員の専門性の確保を図るため、社会教育主事講習等の研修への職員派遣を行う。</p>										

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 511	事業名 市民ギャラリー事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課		
事業目的 市民文化の支援と育成を図るとともに、市民の創作活動の充実を図る。					
事業内容 市民の美術創作活動の推進及び美術作品鑑賞のための主催・共催等の事業を行う。 (公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年)・藤沢市展・芸術文化展など)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施 ●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	130	140	140	140	
決算額(千円)	127	124	125		
執行率(%)	97.7	88.6	89.3		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	130 127 97.7	140 124 88.6	140 125 89.3	H29年度の 総合評価 B	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 藤沢市藤沢市展 2017年5月23日(火)～6月11日(日) 出品作品643点 入場者数6,595人 カナガワビエンナーレ国際児童画展 2017年9月5日(火)～9月10日(日) 出品作品519点 入場者数602人 芸術文化展 2017年10月17日(火)～10月22日(日) 出品作品116点 入場者数963人 公民館サークル写真展 2017年11月28日(火)～12月3日(日) 出品作品190点 入場者数1,097人 公民館サークル美術展 2017年12月5日(火)～12月10日(日) 出品作品280点 入場者数1,123人 高等学校美術展 2018年1月9日(火)～1月14日(日) 出品作品1,015点 入場者数1,116人 					
<p>・計画どおりの事業が行われており、出品作品数・入場者数とも前年度と比較しても大きな変動はない。</p> <p>・さらに内容の充実を図っていくため、各事業の実行委員会において、今後も検討を進めていきたい。</p> <p>今後の方向</p>					
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第68回藤沢市展 芸術文化展 公民館サークル美術展 公民館サークル写真展 高等学校美術展 					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 512	事業名 文化芸術振興事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課		
事業目的 本市が長年培ってきた文化基盤と、市民が持つ熟成された芸術的能力を生かし、市民を主体とした文化芸術活動などを総合的に展開することにより、文化芸術創造都市とし、市民が誇れる文化の創造・発展と、文化の薫りあふれるまちづくりを推進する。					
事業内容 ・ゆとりとほろおいの実感できる豊かな市民生活の実現のため、芸術鑑賞事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、文化芸術の鑑賞機会や活動の機会をさらなる充実を図るとともに、市民とのパートナーシップによる文化芸術の振興や、魅力ある文化創造の発信に向けた総合的な文化芸術事業の展開を図る。 ・市民文化振興事業を安定的・継続的に実施するため、「藤沢市文化振興基金」への構立・運用を行う。 (市民オペラなどの音楽事業・観劇などの演劇事業・若い世代の育成のためのアウトリーチ事業・文化芸術団体による文化事業・文化振興基金積立事業)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施 ●音楽事業・演劇事業・アウトリーチ事業・文化事業等	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	119,537	116,274	148,704	136,843	
決算額(千円)	110,037	116,274	139,704		
執行率(%)	92.1	100.0	93.9		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	119,537 110,037 92.1	116,274 116,274 100.0	148,704 139,704 93.9	H29年度の 総合評価 B	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 音楽事業の実施 7,687人 演劇事業の実施 3,138人 アウトリーチ(学校訪問)事業の実施 1,403人 文化事業の実施 10,256人(暫定) 文化振興基金積立事業(ふるさと納税分含む)合計40件 11,853,852円の寄付があった。 					
<p>・計画どおりの事業を行うことができ、文化芸術の発信が一定程度実施できている。</p> <p>今後の方向</p> <p>・市民を主体とした文化芸術活動を総合的に展開し、文化芸術の鑑賞や活動の機会をさらなる充実を図る。また、事業等参加者人数が目標を下回っているため、今後の事業について検討を進める。</p>					
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽事業 演劇事業 アウトリーチ(学校訪問)事業 文化事業 文化振興基金積立事業 					
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化振興基金の寄付についての呼びかけを、より一層行う必要がある。 今後の事業の方向性について、これまでの実績を踏まえ、検討をしていくことが必要である。 					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 513	事業名 市民文化創造事業	担当部 生涯学習部			
		担当課 文化芸術課			
		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
<p>市民に元気を与え、地域社会を活性化させるため、魅力ある文化の創造・発展に努める。</p> <p>事業目的 市民文化創造事業</p> <p>事業内容 文化芸術団体を始め、市民・NPO・ボランティアや企業など行政が連携・協働して、文化芸術の人づくりや場づくりを進め、子どもから少年をも含めた将来の藤沢の文化芸術を担う人材の育成など、一人ひとりの個性や自分らしさを引き出し、多種多様な文化芸術の発見と発展につなげる。 (このころの劇場小学生招待事業・市民シアター第一演劇会(3年に1回開催)・市民力・地域力向上のための事業の検討・実施)</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●このころの劇場小学生招待事業				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	4,000人 3,900人 ●第九演劇会実施	3,700人 ●第九演劇会実施	3,800人 ●第九演劇会実施	3,900人	3,900人
予算額(千円)	6,970	6,457	5,797	8,375	
決算額(千円)	6,970	6,300	5,797		
執行率(%)	100.0	97.6	100.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	関係団体と連携し、文化芸術の創造、鑑賞機 会の提供や文化芸術を担う人材の育成に資す るきっかけづくりができた。				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
●このころの劇場小学生招待事業	●小学校校長会、及び関係団体との連携・調整がス ムーズに行われたことにより、計画どおりの事業を行 うことができた。				
会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2017年6月21日(水)、22日(木) 4公演 演目 ミュージカル「ガンバの大冒険」 参加 市内35校3,617人(悪天候により2校欠席、私立 1校含む)	●みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 開催日 2018年3月24日(土)、25日(日) 参加 1,720人				
	●事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調 整を図り、連携・協働していく。				
	今後の方向				
	●このころの劇場小学生招待事業				
	H30年度事業計画				
	●このころの劇場小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2018年6月28日(木)、29日(金) 4公演 演目 ミュージカル「王様の耳はロバの耳」 ●みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 日程 2018年3月30日(土)、31日(日) 会場 湘南台市民シアター 公演日 2019年3月31日(日)				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 514	事業名 文化活動支援事業	担当部 生涯学習部			
		担当課 文化芸術課			
		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
<p>文化芸術団体の自主的な活動や次世代を育成する事業等に支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進する。これらの取組によって本市の芸術文化の水準の向上を図るとともに、郷土愛あられるまちづくりを推進する。</p> <p>事業目的 文化活動支援事業</p> <p>事業内容 ●市民の主体的な文化活動を促進するため、団体助成制度の充実や、側面的支援として行政の後援等の活用や、活動場所の優先的な提供等、多様な手法による支援を行う。(芸術文化助成事業) ●藤沢市文化団体連合会及びその加盟文化団体に実施する、将来の文化を担う次世代育成事業等に対する支援を行う。(次世代育成事業)</p>					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●芸術文化助成事業				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
	●次世代育成事業				
実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	
決算額(千円)	800	750	1,000		
執行率(%)	80.0	75.0	100.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	●音楽、演劇等舞台芸術を対象とした活動を 行っている個人または団体にに対し、その事業の 完遂のために必要な経費の一部を助成し、もつ て本市の文化の発展に寄与した。				
	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
●音楽、演劇等舞台芸術を対象とした活動を行 った団体に対し、必要な経費の一部を助成し、本市の 文化発展に寄与した。	●助成対象団体が計画どおりに事業を実施できるよ うに支援することができた。				
●助成団体4団体(申請団体数9団体)	① そと風のコンサート実行委員会 すずかけ児童合唱団50周年「そと風のコンサート」 ② 藤沢男声合唱団 第28回定期演奏会 ③ 湘南コーラル・グループ 第67回定期演奏会 ④ 遊行会 遊行かぶさき「一通」				
	今後の方向				
	●今後も、文化芸術団体の自主的な活動を側面から 支援し、多様な活動を促進していく。				
	H30年度事業計画				
	●助成団体4団体(申請団体数9団体) ① 藤沢福音コーラル 藤沢福音コーラル創立40周年記念演奏会 ② 湘南アマテウス合唱団 創立25周年記念第20回定期演奏会 ③ 藤沢ジュニアオーケストラ 藤沢ジュニアオーケストラ第36回定期演奏会 ④ 藤沢市合唱連盟 (仮)SK松本ジュニア合唱団交流会				
	課題・問題点				
	●本市における事業実績のない団体の取扱いなど、審査に 難しい面もあるなかで、文化芸術団体の多様な活動を促進 しなければならぬ。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 515	事業名 文化芸術活動広域ネットワーク事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課
事業目的 本市の文化芸術に新たな分野を創り上げていくために、他市との文化交流を推進する。			
事業内容 本市の優れた文化芸術の地域資源を再認識・再発掘し、今後も一層広域・横断的なネットワークを創る。 (藤沢、茅ヶ崎、寒川による広域文化交流会事業・他市の市民文化会館等で活動している団体との交流等)			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施 会場担当市町 藤沢市	H28年度 茅ヶ崎市	H29年度 寒川町
予算額(千円)	235	0	0
決算額(千円)	0	0	0
執行率(%)	100.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	「ワーケーション」を通じて世代・地域・性別等を越えた交流が生まれた。 ・地域の文化資源を活用し、芸術文化の側面から湘南の新たな魅力の掘り起しを行い、それを映像媒体として発信した。		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H29年度の取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果		
・湘南文化交流事業「湘南の魅力発見プロジェクト」	・藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町における文化交流の推進された。		
1. 各事業について ワーケーションプロジェクト 内容：ハイクォーターデザイン 日時：2017年9月30日(土)～12月3日(日) 参加者数：11名	・東京オリンピック・パラリンピックを見据え、平成28年度から32年度まで継続して「湘南の魅力発見プロジェクト」を実施する。		
2. 作品発表 巡回展示会 (1)寒川町 日時：2018年2月1日(木)～2月7日(水) 会場：寒川総合図書館 企画展示室 日時：2018年2月14日(水)～2月18日(日) 会場：藤沢市役所 本庁舎ラウンジ 日時：2018年2月21日(水)～2月28日(水) 会場：茅ヶ崎市役所 市民ふれあいプラザ	今後の方向		
課題・問題点 ・2市1町で組織する広域行政協議会の中の広域文化交流活動部会として、多様な文化交流を図ることのできる共通の事業を企画・検討し、実施していかなければならない。			
H30年度事業計画 ・「湘南の魅力発見プロジェクト」として絵画をテーマとした事業を計画している。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 516	事業名 アーティストスペースの運営事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課
事業目的 若手芸術家等の創作活動の支援、身近な美術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を主目的とし、本市の美術振興の中核施設として運営する。			
事業内容 ・若手芸術家等の創作活動及び展示・発表等を支援する。 ・身近な場所で気軽に美術の鑑賞ができる機会を提供するための施設として「レジデンスルーム」及び「展示ルーム」を管理運営する。 ・個展や少人数グループ展に使用できるよう、「レジデンスルーム」及び「展示ルーム」を貸し出す。 ・子どもを対象とする「ワーケーション」や各世代で楽しめる「美術講座」を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●施設の運用 開設・供用開始 入場者及び利用者数 15,000人	H28年度 64,360 60,182 93.5	H29年度 → → → 31,000人 66,752 60,711 91.0
予算額(千円)	64,360	68,098	67,516
決算額(千円)	60,182	66,040	60,711
執行率(%)	93.5	97.0	91.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	年間来館者数 24,825人		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H29年度の取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果		
・企画展Ⅰ「せかいをうつす」の開催7/7-8/20 参加作家3人 来館者数：3,089名	・企画展Ⅰ、Ⅱにおいて湘南地域の若手作家を起用したことで、その支援を行うことができた。2年目となった全国公募展では、全国から昨年の約2倍の応募があった。また、本市ゆかりの作家である「かこさとし展」では、多くのファンとともにたかさんの子どもたちが会場に訪れた。藤沢ゆかりの版画家「山岸主計」の展覧会は、日本で初めてと言っては過言ではない希少な機会となった。そのほかにも多彩なワーケーション事業を展開し、子どもたちを中心に美術の魅力に触れる機会を提供等を行った。		
・全国公募展「Artists in FAS 2017」の開催 9/9-11/5 参加作家4人 来館者数：2,489人	・「たるまちゃん」とあそび かこさとし展」の開催 11/25-12/18 参加作家1人 来館者数：1,057人(会場：市民ギャラリー)		
・企画展Ⅱ「毛利裕子 グレイスカイズ」の開催 12/2-1/28 参加作家1人 来館者数：3,639人	・企画展Ⅲ「海を渡った版画家 山岸主計」の開催 3/3-5/6 来館者数：1,729人		
・賞館事業来館者数：2,028人	・平成29年度来館者数合計24,825人		
課題・問題点 ・アーティストスペースがある地区は、特別養育院形成地区として広告看板物等の掲出に制限がある。集客力のある展覧会や駅前サインネーシングの設置などにより知名度、認知度とも徐々に上がっているが、まだまだ場所の問い合わせが多く寄せられているため、さらなる集客が求められる。 ・オリンピック・パラリンピックの開催を受けて、文化プログラムの中心地的拠点施設として活動を行い、成果を上げていくことが求められる。			
H30年度事業計画 ・「藤沢(湘南)ゆかりの若手作家展」藤沢を中心として湘南地域で活動する若手作家を紹介する展覧会を開催する。 ・本市に参観された「招き猫亭コレクション」を紹介する展覧会を開催する。 ・本市と姉妹及び都市間関係にある海外の芸術家と地元若手作家との交流プログラムをスタートさせる。初年度は、マイアミビーチ市を拠点として活動している「フェリエル・パールボンチ氏と地元若手作家とのコラボ企画展を開催する」。 ・市内に点在するパブリックアートを地域ごとに年次計画を立てて職員が調査し、マップ等の広報物にまとめ、市民に紹介する。 ・レジデンスルーム、展示ルームの一般への貸し出し。展覧会に関連したイベントの開催及び子どもや各世代で楽しめるワーケーション、美術講座を定期的に開催する。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 517	事業名 文化ゾーン再整備事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課・総合市民図書館		
事業内容 市民会館・南市民図書館については、文化芸術を誘引する文化ゾーンに位置し、とも平成28年度中にそれまでの運行状況を踏まえて取組計画を修正。(H29)		変更(ある場合) あり			
事業目的 老朽化や機能劣化が著しい市民会館と南市民図書館について、建替えに向けた検討を進め、その規模や機能を検証するとともに、周辺公共施設の機能集約も検討する。					
事業内容 市民会館、南市民図書館ともに旧町屋を再整備し、文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっている。市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また施設としていくのか引き続き検討が必要である。平成28年度末市民会館再整備調査の結果を踏まえた文化ゾーンの再整備方針を検討する必要がある。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 あり方の検討	H28年度 市民会館、南市民図書館それぞれ建て替えに向けた施設規模等を検討	H29年度 市民会館再整備に向けた建物調査	H30年度 建物調査結果を踏まえた再整備のあり方、機能確保の方針を整理	H31年度 再整備に向けた庁内検討
予算額(千円)	0	930	15,012	0	
決算額(千円)	0	810	12,960		
執行率(%)	0.0	87.1	86.3		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果	市民会館の建物調査を実施し、年度末に委託業者から結果を収受した。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 市民会館再整備調査の結果を踏まえ、文化ゾーンの再整備等の検討を深め、その方針を定めていく。あわせて、適切な規模や事業手法の検討等も、関係課を交えた中で実施していく。 					
<p>評価の理由</p> <p>市民会館再整備調査の結果を踏まえ、文化ゾーンの再整備等の検討を深め、その方針を定めていく。あわせて、適切な規模や事業手法の検討等も、関係課を交えた中で実施していく。</p> <p>今後の方向</p> <p>市民会館再整備調査の結果を踏まえ、文化ゾーンの再整備方針の検討及び策定を行う。</p>					
<p>課題・問題点</p> <p>市民会館、南市民図書館ともに旧町屋を再整備し、文化ゾーンとして位置づけられていることから、文化施設を中心とした新たな文化活動等の拠点整備が課題となっている。市民会館として、どの程度の施設、機能としていくのか、また施設としていくのか引き続き検討が必要である。平成28年度末市民会館再整備調査の結果を踏まえた文化ゾーンの再整備方針を検討する必要がある。</p>					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 521	事業名 歴史・文化の継承や地域の特性を生かした文化の発展を図る。	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 市内に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、歴史的資産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図れるように整備する。		変更(ある場合) あり			
事業内容 市内に遺存する歴史的資産を適正に保存・活用することで、歴史的資産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図れるように整備する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 市指定文化財の指定	H28年度 市指定文化財の登録	H29年度 市指定文化財の登録	H30年度 市指定文化財の登録	H31年度 市指定文化財の登録
予算額(千円)	280	290	690	870	
決算額(千円)	280	290	690		
執行率(%)	100.0	100.0	100.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果	市指定文化財は目標値どおり1件新たに指定された。国登録文化財は3箇所登録となった。				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財 養命寺の木造十二神降立像1件(12体)の指定をした。大芳大工資料、旧三駕家資料、遊行寺の念仏踊りについて、指定にむけた調査を実施した。(継続調査) 国登録有形文化財 旧東海道藤沢宿内の旧石曾根商店店舗兼主屋(1箇所)が登録された。 候補物件の調査 鶴沼海岸に所在する尾日向家住宅洋館・和館(1箇所1件)と旧東海道藤沢宿街なみみ継承地区内の大館に所在する(仮称)旧鈴木義店庄舗兼主屋(1箇所)、有田家住宅、龍口寺等の登録へ向けた調査を実施した。 江の島沿いの歴史的建造物の所在調査を実施した。 					
<p>評価の理由</p> <p>市指定は目標値どおり1件指定できた。国登録文化財は、目標値を上回る3件の登録ができた。</p> <p>今後の方向</p> <p>市指定文化財 その他の指定候補物件の調査のための予算要求 国登録文化財 街なみ継承地区については、引き続き街なみ景観課と連携しながら優先的に進める。 江の島沿いの建造物についての調査を進める。</p>					
<p>課題・問題点</p> <p>国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。</p>					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 522	事業名 文化財保護事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事業目的 ●歴史的文化遺産の後世への継承と地域文化財の活用を推進する。 ●郷土愛と豊かな心を育てる。		変更(ある場合) 変更(ある場合)						
事業内容 文化財の調査・研究・保存・管理、普及・活用及び埋蔵文化財の調査等を実施する。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
	●遺跡調査速報展の開催(H29は無し) ●保存管理奨励交付金の交付 ●修理等補助金の交付 ●文化財説明板の設置							
	実施 2,370 3,613 2,304 3,521 97.2 97.5							
予算額(千円)	2,370	3,613	3,623	4,283				
決算額(千円)	2,304	3,521	3,492					
執行率(%)	97.2	97.5	96.4					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	●保存管理奨励交付金の交付 1,634,000円 ●修理等補助金の交付 1,486,800円 ●文化財説明板の設置 2箇所		H29年度の 総合評価		評価	次年度 継続		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		●保存管理奨励交付金の交付 1,634,000円交付した。 41管理業者74件の指定文化財に対し、1,634,000円交付した。 ●修理等補助金の交付 養命寺の木造日光菩薩立像に対し、1,486,800円交付した。 ●文化財説明板の設置(370,440円) 花應院の「石像圓廣大王像」「小栗判官と照手姫・縁起の寺」、神光寺の「神光寺横穴古墳群」の文化財説明板を修繕した。						
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		●ほぼ計画通りに事業を行うことができた。 ●文化財保護に関して、継続的に取り組んでいく。						
H29年度の 総合評価		H29年度の 総合評価		評価		次年度		
F		B		B		継続		
H29年度の 総合評価		H30年度事業計画 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(養命寺 木造十二神将立像)の管理者に追加で交付する。 ●修理等補助金については、養命寺 木造月光菩薩立像 鶴沼皇大神宮の人形山車(宮之前町、徳度町、菊田町)と辻堂諏訪神社人形山車(東町)の修理に交付する。 ●文化財説明板は養命寺の木造日光菩薩立像を新たに設置する。						
課題・問題点		●文化財説明板の設置については、既存の説明板の修繕を優先して行うことがあり、新たに指定を受けたもの対応ができていないケースがある。 ●修理等補助金については、予測できない修繕が生じることが多く、年度内の速やかな対応が難しいケースがある。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 523	事業名 広域連携展示事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
事業目的 広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用による幅広い公開活用事業の展開を図り、それにより市民へ多様な公開を行う。		変更(ある場合) 変更(ある場合)							
事業内容 茅ヶ崎市美術館を利用した共同作業による展示会を、広域文化活動部会事業に位置づけ開催する。									
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
	●合同美術展実施 廃止 (515文化芸術活動 広域ネットワーク事業の 中に統合された)								
	入場者数 3,000人								
予算額(千円)	1,124	0	0	0					
決算額(千円)	0	0	0						
執行率(%)	0.0	0	0						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	H29年度の 総合評価		H29年度の 総合評価		評価		次年度		
F		F		F		F			
H29年度の 総合評価		H30年度事業計画 ●文化財保護に関して、継続的に取り組んでいく。							
課題・問題点		●文化財保護に関して、継続的に取り組んでいく。							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	郷土歴史課
524	文化財収蔵庫整備事業	文化財	文化財	生涯学習部	郷土歴史課
事業目的 文化財収蔵庫の集約化と適正な文化財の収集・整理・保管・活用					
事業内容 市内各所に分散、老朽化した収蔵施設の集約化と文化財の適正な収集・整理・保管・活用ができる施設について検討を進める。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●文化財等資料整理・保管方法の検討 → 収蔵資料の整理と文化財収集方針の検討				
	●保管施設整備方針検討 実施				
予算額(千円)	0	0	0	0	
決算額(千円)	0	0	0	0	
執行率(%)	0	0	0	0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収蔵庫の集約を行うため、現有収蔵品の整理と併せて、今後の資料収集方針を策定し、保管施設の整備方針の検討を進めた。 H29年度進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収蔵庫の集約を行うため、現有収蔵品の整理と併せて、今後の資料収集方針を策定し、保管施設の整備方針の検討を進めた。 				
予算額(千円)	119	221	100	101	
決算額(千円)	119	221	100	101	
執行率(%)	100.0	100.0	100.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> 所蔵フィルム(DVD)のDVD化 4本 上映会開催 2回 				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 所蔵フィルム(江の島の竜宮祭)関連フィルム作品3本及び「藤沢市市制30周年記録」をDVD化した。 図書館で「藤沢地名の会」と共催で地名映画会を開催した ふじさわ宿交流館において所蔵フィルムの上映会を行った 藤澤浮世絵館において、浮世絵館キネマ四季報と称し、映画会を行った。 					
今後の方向 所蔵フィルム(DVD)化を推進して保存を図るとともに、貸出や上映会による公開活用を進めていく。					
H30年度事業計画					
<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの検討内容をふまえ、新たな収蔵庫の規模、必要な機能等を具体的にしながら、整備方針、基本構想の策定に向けて進めていく。 					
課題・問題点 現在の収蔵庫が飽和状態にあるため、既存する収蔵品を整理するためには新たなスペースが必要となる。 新たな保管施設整備までの間、老朽化している収蔵庫の維持管理に対する経費が必要になっている。 膨大な量の収蔵品があるため、整理作業に係る人員の確保が難しい。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	郷土歴史課
525	映像資料保存公開事業	映像資料	映像資料	生涯学習部	郷土歴史課
事業目的 市民との協働によって映像記録の収集・公開を行い、市民の生涯学習の向上と歴史や民俗・文化の継承を図る。					
事業内容 現在保有する映像資料を劣化から守るため、新たなメディアに保存するなど整備を進め、将来の市民に映像資産を引き継ぐ。 フィルム(点検・清掃・修繕) フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成 市民との協働で上映会開催及び映像資料の調査・収集 記録映画等を制作して地域文化を継承					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●フィルム資料のDVD化・上映会開催				
	●実施				
予算額(千円)	119	221	100	101	
決算額(千円)	119	221	100	101	
執行率(%)	100.0	100.0	100.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<ul style="list-style-type: none"> 所蔵フィルム(DVD)のDVD化 4本 上映会開催 2回 				
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)					
<ul style="list-style-type: none"> 所蔵フィルム(江の島の竜宮祭)関連フィルム作品3本及び「藤沢市市制30周年記録」をDVD化した。 図書館で「藤沢地名の会」と共催で地名映画会を開催した ふじさわ宿交流館において所蔵フィルムの上映会を行った 藤澤浮世絵館において、浮世絵館キネマ四季報と称し、映画会を行った。 					
今後の方向 所蔵フィルム(DVD)化を推進して保存を図るとともに、貸出や上映会による公開活用を進めていく。					
H30年度事業計画					
<ul style="list-style-type: none"> 保存フィルム1本のDVD化を実施。 公開活用の手法を検討、実施していく。 					
課題・問題点 フィルム(DVD)化にあたり、将来に残すものとして、映像の品質が十分でばない。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 526	事業名 歴史の建造物維持活用事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 郷土の歴史、文化遺産として歴史の建造物を維持、保存することも、事業名を変更(H28)に、公開、活用することで文化の向上を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 ・旧三鶯邸(石衛門家住宅等、歴史の建造物の維持、保存) ・古民家を活用した事業の実施					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●旧三鶯邸の公開 ●古民家を利用した事業 実施	→	→	→	→
予算額(千円)	4,482	4,482	4,482	4,643	
決算額(千円)	4,191	4,195	4,471		
執行率(%)	93.5	93.6	99.8		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	旧三鶯邸の公開 1,414人 古民家を利用した事業 7回				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・旧三鶯邸(藤沢市羽鳥)の公開を、明治地区郷土資料室に委託して、週2回(10時～15時)実施した。来館者 1,414人 ・古民家を活用した事業として、旧三鶯邸で和楽器演奏会を1回、展示会を2回、大磯町との連携関連事業として紹介ハネル展(1回)を開催。 ・旧小池邸(藤沢市川名)で紙芝居を2回、総合市民図書館と協働で昔話を1回開催した。					
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・市民ギャラリー常設展示室展示会「書く・描く・史か」が展「他、4回の展示を開催した。 ・ふじさわ宿交流館郷土資料展示室において、「旧藤沢地区の暮らしのひとこま」として新たな展示を行った。 ・年中行事ミニ展示(新林公園等)：「こいのぼりと室内飾り」「おひなさま」を実施した。 ・小学生のための郷土資料講座 32校93クラス実施した。 ・浮世絵館ホームページと連携した「みゆネットふじさわ」のコンテンツを充実させた。 ・浮世絵館ホームページ及びみゆネットふじさわのリニューアルに向けて、公募型プロポーザルにより業者の選定を進めた。					
評価の理由 ・H29新規事業として大磯町との連携関連事業を開始した。 ・旧三鶯邸の展示会が好評で多くの方に旧三鶯邸と展示を見ていただくことができた。 今後の方向 ・引き続き、旧三鶯邸を中心に歴史的建造物の維持、活用を図る。					
H30年度事業計画 ・旧三鶯邸の公開(週2日、10時～15時) ・旧三鶯邸 旧小池邸を活用した事業の実施。 ・大磯町連携関連事業					
課題・問題点 ・歴史の建造物の公開、活用については、所有者の意向や修繕等にかかる経費、地元意向等、慎重に検討を進める必要がある。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 527	事業名 歴史資料公開活用事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 展示会開催等により、地域の歴史・文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を促す。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 地域施設における展示事業実施、学校等における郷土資料講座の実施、電子博物館の整備等、公開活用事業の充実を図る。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●歴史資料公開活用事業の実施 展示会開催延日数 300日	300日	300日	300日	300日
予算額(千円)	3,707	3,658	3,660	5,467	
決算額(千円)	3,231	3,625	3,345		
執行率(%)	87.2	99.1	91.4		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	展示会開催延日数(274日)				
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・市民ギャラリー常設展示室展示会「書く・描く・史か」が展「他、4回の展示を開催した。 ・ふじさわ宿交流館郷土資料展示室において、「旧藤沢地区の暮らしのひとこま」として新たな展示を行った。 ・年中行事ミニ展示(新林公園等)：「こいのぼりと室内飾り」「おひなさま」を実施した。 ・小学生のための郷土資料講座 32校93クラス実施した。 ・浮世絵館ホームページと連携した「みゆネットふじさわ」のコンテンツを充実させた。 ・浮世絵館ホームページ及びみゆネットふじさわのリニューアルに向けて、公募型プロポーザルにより業者の選定を進めた。					
評価の理由 ・常設展示室以外での展示活動に加え、ふじさわ宿交流館での新たな展示展開や、浮世絵館ホームページ及びみゆネットふじさわのリニューアルに向けた取り組みを進めたため。 今後の方向 ・引き続き公開活用事業の充実にも努める。 ・浮世絵館ホームページ及びみゆネットふじさわのリニューアルを進めていく中でコンテンツの充実を図る。 ・ふじさわ宿交流館においては、地域との連携を図る中で新たな展示を進めていく。					
H30年度事業計画 ・市民ギャラリー常設展示室展示会の開催 ・ふじさわ宿交流館郷土資料展示室での会場関連展示の実施 ・地域(図書館等)における展示会の開催 ・小学生のための郷土資料講座「考古」「民俗」の実施 ・年中行事ミニ展示(新林公園)の開催 ・浮世絵館ホームページ及びみゆネットのリニューアルによるコンテンツの充実					
課題・問題点 多くの市民に見ていただけるようさらなる周知を進める必要がある。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	生涯学習部				
528	ふじさわ宿交流館の運営事業	担当課	郷土歴史課				
変更(ある場合)							
<p>旧東海道藤沢宿(仮称)ふじさわ宿交流館を整備し、他の様々な取組と併せて地域の活性化に繋がる活用を図る。</p> <p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学ぶ、休憩や交流の場としても活用できる施設として(仮称)ふじさわ宿交流館を整備する。 藤沢宿の歴史・文化・文化・なわいの紹介 伝統芸能の発表の場の提供 地域の活性化のための事業実施 <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 新築工事 開館利用者数 25,000人 							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
●(仮称)ふじさわ宿交流館の整備・運営							
新築工事							
利用者数		25,000人	26,000人	26,000人	26,000人	26,000人	
予算額(千円)		214,457	31,049	30,380	30,628		
決算額(千円)		154,860	30,841	30,380			
執行率(%)		72.2	99.3	100.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		利用者数32,550人、多目的ホール事業実施数 延べ159日		H29年度の総合評価	評価	次年度	
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と年度協定締結 市民団体とのまちづくりパートナーシップ協働事業実施 ふじさわ宿交流館運営協議会の実施 伝統芸能等各種イベントの実施 箱根駅伝応援イベントの実施 藤沢宿無料ガイドの実施 		<ul style="list-style-type: none"> 開館から、積極的な周知活動を進める中で、様々な事業を実施した成果もあり、目標の利用者数を上回ったため 		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度も引き続き指定管理者である藤沢市観光協会の運営を行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域ににぎわいの創出を目指す。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年度事業計画 運営協議会の開催 伝統芸能等各種イベントの実施 藤沢宿のPR 市民団体との協働事業の実施 	
課題・問題点							
<ul style="list-style-type: none"> ふじさわ宿交流館を通じて、どのように地域の活性化とにぎわいの創出に繋げていくかを、また、地域との連携をどのように深めていくかを指定管理者、地域住民、商業関係者等と連携しながら検討・実践していく。 							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	生涯学習部				
529	藤澤浮世絵館の運営事業	担当課	郷土歴史課				
変更(ある場合)							
<p>これまでに収集してきた浮世絵館を中心とした郷土資料を市民をはじめ多くの人に見ていただく場を提供することにより、郷土の歴史・文化についての関心を喚起し、郷土愛あふれる藤沢の実現に資する。</p> <p>事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が集い文化の継承に繋がる生涯学習の場として、浮世絵類の展示を中心とした(仮称)藤澤浮世絵館を整備する。 東海道、藤沢宿、江の島など所蔵する浮世絵の特色を活かした展示 市民等が気軽に訪れ、学び、憩えるスペースの設置 地図や写真などのデジタル資料も駆使した地域の歴史の紹介 <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置工事 開館利用者数 10,000人 							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
●(仮称)藤澤浮世絵館の整備・運営							
設置工事							
利用者数		20,000人	20,000人	20,500人	21,000人		
予算額(千円)		168,000	62,866	60,787	64,233		
決算額(千円)		160,651	59,828	59,088			
執行率(%)		95.6	95.1	97.2			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		来館者数は約27,500人		H29年度の総合評価	評価	次年度	
H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)		<ul style="list-style-type: none"> 運営体制 藤澤浮世絵館運営委員会を2回開催(2017年6月、2018年1月開催) 開館1周年記念事業 公益社団法人川崎・砂子の里資料館コレクション 魅惑の世界「江の島と名品浮世絵展」開催 記念式典の開催 記念イベントの開催 講演会「魅惑の浮世絵ワールドへようこそ」神奈川の浮世絵「開ワーケーション」プロの職人による浮世絵版画作り実演&体験 		<ul style="list-style-type: none"> 展示・関連事業 年度期間中、8回の展示を開催した。 講座やワーケーション等、関連事業を実施した。 		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者数が目標値を上回ったため 東京2020大会の開催を契機とした国内外に向けたPR 教育機関との連携による郷土の歴史文化の啓発、推進 関連団体との連携や企画による集客及びPR <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年度事業計画 平成30年8月に松本市美術館において「江の島浮世絵展」の開催 展示及びワーケーション、ミニ講座等の事業を開催 	
課題・問題点							
<ul style="list-style-type: none"> 様々なツールを使ってPRを拡大していく必要があること 地域や学校、関連団体等との連携を深めていくこと 							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	景観資源推進事業	担当部	計画建築部
5210	景観資源推進事業	景観資源推進事業	担当課	街なみ景観課
事業目的		変更(ある場合)		
街なみ百年条例に基づき歴史的・文化的な資産の保全、継承と景観まちづくりの推進				
事業内容				
<ul style="list-style-type: none"> 旧東海道藤沢宿周辺を街なみ継承地区に指定し、歴史・文化を大切に魅力ある街なみの形成を図る。 良質な街なみの形成に向け、街なみ景観フォーラム等を開催し、市民が主体となる景観まちづくりにつなげる。 				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建築物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) 				
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <p>補助事業実施 ● 市民主体の景観まちづくりへの意識啓発</p> <p>街なみ景観フォーラム等の実施</p>				
予算額(千円)	7,550	4,079	2,579	
決算額(千円)	2,295	2,063		
執行率(%)	25.9	50.6		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		H29年度の総合評価		次年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建築物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) 1,298,000円の補助執行 		C		継続
<p>H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建築物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ修景等に関する補助事業) 補助事業実施 ※蔵3棟 外観保全工事(補助率1/2、上限500万円) ● 市民主体の景観まちづくりへの意識啓発 街なみ景観フォーラム等を開催 参加者合計1,487人 <ul style="list-style-type: none"> *「アートと地域文化 首都圏近郊の事例」39人 *「第21回ふじさわこどもまちづくり会議」108人 *「藤の旧藤沢宿をあるく」16人 *「藤沢とその周辺景観70をあるく」全12回 1,324人 				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 補助額の執行率は低いながらも、補助の活用により維持・保全を行った棟数は年間3棟程度と安定した成果を挙げている。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建築物を1棟でも多く保全し活用できるよう、所有者等に補助事業の活用意向について改めてヒアリングを行うとともに、他課による事業との関連性を勘案し、事業の方向性を検討する必要がある。 				
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H27年度から引き続き補助事業を予定している。また、景観まちづくりへの意識啓発として、「まちあるき」や「フォーラム」等の開催を予定している。 				
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建築物の維持・保全については、所有者が抱える事情により事業計画が立たず、計画的な執行が難しい。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
611	健康づくり推進事業	健康づくり推進事業	担当課	健康増進課
事業目的		変更(ある場合)		
市民が生涯にわたり生活習慣病の予防・改善及び健康・体力の維持・増進を図り、日常生活で適切な生活習慣が身につくよう支援する。				
事業内容				
積極的な健康づくりを行うために、市民を対象に健康度・体力度チェックを経て健康づくりトレーニングを実施する。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康度・体力度チェック及び健康づくりトレーニング 				
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <p>実施</p>				
予算額(千円)	3,458	3,458	2,773	
決算額(千円)	2,263	2,079		
執行率(%)	65.4	60.1		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果		H29年度の総合評価		次年度
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康度 34人 ● 体力度 546人 ● トレーニング 25,604人 		B		継続
<p>H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康度・体力度・トレーニング利用状況(3月末現在) <ul style="list-style-type: none"> *健康度 34人(実・延) *体力度 546人(実・延) *トレーニング 806人(実) 25,604人(延) <p>生活習慣病予防及び重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として、健康度チェック、体力度チェック、トレーニングを実施し、参加者の健康状態に合わせた運動習慣の改善を図った。</p>				
<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業の利用者数・参加者数増加には至っていないが、事業変更に伴う減であり、新規参加者は前年同様となっているため。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本事業については、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする事業として、より必要の人に情報提供ができるよう、関係機関と連携を図りながら周知を行っていく。 				
<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H30年度は、糖尿病をはじめとした生活習慣病予防及び重症化予防のために生活習慣改善が必要とされる方が、事業を有効的に活用できるよう、医師会をはじめとした関係機関等と連携を図りながら事業を実施する。 				
<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● H27年度から生活習慣病予防・重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として実施し、実施しているが、利用者が増えない現状がある。必要な対象者が活用できるように、医師会をはじめとした関係機関等との連携を図りながら周知を行い、広く市民の活用を促進する必要がある。 				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	事業内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
621	子どもの体力向上対策事業	教育部・生涯学習部	教育指導課・スポーツ推進課	小中学生の体力向上のための教育プログラムを研究・実践する。					
	事業目的	変更(ある場合)							
	事業内容	<p>(教育指導課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立小学校5年生と中学校2年生を対象に「体力・運動能力テスト」を実施し、その結果を基に、子どもの体力を分析して、子どもの体力向上のための方法を検討する。 (スポーツ推進課) <ul style="list-style-type: none"> 新体力テスト実施に向けた測定員の養成と派遣。 							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→	→	→
	予算額(千円)	5,857	5,853	5,853	5,853	5,232			
	決算額(千円)	5,857	5,853	5,853					
	執行率(%)	100.0	100.0	100.0					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>体力・運動能力テストの実施校数54校</p> <p>H29年度の総合評価</p> <p>評価</p> <p>次年度</p> <p>継続</p>							
	H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>児童生徒の体力向上に向けた啓発を図ることができた。</p> <p>希望校には測定員を派遣し、市内54校で実施することができた。</p> <p>市内小学校31校から測定員の派遣依頼があり、4月21日から7月5日の期間で実施した。</p> <p>平成29年度より、全校で8種目を測定している。</p> <p>測定員意見交換会については、11月25日に行い、次年度に向けて検討を行った。</p> <p>3月15日に測定員を対象とした実測研修を行い、次年度に向けて細部の権設を行った。</p>							
	H30年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>市内54校で体力・運動能力テストを実施。</p> <p>学校との日程調整を含め、事業目的に沿った事業展開を実施できた。</p> <p>国や県の動向を踏まえながら検討していく。</p> <p>全種目・全校を対象として、継続実行する。</p> <p>希望校には体カテス測定員を派遣。</p> <p>市内各学校の派遣要請受付</p> <p>市内各学校の派遣費等支払業務</p> <p>測定員への謝金・交通費等支払業務</p> <p>学校教諭に測定に関する研修会の実施および測定員派遣調整の方法に関するノウハウの伝達</p>							
	H30年度事業計画	<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内54小中学校で実施 希望校には体カテス測定員を派遣 体カテス測定員登録台帳の管理 市内各学校の派遣費等支払業務 測定員への謝金・交通費等支払業務 学校教諭に測定に関する研修会の実施および測定員派遣調整の方法に関するノウハウの伝達 							
	課題・問題点	<p>平成28年度から全校実施プラス抽出校となり、全種目を5年生対象となったため、派遣人員を増やす必要が生じた。</p> <p>文科省からの通達で7月までに全測定を終える必要があることや、学校行事等の関係で複数校が同一日に重複してしまい、測定員の確保・調整に苦慮する。</p>							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	事業内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
622	スポーツ施設整備事業	生涯学習部	スポーツ推進課	市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しみ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。					
	事業目的	変更(ある場合)							
	事業内容	<p>多様な市民ニーズに対応できる施設を整備する必要があり、安全で安心して利用できる施設はもとより、誰もが健康でいっしょに楽しめる生涯スポーツ環境の充実を図る。また、市内野球場・球技場が不足しているため、野球場・球技場の整備について早期に確保するよう努める。</p>							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	完了				
	予算額(千円)	69,793	157,968	208,594					
	決算額(千円)	69,793	138,973	204,442					
	執行率(%)	100.0	88.0	98.0					
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H29年度の総合評価</p> <p>評価</p> <p>次年度</p> <p>継続</p>							
	H29年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>天神スポーツ広場野球場新設工事(建築工事)を実施した。</p> <p>天神スポーツ広場野球場の整備が完了し、供用開始したことで野球場の充実に図られた。また、多目的広場も供用開始したことで、子どもたちの遊び場を確保することができた。</p> <p>市民がスポーツに親しむことができる環境を整備する。</p> <p>今後の方向</p>							
	H30年度事業計画	<p>H30年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置から30年以上経過し老朽化している八郎公園野球場スコアボードの改修(電光表示化)工事の実施。 							
	課題・問題点	<p>市内各スポーツ施設は、建物及び設備において老朽化が進んでおり、市民が安心して利用できるスポーツ施設として維持するため計画の修繕が必要。</p>							

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	スポーツ/バリアフリー事業	担当部	生涯学習部
623	スポーツ/バリアフリー事業	スポーツ/バリアフリー事業	担当課	スポーツ推進課
市民誰もが安全で安心してスポーツ/レクリエーション活動ができるよう、スポーツ環境の充実を図る。				
事業目的				
障がい者・高齢者を含む多くの市民が安全・安心して利用できるスポーツ/レクリエーション施設を整備する。				
事業内容				
H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度				
実施・検討 → → → → →				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画			
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度から平成23年度までの3年計画においてバリアフリー化を図り、現状の施設におけるバリアフリー化を推進した。 ・多目的トイレに点字テープを貼り、視覚障がい者が利用しやすいように対応した。 ・トレーニングルーム登録講座の受講にあたり、手話通訳を派遣した。 				
H29年度の取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果				
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画			
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> ・研修会を通して、スポーツ推進委員の知識が豊富になり知識の平準化が図られた。スポーツサポーターハンダ登録者を有効活用した。 ・市民の誰もが公共施設を安全で安心して利用できるように修繕時や改修工事などの整備時に「藤沢市公共建築ユニバーサルデザインマニュアル」に基づき整備する。 ・障がい者、高齢者のスポーツ活動が今後ますます活発になることから、バリアフリー化の修繕・改修が重要となる。 				
H30年度事業計画				
障害者差別解消法の趣旨に基づき、バリアフリー化するにあたり、障がい福祉課等関連課と連絡調整を行う。				
課題・問題点				
スポーツ施設の老朽化や経年劣化が進む中で、今後は大規模改修工事を行う。また、公共施設再整備プランにおける事業を実施する中で、バリアフリー化された整備を行う必要がある。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	スポーツ/ノーマライゼーション事業	担当部	生涯学習部
624	スポーツ/ノーマライゼーション事業	スポーツ/ノーマライゼーション事業	担当課	スポーツ推進課
スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利という理念を踏まえ、障がいの有無にかかわらず、スポーツ活動に参加できる機会を確保する。				
事業目的				
障がい者・障害者が共にスポーツを楽しむ観点から、積極的なスポーツのノーマライゼーションを推進する。また、活動の支えとなる指導者・ボランティアの育成に取り組む。				
事業内容				
H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度				
実施・検討 → → → → →				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画 H29年度の取組計画			
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なバラスポーツを体験できるふじさわバラスポーツフェスタ2017を企画した。(雨天により中止)また、障がい者スポーツの競技大会として「第1回ふじさわポツチヤ競技大会」を開催した。これらの事業を通じてスポーツのノーマライゼーションの推進が図れた。 ・ふれあいスポーツ交流会 障がい者プール開放等誰もが参加しやすいスポーツ大会や、イベントを継続して企画実施した。 				
H30年度事業計画				
継続して、スポーツのノーマライゼーションを推進する事業を実施していく。				
障がい者スポーツ団体組織等と連携を図り様々な活動を支援する障がい者スポーツの組織化へ向けて準備を進める。				
課題・問題点				
障がい者団体等のニーズに寄り添った形で障がい者スポーツ団体の組織化を目指す。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 631	事業名 生涯スポーツ活動推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 スポーツ推進課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事業目的 健康寿命の延伸など、市民の健康意識の高まる中、子どもから高齢者まで気軽に利用、参加できるスポーツ・レクリエーションの機会の提供を、さらに充実させる。		変更(ある場合)						
事業内容 「いつまでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ活動に頼らざることを目指す。市民の健康意識の高まりを的確にとらえ、多くの市民が多様なスポーツを楽しむことができる事業を企画し、提供する。 ・スポーツや健康に関する意識の向上を図る。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		実施・検討		→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	1,280	227	0				
決算額(千円)	0	1,280	0					
執行率(%)	0.0	100.0	0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	・オープン教室参加人数 19,794人 ・開放参加人数 46,852人		H29年度の 総合評価		評価		次年度 継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・気軽に参加できる事前申し込み不要のオープン教室や体育館の個人開放をすることで、スポーツ活動の場の提供をすることができた。 オープン教室 ・秩父宮記念体育館 11種類 352回 11,178人 ・秋葉台文化体育館 5種類 189回 7,793人 ・石名坂温水プール 1種類 37回 823人 開放事業 ・秩父宮記念体育館 10種目 1,091回 21,833人 ・秋葉台文化体育館 12種類 1,277回 25,019人		H29年度の 総合評価		B		継続		
評価の理由 ・継続して気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供する。		評価の理由 ・市民がスポーツに頼らざる機会を提供し、自発的なスポーツ活動の推進ができた。						
今後の方向 ・継続して気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供する。		今後の方向 ・オープン教室の実施 ・開放事業の実施						
課題・問題点 ・利用者マナー向上の意識啓発 ・備品の老朽化		課題・問題点 H30年度事業計画 ・オープン教室の実施 ・開放事業の実施						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 632	事業名 スポーツサポーター事業	担当部 生涯学習部	担当課 スポーツ推進課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
事業目的 地域スポーツ指導者及びスポーツボランティアを養成し、活用することで、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。		変更(ある場合)						
事業内容 地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の充実とスポーツボランティアの養成、地域に滞在する指導者の発掘を行い、市民のスポーツ・レクリエーション活動が安全かつ効果的に推進するよう取り組む。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		実施・検討		→	→	→	→	→
予算額(千円)	400	300	300	300				
決算額(千円)	400	300	300					
執行率(%)	100.0	100.0	100.0					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	スポーツサポーター登録者数 202人		H29年度の 総合評価		評価		次年度 継続	
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・スポーツ推進委員協議会による事業を年間6回開催し、地域指導者の育成をした。 1 ソフトボール大会 場所 秩父宮記念体育館 参加者 48人 2 3市(大和市・横須賀市・藤沢市)交流会 場所 秩父宮記念体育館 参加者 42人 3 3市(小田原市・平塚市・藤沢市)交流会 場所 平塚市立神田公民館 参加者 10人 4 ファミリーバトミントン大会 場所 秋葉台文化体育館 参加者 81人 5 ニュースポーツ研修会研修会 場所 秩父宮記念体育館 参加者 115人 ・スポーツボランティアであるスポーツサポーター登録者(無償)を活用し、有効に事業を展開した。		H29年度の 総合評価		B		継続		
評価の理由 ・研修会を通して、スポーツサポーターバンク登録者を有効活用した。 健康・体力づくりを効果的に推進するため、地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の質向上を図る研修を充実させるとともに、引き続き地域に滞在するスポーツボランティアの発掘を行う。		評価の理由 ・研修会を通して、スポーツサポーターバンク登録者を有効活用した。						
今後の方向 健康・体力づくりを効果的に推進するため、地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の質向上を図る研修を充実させるとともに、引き続き地域に滞在するスポーツボランティアの発掘を行う。		今後の方向 健康・体力づくりを効果的に推進するため、地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の質向上を図る研修を充実させるとともに、引き続き地域に滞在するスポーツボランティアの発掘を行う。						
課題・問題点 ・スポーツ推進委員協議会による年間5回の研修会を実施し、地域スポーツ指導者の養成をする。 ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し、スポーツ推進に努める。		課題・問題点 ・スポーツサポーターバンク登録者は3年間活動実績がない場合自動的に登録抹消となるため、抹消者が増加する傾向にある。						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 633	事業名 競技スポーツ推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 スポーツ推進課		
事業目的 競技スポーツ団体との連携・協働を促進するとともに、ジュニア期からの指導体制を充実させる。また、トップアスリートを活用するなど、競技スポーツ全般の推進を図る。		変更(ある場合)			
事業内容 東京オリンピック・パラリンピックなどを好機と捉え、競技力の向上を目指し、市内競技選手の支援を行うとともに、各団体との連携と協働を進め、長期的な展望に立った競技スポーツ指導体制の確立に取り組む。スポーツへの動機付けや、関心を高める方策としてトップアスリートの活用を検討、実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施・検討	→	→	→	→	→
予算額(千円)	2,000	2,000	2,000	2,000	
決算額(千円)	1,035	1,380	1,540		
執行率(%)	51.8	69.0	77.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	・全国大会等への出場者数 215人		H29年度の 総合評価		次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図れた。 ※ 社会体育の部(全国大会) 180人 ※ 社会体育の部(国際大会) 35人			・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、生涯スポーツの推進と競技スポーツの発展につながった。 今後の方向 ・賞賜金制度をより広く市民が利用できるよう、周知方法について検討するとともに、制度・支援のあり方について検討する。		
課題・問題点 ・賞賜金制度を広く市民が利用できるよう、周知方法について検討する。			H30年度事業計画 ・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付を引き続き行う。 ・関連団体と連携し、国際大会出場選手等の情報収集を行う。		

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 634	事業名 地域特性活性化推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 スポーツ推進課		
事業目的 江の島や湘南海岸など本市の地域特性を活かし、ビーチバレーボールや市民マラソン大会などのスポーツイベントを開催し、複数の自治体や関係機関と連携・協働した取組や仕組みづくりを構築し、地域特性を活かしたスポーツ活動の推進を行う。		変更(ある場合)			
事業内容 各種ビーチバレーボール大会(ビーチバレージャパン・県中学及び全国中学ビーチバレーボール大会)を開催し、ビーチバレー発祥の地というブランドを広く市内外に発信し、観るスポーツの提供やビーチバレーボールの普及拡大に取り組む。 ・江の島を主会場として海岸線をコースとした市民マラソン大会を開催し、多くの市民が参加できような事業展開を取り入れ、魅力ある冬季のスポーツイベントとして取り組む。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	11,000	12,000	11,000	11,000	
決算額(千円)	10,822	12,000	11,000		
執行率(%)	98.4	100.0	100		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末の成果	(参加チーム数) ビーチバレージャパン64チーム、県中学生大会80チーム、全国中学生大会69チーム		H29年度の 総合評価		次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
・第31回ビーチバレージャパン 開催日：2017年8月11日～13日 参加チーム数：64チーム(男子56チーム・女子8チーム) ・第11回神奈川県中学生ビーチバレー大会 開催日：2017年8月1日 参加チーム数：86チーム(男子29チーム・女子57チーム) ・第8回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会 開催日：2017年8月13日～14日 参加チーム数：102チーム(男子47チーム・女子55チーム)			・湘南藤沢の地域特性を活かしたスポーツ活動を推進するため、各種ビーチバレー大会を実施 ・全国中学生ビーチバレー大会について、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認を受けている。 今後の方向 ・全国中学生ビーチバレーについては、全国から広く参加していただくため、都道府県も教委委員会及びハルポール協会への継続した周知活動を行う。 ・全国中学生ビーチバレーにおいては、大会を継続して開催することにより、「ビーチバレー国内発祥の地」として全国に中学生のビーチバレーの普及推進を図るとともに、ビーチバレー教室を開催し、技術向上と東京2020大会のに向けて気運を高める。		
課題・問題点 ・ビーチバレー日本一を決定するビーチバレージャパンではあるが、観客動員数が伸び悩んでおり、その打開策を検討している。			H30年度事業計画 ・第32回ビーチバレージャパン 開催日 8月10日～12日 ・第12回神奈川県中学生ビーチバレー大会 開催日 7月31日 ・第9回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会 開催日 8月12日～13日		

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 711	事業名 多文化共生推進事業	担当部 企画政策部	担当課 人権男女共同平和課
事業目的 子どもたちを中心とした国際交流の場を提供し、外国人と日本人の子どもたちの交流や多文化への理解を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 地域で活動する日本語教室の先生や小学生等が、小中学生を対象とした交流会を企画して、子どもたちを中心に多文化交流を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 参加者数 100人	H28年度 MINTOMO交流会の開催	H29年度 →
予算額(千円)	100	100	100
決算額(千円)	100	100	100
執行率(%)	100.0	100.0	100.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の取組	参加者数 309人	H29年度の 総合評価	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> 「第87回MINTOMO交流会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> *12/23 10:00～15:00 湖南台公民館 *参加者309人(外国人市民48人、日本人市民等261人) *従事者57人(日本語教室スタッフ、大学生など) *スペイン語の歌、キウンダンス、よさこい、餅つき、工作、浮世絵すり体験等を行った。 地域の国際交流イベントとして事業が定着し、毎年事業を率しみに参加している方が増えてきたため。 <ul style="list-style-type: none"> *外国人市民と日本人市民が互いの文化を通して交流をすることができたため。 			
今後の方向 外国人市民と日本人市民との交流をより一層図るため、交流会の内容や周知方法を検討していく。			
H30年度事業計画 MINTOMO交流会実行委員会へ業務を委託し、「第98回MINTOMO交流会」を開催する。			
課題・問題点 多文化への理解を図るため、外国人市民参加者数が増えるよう、交流会の内容や周知方法を充実させる。			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 721	事業名 地産地消の充実事業	担当部 教育部	担当課 学校給食課
事業目的 「学校給食に安全・安心な給食食材を提供する。」 「児童・生徒と生産者との交流等を通じ、生産者の苦労や努力を知ること、食料の生産に関わる人々への感謝の心を育てる。」		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 学校給食に安全・安心な地元野菜・水産物などの給食食材の使用推進を図り地産地消を充実する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 藤沢産使用品目 33品目	H28年度 藤沢産使用品目及び使用量の拡大	H29年度 31品目
予算額(千円)	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0
執行率(%)	0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の取組	藤沢市内産農水産物 使用品目数 31品目 使用実績品目数 33品目	H29年度の 総合評価	次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			
<ul style="list-style-type: none"> *小中学校給食及び「地産地消推進モデル校」において、藤沢産食材の利用推進を図った。 *藤沢産使用品目の充実 <ul style="list-style-type: none"> 28年度 31品目 29年度 33品目 平成24年度以降、継続して年5回 藤沢産あいがも米、全校年2回使用した。 H29年度藤沢産新米、全校年5回 藤沢産あいがも米、全校年2回使用した。 「地産地消推進モデル校」の取り組みを含め、地産地消推進モデル校に向けて、生産者、市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地産地消に向けて検討する必要がある。 *供給可能な地産産物を生かせる料理や時期の検討が必要である。 			
今後の方向 「地産地消推進モデル校」の取り組みを含め、地産地消推進モデル校に向けて、生産者、市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地産地消に向けて検討する必要がある。			
H30年度事業計画 「地産地消推進モデル校」の活用			
課題・問題点 「野菜類を指定日に一定量確保することが難しい。」 「過去の納品実績から献立を立てるが、天候に左右され予定通りにいかない場合が多い。」 「地産地消推進モデル校」に関して、価格設定・発注納品方法・支払いシステム等、生産者との調整や、市場関係者との調整が課題となる。 「畑がある地域の学校には新たな活動を広げやすいが、南部地域等の学校では難しい。」			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 724(215・234・831)	事業名 学校・家庭・地域連携推進事業	担当部 教育部	担当課 教育総務課
事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 *「学校・家庭・地域連携推進会議」会長会「に業務委託を行い、中学校区を基本に市内に設置された15の地域協力者会議において、各地区の実情に応じた子どもたちの健やかな成長を支援する事業を実施する。 *PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 33,100人	H28年度 33,200人	H29年度 33,300人
予算額(千円)	5,574	5,574	5,349
執行率(%)	98.0	98.6	97.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	*「地域協力者会議」の参加者総数 31,888人 *PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施		
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) *「学校・家庭・地域連携推進会議」会長会「に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 *「会長会」の開催 年4回(5/9 8/24 11/14 2/13) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) *各地域事業総数 115事業 *各地域事業、会議等参加者数 31,888人 *地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合い、実施事業に活かした。 *藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。 *広報紙の発行 年3回(6月 12月 3月) *各校PTA活動状況調査の実施 *講演会の実施 「PTA活動って何? ~今の時代に合った活動を考えようませんか? ~」 *藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回 *地域の教育力向上を図る事業を実施 *ふじさわ教育フォーラムの開催 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3/3 13:30~16:00 藤沢市役所本庁舎5-1.5-2会議室			
評価の理由 *計画どおりに事業を行うことができた。			
今後の方向 *学校・家庭・地域が連携、協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 *様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わって、いることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知パンフレットを作成する。 *藤沢の子どもたちのためにつながる会とPTA育成支援につながる業務委託について協議をしていく。			
課題・問題点 H30年度事業計画 *学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 *藤沢の子どもたちのためにつながる会への委託事業の実施。 *藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース)			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 725	事業名 男女共同参画推進事業	担当部 企画政策部	担当課 人権男女共同参画課
事業目的 *政策、方針決定過程への男女共同参画の推進 *男女が平等に働くことができる労働環境の整備 *地域での男女共同参画の推進		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 女性にとっても男性にとっても、性別にとらわれないこと、社会のあらゆる分野の活動に参画できる機会の確保のため、すべての市民に対し、意識啓発と情報提供を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 女性参画比率 42%	H28年度 女性参画比率 42%	H29年度 女性参画比率 50%
予算額(千円)	8,592	4,642	3,985
決算額(千円)	7,269	3,715	3,348
執行率(%)	84.6	80.0	84.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	*各種意識啓発事業を実施した。 *平成29年4月1日時点で審議会等の女性参画に対するH29年度末の率は41.9%となり、前年度比で+0.3ポイントとなった。 *2017年4月1日現在の進捗状況(今年度の効果・成果) *情報紙「かがやけ地球」及びホームページに掲載し、市民周知を図った。また、多くの女性の参画を図るため、審議会等委員の選任時の事前協議の実施など徹底を図った。 *地域での男女共同参画の推進を図るため、13地区の各市庁センター→公民館長から推薦された各地区3人からなる「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動、地域講演会(地域防災と男女共同参画、69名)を行った。共に生きるフォーラムふじさわ(性とコミュニケーション)67名 2市1町講演会(世界の女性問題)101名 人権男女共同参画啓発セミナー(HIV)112名 男女共同参画に関する特定課題セミナー(ジェンダーと公的広報)81名が参加。 *DV相談窓口案内カード12,000枚の配布により、相談窓口の周知を図った。 *男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行、男女共同参画週間でのパネル展開催で各種情報提供を行った。		
評価の理由 *計画どおりに事業を実施し、意識啓発と情報提供を行った。			
今後の方向 *平成28年3月に策定した「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」に基づいて事業を行う。女性参画比率については、引き続き、審議会等委員の選任時の事前協議を実施する。			
H30年度事業計画 *男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行 *人権男女共同参画啓発セミナーの開催 *共に生きるフォーラムふじさわ2018の開催 *DV相談窓口案内カードの配布 *「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修会の開催や、各公民館まつり等での男女共同参画啓発活動の実施 *男女共同参画週間でのパネル展開催 *2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)による男女共同参画に向けた連携 *男女共同参画に関する市民意識調査の実施			
課題・問題点 *女性に対する暴力が様々な形で顕在化しているため、暴力防止の啓発活動について検討			

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部
811	学校安全対策事業(防災・防犯教育)			教育指導課
事業目的				変更(ある場合)
児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。				
事業内容				
*「児童生徒の自衛に立った防災教育」をテーマとした講演会等を実施し、防災を考える上で児童生徒に効果的な授業提案及び各学校の実情に応じた学校防災計画や避難訓練に対する助言を行う。				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●講演会の実施				
3校	3校	3校	3校	→
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	90	90	90	
決算額(千円)	90	90	90	
執行率(%)	100.0	100.0		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果			評価	
3校で実施し、児童・生徒、教職員が受講した。			H29年度の総合評価	次年度
			A	継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
*慶應大学大木聖子准教授による防災講演会を年間3回行った。 ①11月27日 藤ヶ岡中学校 ②12月13日 明治小学校 ③12月15日 大庭小学校				
*小学校においては、教室の環境下で、地震が発生した時に何が危険なのか具体を学ぶことができた。 *中学校においては、学校が避難施設になった非常時にいかに判断し、行動するかを学んだ。				
*津波浸水被害が想定される南部の学校での準備が一通り済んだことから、今後は、津波浸水の危険性が少ない北部においても、地域性に応じた防災教育を実施していく。				
今後の方向				
*防災講演会は防災研修会と名称を変更し、また実施していない学校から希望を募り、各学校の地域性にあった内容を検討し、児童生徒が自ら考えて行動できる防災教育を実施していく。				
課題・問題点				
H29年度より防災講演会は前半が授業、後半が講演会となったので、より具体的に学ぶために事前に写真や教材を準備するのに時間がかかった。				
H30年度事業計画				
*防災講演会は防災研修会と名称を変更し、また実施していない学校から希望を募り、各学校の地域性にあった内容を検討し、児童生徒が自ら考えて行動できる防災教育を実施していく。				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部
812(122)	教育文化センター研究研修事業			教育指導課
事業目的				変更(ある場合)
防災教育と人と自然とのかかわりを多面的にとらえ、他の教科・領域等との連携を図りながら、防災教育の充実を図る。				
事業内容				
防災教育を多面的にとらえ、様々な教科・領域等との連携を図り、専門的・技術的事項の調査研究並びに教育関係職員に対して研修講座等を企画・実施する。 (「防災と自然」研究部会の開催・研究報告書の発行、防災教育に関する研修講座の開催・防災教育情報の提供)				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●研究部会・研修講座の実施				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)				
月1回の前会開催 年1回の研修講座	年度末をもって閉会 → 研究部会 報告書作成発刊	→	→	年1回以上の研修講座
予算額(千円)	39,259	576	30	
決算額(千円)	38,706	452	30	
執行率(%)	98.6	78.5	100.0	
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果			評価	
研修講座1回			H29年度の総合評価	次年度
			B	継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
*研修講座1回 「自然の判断で命を守る防災教育」 講師：慶應義塾大学准教授 大木 聖子氏 ※H28年度末をもって、防災と自然研究部会は閉会。研究の成果は研修講座で発信。				
*教科とのかかわり「自然の中ででの防災の視点」「防災教育の実践」等、学校教育において防災教育を充実させるための視点を十分に盛り込んだ研究報告書を発刊した。				
今後の方向				
*研究の成果を市内各学校をはじめ他地域教育機関に向けて周知するとともに、市内各学校および教職員への研究報告書の配布を行う。 *研究部会の研究の成果を研修講座の中で受講者に向けて報告する。				
課題・問題点				
*3年間の研究を踏まえ、自然をよりよく理解することによって自然災害に列して身を守る判断力・行動力を育む防災教育の考え方を、広く周知する。				
H30年度事業計画				
*研修講座1回 「地域と学校をつなぐ防災教育」 講師：明治大学大学院特任教授 中林 一樹氏				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 821(323)	事業名 学校施設改築・大規模改修事業 (老朽化解消)	担当部 教育部	担当課 学校施設課	変更(ある場合)	
事業目的 学校の計画では、平成29年度から「改築または大規模改修事業着手6校」であったが、公共施設再整備プランにおいて2校のみ実施事業として位置づけられ、残りの4校については検討事業となったため。(H29)					
事業内容 *藤沢市学校施設再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づく施設の改築または大規模改修を実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施	H28年度 ●学校施設再整備計画の策定 ●耐力度調査の実施 21校	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	62,511	55,955	52,657	361,146	→
決算額(千円)	50,112	45,614	43,874		
執行率(%)	80.2	81.5	83.3		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	●小学校1校の全面改築基本構想、中学校1校の屋内運動場改築事業基本・実施設計を実施した。 H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・ 計画通り実施した。 ・ 鶴南小学校の全面改築基本構想を実施した。 ・ 六会中学校の屋内運動場改築事業基本・実施設計を実施した。 今後の方向 ・ 本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。				
H29年度の 総合評価			評価		
B			継続		
課題・問題点 ●改築または大規模改修事業着手 公共施設再整備プランにおいて、実施事業に位置づけられた2校について、平成29年度から事業着手となったが、今後とも計画に沿って事業を進めていくよう進捗状況を確認しながら、業務を執行していくことが必要である。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 822(338)	事業名 防災対策事業(津波対策)	担当部 教育部	担当課 学校施設課	変更(ある場合)	
事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。					
事業内容 湘洋中学校は、津波浸水梁から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を取容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を構築する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●校舎棟(津波避難施設) 実施設計	H28年度 建設	H29年度	H30年度	H31年度
予算額(千円)	595,445				
決算額(千円)	38,965	397,656			
執行率(%)	100.0	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) H29年度の 総合評価 E 評価の理由 今後の方向 H30年度事業計画 課題・問題点				

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
823	防災資機材等の整備事業	防災資機材等の整備					
<p>命を守る教育環境の整備のため、市立小・中・特別支援学校を南中部・中部・北部の三地区に分け、災害発生時における学校用飲料水の備蓄を行う。</p>							
<p>事業内容</p> <p>市内中部地区に市立小・中・特別支援学校がある市立小・中・特別支援学校に備蓄</p> <p>市内北部地区に市立小・中・特別支援学校がある市立小・中・特別支援学校に備蓄</p> <p>市内南部地区に市立小・中・特別支援学校がある市立小・中・特別支援学校に備蓄</p>							
予算額(千円)	1,828	872	0	0			
決算額(千円)	831	678	0	0			
執行率(%)	45.5	77.8	0.0	0.0			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<p>市内全地区市立小・中・特別支援学校に備蓄済みであり、保存期限内であることから、新規備蓄計画はない。</p>						
予算額(千円)	0						
決算額(千円)	0						
執行率(%)	0.0						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>市内全地区市立小・中・特別支援学校に災害時用の飲用水として、1人当たりペットボトル1本(500ml)×児童生徒分を備蓄済である。</p>						
評価	B						
評価の理由	<p>当初計画通り備蓄されている。</p>						
今後の方向	<p>既に備蓄したものにについても保存期限(5年)があるため、今後も計画的に飲用水の備蓄更新を実施していく。</p>						
課題・問題点	<p>H30年度事業計画</p> <p>市内全地区市立小・中・特別支援学校に備蓄済であり、保存期限内であることから、今年度の新規備蓄計画はない。</p> <p>次年度に市内南部地区にある市立小・中・特別支援学校の備蓄水を更新する必要があることから、防災安全部と調整を行う。</p>						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
824	通学路安全対策推進事業	通学路安全対策推進事業					
<p>小・中学校の通学路における交通安全の確保を図るため、学校・警察等との連携し市立小・中学校の通学路合同点検を行い、安全対策を実施する。</p>							
<p>事業内容</p> <p>学校による危険箇所の抽出</p> <p>合同点検の実施</p> <p>点検結果に基づく対策の検討、策定</p> <p>対策の実施</p>							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<p>実施</p>						
予算額(千円)	0						
決算額(千円)	0						
執行率(%)	0.0						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH29年度末の成果	<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>藤沢市通学路交通安全プログラムに基づき報告のあった危険箇所について、関係機関と連携して合同点検を実施し、安全対策を実施した。</p> <p>報告危険箇所数 253箇所</p> <p>合同点検実施箇所数 88箇所</p> <p>対策要望件数 126件(うち市の対策分 81件)</p>						
評価	B						
評価の理由	<p>小・中学校から報告された危険箇所について、学校、教育委員会、道路管理者、警察等関係機関が連携し、合同点検と安全対策の検討を行い、安全対策を実施し、通学路の安全確保が図られた。</p>						
今後の方向	<p>今後とも、小・中学校の通学路の安全を確保するため、関係機関と連携し、合同点検を行い、通学路の安全対策を実施する。</p> <p>過去の継続協議案件について、学校及び保護者と話し合いの場を設け、通学路の変更についての検討を支援する。</p>						
課題・問題点	<p>H30年度事業計画</p> <p>小・中学校から通学路の危険箇所の報告を受け、合同点検を行い、点検結果に基づく対策を策定し、安全対策を実施する。</p> <p>過去の継続協議案件について、引き続き学校に働きかけ、通学路の変更についての検討を支援する。</p>						

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 825(832)	事業名 学校防犯対策強化事業 (子ども110番・安全マップ)	担当部 市民生活部・教育部	担当課 防犯交通安全課・教育指導課	変更(ある場合)	
子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する					
事業目的					
事業内容					
・子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、屋内在宅されているお宅やお店に子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを推進し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●地域安全マップ指導員養成講座の開催					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
●学校における地域安全マップ作りの推進	→	→	→	→	→
実施延べ校数	17校	19校			
予算額(千円)	922	842	863		
決算額(千円)	789	504	784		
	85.6	56.6	93.1		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	●地域安全マップ指導員養成講座を開催し、子ども110番の看板の掲示を依頼した。 ●学校における地域安全マップ作りを2校行った。				評価 B 次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
●子ども110番事業について ・子ども110番 全体提示件数5,158件 新規提示件数141件 比較的在宅していることが多い民家・事業所・商店等に子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所としてプレート掲示を依頼している。また、平成28年度より犯罪抑止効果が期待できるため、市が実施するこみ収集車等にも掲示を行っている。					
●地域安全マップ指導員養成講座について ・今年度は御所見小学校、天神小学校で地域安全マップ指導員養成講座(学校担当者)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。 ・各地区防犯協会を対象に、サポートスタッフの充実を図るため、地域安全マップ指導員養成講座を行った。					
●学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は御所見小学校、天神小学校で行った。 ・子どもたちの危機回避能力を向上させることを目的に、サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き、「地域安全マップ」を自ら作製した。					
●地域安全マップサポートスタッフについて ・原簿数が多い学校で開催する場合、スタッフの数を揃えることが困難である。 ・年間指導計画を作成した後に、地域安全マップ作りの希望校が決定するため、開催時期の調整等に困難が生じる。					
課題・問題点					
・子ども110番の看板の掲示を依頼することにも、H30年度から3年間で現在の提示協力者対象に古くなったプレートの更新及び継続の意思確認を行う。なお、H30年度は約1,500件を対象に行つた。 ・8月2日(木)地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者(小))の開催。 ・学校における地域安全マップ作りを行う。 ・9月7日(金)学校安全担当者会(中)の開催。					
H30年度事業計画					
・子ども110番の看板の掲示を依頼することにも、H30年度から3年間で現在の提示協力者対象に古くなったプレートの更新及び継続の意思確認を行う。なお、H30年度は約1,500件を対象に行つた。 ・8月2日(木)地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者(小))の開催。 ・学校における地域安全マップ作りを行う。 ・9月7日(金)学校安全担当者会(中)の開催。					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 831(215・234・724)	事業名 学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動)	担当部 教育部	担当課 教育総務課	変更(ある場合)	
子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。					
事業目的					
事業内容					
中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、防災・防犯活動(地域環境整備事業)や講演会・学習会等の地域の実情に応じた事業を実施する。					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会・業務委託の実施)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	参加者総数 33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人
予算額(千円)	5,574	5,574	5,574	5,349	
決算額(千円)	5,460	5,494	5,406		
執行率(%)	98.0	98.6	97.0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH29年度末 の成果	・「地域協力者会議」の参加者総数 31,888人 H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/9、8/24、11/14、2/13) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) ・各地域事業 115事業 ・各地域事業 会議等参加者数 31,888人 ・「一斉ハットロール」「子ども安全ネットワーク」「学校安全ネットワーク会議」「子どももみまもりネットワーク会議」「地域ハットロール」「安全・安心のほり旗」等の活動を実施した。				評価 B 次年度 継続
H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					
・学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/9、8/24、11/14、2/13) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) ・各地域事業 115事業 ・各地域事業 会議等参加者数 31,888人 ・「一斉ハットロール」「子ども安全ネットワーク」「学校安全ネットワーク会議」「子どももみまもりネットワーク会議」「地域ハットロール」「安全・安心のほり旗」等の活動を実施した。					
今後の方向 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ等で発信していくとともに、会長会で周知・イベントレットを作成する。					
H30年度事業計画					
・学校・家庭・地域連携推進委員会(会長会)に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。					
課題・問題点					
・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動					

平成29年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
832(825)	学校防犯対策強化事業 (こども110番・安全マップ)	子ども110番・安全マップの取組を推進する					
<p>子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、屋内外に宅されているお宅やお店にこども110番の看板の掲示を依頼する。</p> <p>・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。</p> <p>・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。</p>							
<p>事業内容</p> <p>●地域安全マップ指導員養成講座の開催</p>							
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>							
<p>実施</p> <p>●学校における地域安全マップ作りの推進</p>							
<p>実施延べ校数</p>			15校	17校	19校		
<p>予算額(千円)</p>			922	889	842	863	
<p>決算額(千円)</p>			789	504	784		
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <p>●地域安全マップ指導員養成講座を開催し、今年度はH29年度末の成果</p> <p>●学校における地域安全マップ作りを2校行っ</p>			85.6	56.6	93.1		
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>●こども110番事業について 全体掲示件数5158件 新規掲示件数1411件 比較的在宅していることが多い民家・事業所・商店等に子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所としてプレートを掲示していた。また、平成28年度より犯罪抑止効果が期待できている。また、市が実施するこみ収集車等にも掲示を行っている。</p> <p>●地域安全マップ指導員養成講座について ・今年度は小学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。 ・各地区防犯協会を対象に、サポートスタッフの充実を図るため、地域安全マップ指導員養成講座を行った。</p> <p>●学校における地域安全マップ作りについて ・今年度は御所見小学校、天神小学校で行った。 ・子どもたちの「危機回避能力」を向上させることを目的に、サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き、『地域安全マップ』を自ら作製した。</p> <p>●地域安全マップサポートスタッフについて「児童数が多い学校で開催する場合、スタッフの数を揃えることが困難である。」 ・年間指導計画を作成した後に、地域安全マップ作りの希望校が決定するため、開催時期の調整等に困難が生じる。</p>							
<p>課題・問題点</p>							
<p>H30年度事業計画</p> <p>●こども110番の看板の掲示を依頼することにも、H30年度から3か年で現在の掲示協力者を対象に古くなったプレートの更新及び継続の意思確認を行う。なお、H30年度は約1,500件を対象に行う。 ●8月2日(木)地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会(小))の開催。 ●学校における地域安全マップ作りを2校行う。 ●9月7日(金)学校安全担当者会(中)の開催。</p>							
<p>評価の理由</p> <p>取組計画どおりの執行を行ったため。</p>							
<p>引き継ぎ</p> <p>・こども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校ずつ行う。</p>							
<p>今後の方向</p>							
<p>評価</p> <p>B</p>							
<p>次年度</p> <p>継続</p>							